学生による授業評価と大学教育

大東文化大学授業評価報告書Ⅰ（全学データ）

2015年度

大東文化大学

目　　次

はじめに……………………………………………………………5
ファカルティ・ディベロップメント委員会委員長　小松　義明

ファカルティ・ディベロップメント委員会報告

第１章　授業評価アンケートの目的と実施方法……………………7

第１節　アンケートの目的と実施の経緯

第２節　アンケート実施方法と集計の概要

第２章　授業評価アンケートの集計内容と公表について　…………12

第１節　集計に際しての基本姿勢と留意点

第２節　結果の分析について

第３節　公表について

第４節　今後の「学生による授業評価アンケート」の展望について

第３章　昨年度(2014年度)の各学部・学科による分析報告…………15

文学部

経済学部

外国語学部中国語学科

外国語学部英語学科

外国語学部日本語学科

法学部法律学科

法学部政治学科

国際関係学部

経営学部

環境創造学部

スポーツ・健康科学部

〈参考資料１〉

大東文化大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程…………34

〈参考資料２〉

2015(平成27)年度　大東文化大学「授業評価」実施要項………………35

〈参考資料３〉

学生による授業評価アンケート質問・回答マークシート………………36

アンケート集計結果資料編

Ａ．履修登録者数・回答者数レベル別集計（全学・学年・学部別集計）…39

Ｂ．項目別集計（全学・学年別集計）…………………………55

Ｃ．項目別集計（学部別集計）……………………………………63

Ｄ．学年別集計（学部・学科別集計）…………………………85

Ｅ．学科別集計……………………………………………………95

は　じ　め　に

ファカルティ・ディベロップメント委員会
委員長　小松 義明

ファカルティ・ディペロップメント（以下、FDとする）委員会は、2015年度「学生による授業評価アンケート」を実施しました。東松山校舎の電波の環境整備状況や学生、教員及び職員の負担を考慮した結果、マークシート方式のみで2015年６月29日から７月４日まで（翌週の予備実施期間も入れると７月11日まで）専任教員（306名）２科目、非常勤講師（625名）１科目を原則として実施しました。今年度は、前期科目のアンケート実施の要望が多く寄せられたこと、通年科目において前期にアンケートを行いその結果を後期の授業改善に活かしたいこと等を理由に、2014年度と同様に前期に実施しました。

FD委員会は、アンケート結果のフィードバックを組織的に実施することをFD活動における大きな課題と受け止め、同時に各学部・学科の独自の観点から授業評価の結果を分析し、FD活動を活性化していただくことに大きな意義があると考えています。そのため、2014年度のアンケート結果の分析を各学部（学科）へ依頼しました。授業評価アンケート報告書の記載項目は次のとおりです。

１．「各設問の数値に関する検証」：分析に際しては、20の設問のうち注目すべき数値に加えて2013年度と比較して特筆すべき事項の指摘をお願いしました。

２．「学生の自由記述及び教員所見について」：昨年度と同様に、「授業改善に繋がる教員のコメント」をできるだけ多く紹介くださるようお願いしました。

３．「2014年度の検証を踏まえ、2013年度に報告された課題と計画の進捗状況と今後の展望について」：前年度との比較を通して、進捗状況と更なる改善点・展望を明らかにしていただきました。

以上から、各学部（学科）において、前年度との比較および全学の平均値との比較に関する分析の記述が増えたことは注目されます。また、各学部（学科）におけるFD活動の取組み状況の紹介や施設の充実の提案なども記述され、内容が豊富になっています。このような観点からすれば、授業評価アンケートに関する組織的なフィードバックがさらに一歩前進したと考えられます。

今後検討すべき課題もあります。授業評価アンケートの効果をさらに高めるため、FD委員会はワーキング・グループを設けて設問項目の見直しを行います。そのひとつの課題は、授業評価アンケートとシラバスの連動を一層高めることです。教員によりシラバスに掲げられた項目の中に「授業の到達目標」があり、原則として３つの目標が示されています。これらの目標が、学生によりどの程度達成されたかを測定することは、授業の内容や方法の改善を図る上できわめて重要であると考えられます。授業評価アンケートを通して、これらの目標がどの程度達成されたか、学生に評価してもらう方法の検討を開始します。

今後も本学の魅力的な授業や教育改善の成果をより高めるため、FD委員会で充分に議論し、本学の教育の質の向上を図っていきたいと思います。

最後に、本年度授業評価アンケート実施にあたりご協力いただきました多くの学生、教職員の皆様に心より御礼申し上げます。

以　上

第１章　授業評価アンケートの目的と実施方法

第１節　アンケートの目的と実施の経緯

（概要）

2015年６月29日から７月4日（翌週予備実施期間）に実施された「学生による授業評価アンケート」について報告する。アンケートの実施目的は、授業に対する学生の率直な意見を聴取して本学の授業内容及び教育方法の改善に資することにある。併せて、自己点検・評価活動の一環として行っており本年度で14回目を数える。

アンケート結果に関する集計方針は、学生の授業への評価を統計的に、学年・学部・学科・授業別に提示することである。加えて、個々の教員・授業に関して学生がどのような感想・意見を持つかを個別に収集することにも工夫し、各教員に授業改善の取組みに着手するための判断材料を提供することを目指してきた。

また、（公財）大学基準協会（本学が2010年度に受審した認証評価機関）の方針を踏まえ、2011年度に本委員会が掲げた以下の姿勢は崩していない。

> （公財）大学基準協会による大学評価（認証評価）は2010年度で第一期が終了し、2011年度からの第二期大学評価（認証評価）では評価の基準が見直された。「全ての授業について統一した項目で授業評価が実施されていること」が、評価の際に留意すべき事項から外れ、その代わりに、達成度評価として「教育内容・方法等の改善を図ることを目的とした研修・研究が、定期的に実施されるものであり、また、これを踏まえた改善プロセスを明らかにしているなど、教育の質の維持・向上に恒常的かつ適切に取り組んでいる。」（『「大学評価」ハンドブック』（公財）大学基準協会）という留意すべき事項が設けられている。これに準拠した形で、大学は授業評価アンケートの継続又はそれに替わる制度を導入し、社会に対して教育の品質保証をしなければならない。これについては本委員会において、中・長期的な課題として検討していく必要がある。
>
> （2011年度版大東文化大学授業評価報告書『学生による授業評価と大学教育』より）

（認証評価結果を受けての本学の姿勢）

本学は2010年度に（公財）大学基準協会の認証評価を受審し、以下のような指摘（「助言」）を受けた。

> 「全学部において、授業評価アンケートが専任教員は年間２科目、兼任教員は年間１科目の実施にとどまっており、結果のフィードバックも主として個々の教員に委ねられているので、改善が望まれる。」（2010年度「大東文化大学に対する大学評価（認証評価）結果」（公財）大学基準協会）

この結果に対して、本委員会では2011年度から議論を重ね、2013年度には以下の方向を定めた。

①本学では2004年度までの４回にわたる授業評価アンケートでは全科目について実施してきた。しかしながら、「同じ教員が担当する授業で評価が極端に異なるこ

とは考えにくい」こと、「対象科目を絞り込むことによって教員・学生双方の負担を軽減」し「教員にはきめ細やかな改善策を策定するための労力を割いてもらいたい」（2006年度版授業評価報告書『学生による授業評価と大学教育』）との理由により、2006年度からは専任２科目、非常勤１科目体制に変更した経緯がある。2013年度に再度2004年度の結果を調査（３教員を無作為で抽出）したところ、同一教員により「極端に異なった」結果が出ているとは言い難かった。この確認に基づいて、アンケート科目数を絞っても十分に信頼できるデータがとれると判断し、専任２科目・非常勤１科目とした。

②アンケート結果のフィードバック方法が教員個人に委ねられているという指摘についてはこれを真摯に受け止め、組織的な取組みが必要と判断した。2011年度まではアンケートの実施母体（現在ではFD委員会）のみが行っていたアンケート結果の分析を、2012年度分からは各学部・学科のFDを担う委員会に依頼して学部・学科単位で行う教育改善を促し、その分析結果を『報告書』へ掲載することとした。

（今までの流れ）

近年の本学の「学生による授業評価アンケート」の流れについて説明しておく。

2009年度のアンケート実施から、設問と集計方法について大幅な見直し作業を行った。設問群の変更を行い、大きな３つのカテゴリー（「Ⅰ．学生自身への設問」、「Ⅱ．授業への設問」、「Ⅲ．総合的な設問」）に分けた。

2008年度にあった「この授業を総合的に評価して下さい」（選択肢は「満足」「やや満足」「どちらともいえない」「やや不満」「不満」の５択）という一設問を、「Ⅲ．総合的な設問」として４つの設問を設け、その平均評価値を以ってその授業の「総合評価」と改めた。その結果は全学集計「D．学年別集計（学部・学科別集計）」にて観察することができる。

４つの設問の中にその授業に「とても満足できましたか」との設問をおいた。この満足度を以って授業の「総合評価」とする考えもあり得るだろう。しかし、単に満足したか否かの問いだけで直ちに総合評価とはできない。例えば、「この授業はあまり出席しなくても単位取得ができる」「（授業内容はともかく）先生の雑談が面白かった」など、設問の本意とは異なる動機で「満足」したと回答する可能性がある。逆に、本来ならば評価されてもいいような高水準の授業に対して「出席、授業態度に厳しく単位取得が難しい授業」や「高度な専門性のため授業についていけない」などの理由で「満足度」が低くなる傾向も否定できない。これらの観点を考慮して、「新しい自己発想」「分野への関心」「自分で考える姿勢」と「満足度」という４つの設問の平均値を以って「総合評価」とした。

こうした基準による結果が「総合評価」としてふさわしいかどうかについては慎重な検討が必要である。本委員会において「総合評価」の在り方について何度も議論してきたことを記しておきたい。

本報告書に掲載されている全学集計表「A～D表」は2009年度に精査された集計法であり、現在に至っている。2011年度から全学集計として「E．学科別集計」を加えることになった。

この学科別集計については、2009年度から報告書への掲載の是非を本委員会内で検討していた。学科別集計表は各学科の設問ごとの数値がわかりやすい形で比較可能であること

自体が議論を呼んだ。各学科の「序列」が示されているとの誤解を招きかねないという危惧があったからである。結論として、本委員会では2011年度から「Ｅ．学科別集計」を掲載することにした。

本学が実施している「学生による授業評価アンケート」は授業を数値化して序列化しないことを本委員会は原則としており、学生および教員にアンケート実施を依頼する前提でもある。実施科目には大規模科目もあれば小規模科目もあり、授業形式においても演習や講義など多様である。また、各学科や分野の性質や教員一人当たりの学生数などの全く異なる状況にある授業に対して同一基準によって一律に数値化することが原理的に不可能である。本学のアンケートは個々の授業のアンケート結果を通して「授業改善」そして組織的な「教育改善」に活かすことが目的であることを再度確認しておきたい。

2012年度には携帯及びスマートフォンを使用したWebアンケートを実施した。従前のマークシート方式による膨大なコストと事務の過重負担が限界に達し、アンケート自体の可能性も拡げるための試みであった。しかしながら、東松山校舎における携帯電波状況の悪さとサーバーダウンのトラブル等が重なった。Webアンケート方式は時期尚早と判断し、2013年度からは従前のマークシート方式に戻した。

（本年度の実施）

2006年度以降後期に実施していたが、昨年度と本年度は前期にアンケートを実施した。多くの教員から前期にアンケートを実施してほしいとの下記のような要望を受けてのことである。

（１）前期科目のアンケートが実施されず授業改善に活かせない。

（２）前期にアンケートを行いその結果を後期の授業改善に活かすことで、同年度内にアンケートを回答した学生への還元につなげたい。

（３）2004年度以降、アンケート実施が後期であった（2014年度は前期に実施）。

第２節　アンケート実施方法と集計の概要

アンケート項目は授業形態や内容に関わらず全科目共通で、必要に応じて２項目を上限として質問項目の追加を可能とした。追加項目を実施した科目数は73件であった。

本年度も無記名方式（匿名回答）とした。学生の自由な意見を妨げるべきではないこと、回収率が極端に下がる懸念があるなどの観点から今までの方式を踏襲した。

アンケート実施後に提出される教員コメントから、ここ数年、学生が記述する自由記述欄の内容に、根拠のない教員の悪口、重箱の隅をつつくような授業に対する不満などが記載されているとの報告が散見される。このような記述をする学生はごく一部であろう。しかし、教員側からすると99%建設的な意見があり１％のみ酷い記述があれば心が傷つき、今後の授業運営方法に頭を抱える教員もいるのは当然のことである。「匿名性」という特殊な形態に守られ、自由に授業に関する意見を提供できる場が、ややもすると教員に対する攻撃の場と化す。教員も人間である。本委員会としては、今のマークシート方式でアンケートを実施するであれば、「匿名性」を保ち学生が自由な意見を提言できる環境を担保しつつも、教員への節度ある真摯な態度を求めるよう検討する必要があると考えている。

１）実施対象

前述の通り、原則、専任教員は２科目、非常勤講師は１科目実施とした。

まず、前年度に各学部・学科、東松山キャンパス運営委員会及び国際交流センターにおいて、アンケートに相応しくない科目（オムニバス科目、短期集中科目、演習科目等）の抽出と授業形式等の作業を依頼した。その結果を尊重し、本委員会にて本年度の全学の授業データを整えたたうえで、アンケート対象科目の選定基準を（１）登録受講者数が最も多い科目、（２）登録受講者数が10名以下の科目は原則として対象外とする、とした。

次に、本委員会が上記にしたがって選定したアンケート対象科目を各教員に連絡し、別科目での実施を希望する場合には本委員会へ申請をする方式を採った。その結果、変更希望の申請は計63件､追加で実施する科目の申請は計9科目であった｡主な変更希望理由は、「昨年度とは異なる科目で評価を受けたい」「専門科目での評価を希望したい」「再履修クラスではなく正規クラスで実施したい」等であった。技術的に不可能な場合を除いて、教員の希望通りの科目へ変更した。

実施した教員数と授業科目数等は以下の通りである。

教　員　数：　931名（専任306名、非常勤625名）
授業科目数：1,213科目
有効回答数：48,793人（延べ）
無効回答数：663人（延べ）
回　答　率：66.0％（無効回答数を含む回答率66.9％、分母は登録受講者総数）

※回収率について

登録受講者数を分母として回収率を算出しているため低い数字となっている。しかしながら、単位習得を断念した学生やアンケート当日に欠席した学生が多くいることを考慮すると､実質的な回収率(授業に出席した学生と回数件数比)は高いと考えられる。

表　実施科目・人数

区　分	専／非	科　目	人　数
実施対象科目	専任	590	307
	非常勤	636	630
	計	1,226	937
当日実施しなかった科目	専任	8	7
	非常勤	5	5
	計	13	12
当日実施科目	専任	582	306
	非常勤	631	625
	計	1,213	931

※１）原則、専任２科目・非常勤１科目だが、科目選定上の都合で科目数に変動がある。
※２）実施しなかった専任８名のうち７名については、対象の２科目中１科目は実施した。

２）実施期間と方法

アンケートは、2015年６月29日から７月４日の当該授業時に実施され、実施時間は授業終了前の15分～20分間であった。この週に実施できなかった科目は、翌週の予備期間に実施された。

アンケート実施に際し、教員はアンケート用紙の配付後に教室から必ず退室することとし、回答後のアンケート用紙は受講生の中から依頼した学生協力者によって回収された。

３）集計方法

回答は5択制を採用し、回答は「非常にそう思う／そう思う／どちらとも言えない／そう思わない／まったくそう思わない」としたが、「Q1」では「100～90%／89～80%／79～70%／69～60%／60%未満」、「Q6」では「100～90点／89～80点／79～70点／69～60点／60点未満」と、設問に合わせて具体的数値の選択肢を設けた。

なお、項目ごとに平均値を出すとともに実数も集計し、エラーデータは除外している。

以　上

第２章　授業評価アンケートの集計内容と公表について

第１節　集計に際しての基本姿勢と留意点

アンケートの集計に際しては、本学の基本的な姿勢として次のことが継承されている。前回報告書より、当該の文章を以下に再録する。

> 学生による授業評価は、授業の運営をめぐって学生と教員のあいだの意思疎通を図り、教員が学生の声を受け止めながら今後の授業改善に役立てるための基本資料を提供する目的を持っている。したがって授業評価は、授業改善に取り組む教員を励ます「応援歌」となるべきものであり、この原則を離れて、集計結果に示された数値（評点）のみに基づいて単純に教員ないし授業を序列化することは厳に慎まなければならない。この点は、教員のみならず学生、職員を含め、全学の共通認識としてあらためて確認しておかねばならない。
>
> （2014年度版大東文化大学授業評価報告書『学生による授業評価と大学教育』）

なお、この報告書の集計データは、今後の各学部・学科による組織的な建設的授業改善議論を深めていくためのひとつの素材として活用されることを期待している。

第２節　結果の分析について

本委員会では、第１回目から第10回目（2011年度）実施のアンケートまで全学集計データをもとに様々な分析を行い、2009年度から2011年度については、統計の専門教員を委員に選出し本格的な分析も実施してきた。

しかし､本委員会が行う分析作業は様々な方法で実施し､すでにやりつくしてきたこと、本委員会のみで各学部･学科を一律的および横断的に分析するには限界があること､また､これ以上の成果が期待できないと判断した。そこで2012年度からは､「FD活動」とは本来、大学全体のみならず各学部・学科レベルでの組織的な教育改善活動として取組むべきであるとの認証評価機関および全国の大学等の全般的な認識と、各学部・学科への依頼として報告書の本委員会が収集したデータを活用してそれぞれの事情に応じた教育改善を図っていただくこととした。

2012年度分の各学部・学科の分析報告書は、初めての試みということもありまずまずの内容であったが、2013年度分の同報告書から内容が充実してきており、各学部・学科のFD活動に対する意識の向上の片鱗がみられる。

昨年度、2014年度の同報告書は、本報告書第３章に掲載している。是非ともご一読いただきたい。

なお、アンケートの分析業務を各学部・学科へ移行することにより、本委員会の負担を減らすことが目的ではないこと、分析の質が低下しているものではないことを強調しておきたい。「学生による授業評価アンケート」はFD活動の一環として大変重要ではあるが、「アンケートの実施イコール大学のFD活動」であるという時代はすでに過ぎていることは周知の通りである。本委員会では、「学生による授業評価アンケート」はFD活動のひとつ

として捉え、大学全体に関わる教育改善を目指す活動組織として役割を全うしていきたい。

第３節　公表について

本報告書（冊子）には、以下の集計データと、その分析が収録されている。

Ａ：履修登録者数・回答者数レベル別集計（全学・学年・学部別集計）
Ｂ：項目別集計（全学・学年別集計）
Ｃ：項目別集計（学部別集計）
Ｄ：学年別集計（学部・学科別集計）
Ｅ：学科別集計

今回も実施した全科目毎の担当教員にコメントの提出を求めた。その結果、1,213科目中、提出があったものは628科目、提出率は全体で51.8％（専任44.1％、非常勤55.9％）だった。昨年（51.1%）より若干回収率が若干上がったが、例年通りの全体的に低い数値、専任教員より非常勤講師の回収率が高い傾向が続いている。

その個々の科目の集計結果とそれに対する担当教員からのコメントは、2006年度より教員のコメントを付して学内に公表されることとなり、公表の方法は、CD-ROM版の報告書を図書館、各学部事務室・学科事務室等に置き、学内者（学生・教職員）のみ閲覧可能としている。

なお、2014年度からホームページでも学内者（学生・教職員）を対象として、認証のうえ閲覧可能とすることを予定していたが、現行システムの仕様上できないことが判明し、現在のところやむを得ず断念している。

第４節　今後の「学生による授業評価アンケート」の展望について

数年前から本委員会ではアンケートのあり方について抜本的見直しを含めた改革案について検討を重ねてきた。今までにおいても、単純に例年通りのアンケート実施とはせず、毎回子細を検討し僅かではあるが改良を重ねてきた。一方で、アンケートのあり方については全面的検討も併せて行ってきたが、様々な課題が同時に浮上し、抜本的改革に向けた具体的提案には至らなかった。事実、現状の形態を踏襲した形でアンケートの実施を続けることが本来期待している大学の教育改善のための最も効果的な手段であり得るのかについては、さらに踏み込んだ段階の議論が必要になる。

学内でもさまざまなに指摘される諸問題、たとえば８学部２キャンパス制による弊害、科目数および関係する教員数の多さを抱える東松山校舎での運営方法の困難さとコスト、さらには教学を支える事務職員の過剰負荷など本学特有の諸事象はどれも本学の提供する教育品質に直接関わるものである。

そこで、本委員会では今までのアンケート制度に一定の区切りをつけて、学生意見を収集し授業改善の新たな仕組みを設計して2016年度からの実施に向けた取組みを始めたいと考えている。学内議論の進捗や様々な制約から一度に全面的な改訂を行うことは多くの困難が予想される。まずは、段階的な年次計画について検討し学内の理解を求めていきたい。

本学が今まで以上の高品質の教育を提供し続ける仕組みの構築に向けて今後ともFD委員

解へのご協力を切に願いたい。

以　上

第３章　昨年度（2014年度）の各学部・学科による分析報告

第１章および第２章でも触れたが、2011年度までは全学集計結果をもとに本委員会が分析作業を行い、アンケート結果をどのように授業改善へ活かすかは教員個々人に委ねることに留まっていた。そこで、本委員会では各学部・学科の「組織的」な取組みが必要と判断し、2012年度のアンケート結果から各学部・学科のFDを担う組織に分析を依頼し、報告をいただくこととした。

前回に引き続き、昨年度（2014年度）のアンケート結果を各学部・学科に分析していただき報告書を提出いただいたので、次頁以降に掲載をする。

今回は３回目の試みとなり、各学部・学科のから報告書が充実してきている。前述の通り2013年度分の報告書から、アンケートとFD活動全般に対する意識の向上がみられる。それまでは、アンケート結果に関する情報と授業改善に関する事項は、本委員会と個々の教員のみの問題であった。それがこの制度を導入したことにより、各学部・学科による教育改善活動に繋がる機会になってきた手ごたえがある。アンケート結果による「授業改善」を如何にするかという課題が各学部･学科の教育全体を如何にするかという議論に繋がり、それはまさに「FD活動」という大きなカテゴリーである「教育改善」を行う姿勢が出ていたということである。このことは、次頁以降の各報告書からもよくうかがえる。

この取組みは引き続き実施していく予定であり、本年度つまり2015年度のアンケート結果について各学部・学科へ分析を依頼し、2016年度版の報告書に掲載する予定である。

以　上

2014年度授業評価アンケート報告書

文　学　部

１．2014年度各設問の数値に関する検証

①ｐ.79に示されたＱ⒄新しい自己発想、Ｑ⒅分野への関心、Ｑ⒆自分で考える姿勢、Ｑ⒇満足度の合計値をみると、この自己の積極的な学問への取り組みの姿勢の発達･成長に対する自覚を示す回答には各学科、各学年について、興味深いばらつきが見られる。

例えば、

・日本文学科では、『非常にそう思う』『そう思う』を合わせた肯定的な回答は、1年次が最も低く、2，3年次で上昇し、4年次に最も高い数値になっている。（卒論が必修であるため、4年次になって、意識が高くなるからか？）

一方、

・中国学科では、2 年次の数値が最も高く、1，3，4 年次はそれよりも低く、同じレベルで変化がない。（2年次に学生の意識を挙げる取り組みがなされているからか？）

・英米文学科は、2年次の数値が最も低く、入学した１年次と、板橋校舎に移った３年次の数値が高くなっている。（2年次は大学に慣れ、緊張感がなく中だるみの時期になっていると考えられる。）

・教育学科では、2年と4年の数値が比較的高いが、1，3年ともそれほどの差がない。(『非常にそう思う』の数値が、1，2年次が高く3年次に下降していることから、それまでの学業に対する強い関心がこの時期に低下傾向にあるのかもしれない。)

・書道学科は、4学年を通じて平均75％以上の肯定的な回答になっているが、それでも、『非常にそう思う』の数値は2年、4年次に下がっており、1，3年次がピークになっている。

**（それぞれの学科で、最も集中して学業に向かい、達成感を感じる学年が違っており、学科の取り組み方を比較検討すると、学生の学年ごとの問題点や、彼らの達成感をさらに向上させるための手掛かりとなるかもしれない。）

②書道学科は１９設問において、すべて首位となった。その理由は、ほとんどの学生が入学時において、書道に携わるという明確な目的意識を持ってことにあるようだ。文学部全体でも、各学科ともほとんどの設問において、全19学科中の中ほどまでには入っており、学生の満足度からいっても、安定した水準を保っているといえる。

③シラバスの熟読、予習：復習などの設問は大学全体として低い数値であり、学生の予習・復習に対する意識の低さを改善することで、授業の効率および、学生の達成感の向上にもつながると考えられる。文学部では、「シラバスの熟読」が、55％程度であるのに、「教員がシラバスを反映させていたか」という設問に対する「はい」の回答が 70％近くあるのはどういうことであろうか？　シラバスを読むことへの関心の低さは慢性的にあるようなので、その対応策として、授業計画はシラバス以外でも、授業の最初・最後に学生に周知する必要があると思われる。教育学科は、学生のシラバスへの関心は薄いようである。

・Q2 の授業の予習・復習・練習に関しては１位の外国語学部でさえも４０％代である結果から、大学の授業は予習や復習を必要としているものではなく、授業の中での完結性が高いという学生意識の反映といえるのではないか。Q2　を「毎週の課題を行い、課題レポートを提出したか？」というように言い回しを変えると、より大学生としての学生の実態を反映するのではないか。

・教員の授業の進め方に関する項目や「分野への関心」において、日本文学科は高い数値を挙げながら、学生自身の「授業姿勢への自己評価」「授業への集中」が比較的低いのはなぜなのか、検討の余地がありそうである。
・英米文学科の学生の出席率の低さへの対策も考える必要があると思われる。
・Q16　「授業を毎回楽しみにしていたか」、Q19「自分で調べて考える姿勢が身についたか」では、4 割以上の学生的が肯定的ではないことを各教員は知っておく必要がある。

２．所属学部・学科のコメントについて

・『リアクション・ペイパー』: 授業中にわからなかった点について、授業の最後に「リアクション・ペイパー」に学生が書き、次の週の初めに、それについてまず、答える取り組みをすることで、学生の理解が深まったというコメントがあった。クラスのサイズも関係するので、なかなか、すべての学生の質問に対応できるかどうかはわからないが、取り組みとしては、素晴らしいと思えた。一方で、毎回何らかのコメントを提出させてはいるが、感想や発見したことなどは、意外にしっかりと書いてくるが、質問となると、ほとんど出てこない。「受け身で吸収する力はあるが、自分から質問すること、また習ったことに対して矛盾する点などを考えていない」、ということがあげられそうである。

・『授業中の私語』に対して、学生が教員のきちんとした対応を求めている様子が、これに関するコメントの多さから推察された。

・『授業の運営』: 資料を講読・講義する場面と、映像の視聴の場面を一回の授業の中で何度も切り替えるのは、まとまりをはっきりさせ、じっくり講義する場面とゆっくり視聴する場面のメリハリを付け学生の理解度をあげる。一方、基本的なスキルを習得するための授業では、「面白い」と感じてもらうのが難しい面がある。「次の週の授業に対する期待」という点をかなえるために、映像やパワーポイント、授業中のジョークも含めた多彩な『パーフォーマンス』が求められているようであった。

・学生参加型の授業を学生は求めており、それをきめ細かく実践されている授業では、学生の関心の強さと達成感を示すコメントが多いように見受けられた。

・ちょっとしたこと（授業時間の超過）などに、敏感な学生もあり、対応はなかなか難しいこともある様子がうかがわれた。

・『板書』: 板書を見やすくするという教員側の改善点(中国学科)はあるが、「板書が欲しい」という意見の多さに対し、実際に板書をしてみると、板書されたものを写すことに終始し、メモなどを入れている様子は見受けられない。高校までの時のように「一から十まで記載があること」を求めている学生の数は案外多い現状と学生側に対し、的確なノート・テイキングを指導する必要性があると思われる。

３．2014 年度の検証を踏まえ、2012～2013 年度に報告された課題と計画の進捗状況と今後の展望について

・今年度から、日本文学科は新入生セミナーを実施し、講演やレクリエーション活動を通じて、学生相互の自発的な交流を促す機会を設けた結果、学内の人間関係を築く上で役立った、と評価されており、次年度も継続する予定である。

・前年度同様、3月に授業改善の取り組みなどの実践交流会を行う。昨年度は様々なアイディアが提示され、大変示唆に富んだ交流会であったことを踏まえ、今年度も、各学科から一人ずつ、授業のユニークな取り組みについてのプレゼンテーションを行い、授業と学生対応の実例を通して、授業取り組みや教育環境の改善に対する、建設的な意見交換と情報収集の場を設ける。

**

1：①の最後に述べた展望を参照されたい。

以　上

2014年度授業評価アンケート報告書

経　済　学　部

1．2014年度各設問の数値に関する検証

・2013年度同様、Q1～Q20の項目すべてにおいて経済学部は全学平均値より低くなっている。特に、Q15(教員の授業に対する熱意は感じましたか)、Q17(この授業をとおして、自分にとって新しい考え方や発想が身につきましたか)の項目は最下位となっている。

・総合評価(Q17；新しい自己発想、Q18;分野への関心、Q19；自分で考える姿勢、Q20；満足感)の平均値は、経済学部は8学部の中で下から2番目の低さである。また、履修者別の平均値をみると、30人未満、30人以上50人未満、50人以上100人未満で8学部中最下位となっている。これらは2013年度と同様である。30人未満の平均値が特に低く、今後の課題として検討していきたい。

・Q7～Q20の「授業についての評価」、「総合評価」の平均値を学部内でみると、社会経済学科が現代経済学科よりも低く、特に社会経済学科2年生の値はどの学科にもみられない低さとなっている。これに関して、今後さらに検討していく必要があるだろう。

2．所属学部・学科の教員コメントについて

・授業改善に関する所見が多くみられ、「授業評価アンケートは授業改善に向けた資料として重視している」などの教員コメントもあった。一方で、「授業評価アンケートの質問項目の再検討をお願いしたい」との意見も寄せられている。

・「学生参加の機会」に関しては、中規模以上のクラスになると改善が進まないというコメントが多く、発言機会を設けても対応が難しいため、毎回の質問カードや小レポート、提出レポートに対する個別コメントなどの工夫がされているが、それが評価に結び付かず、「発言の機会が少ないことをもって参加の機会が少ないと評価されることには違和感がある」というコメントもあった。

・学力格差、基礎学力低下、理解度の差に関するコメントも増えてきており、再履修クラスでは、「リメディアルまでレベルを下げ、かなりゆっくりと授業を進めたことが、うまくいった」というコメントもあった。

・授業改善につながるコメントとして、以下のようなものもあった。
前回の復習、小テストで学生の理解を促進していることが学生に高く評価された。
毎回の授業で授業内容や授業運営に関する意見を求め、個別の事情についても対話しやすい環境を作って、常に授業改善につなげた。

・なお、機材トラブル、空調、ボードの不備など、設備の要望に関するコメントもいくつかあった。

3．2014年度(今回)の検証を踏まえ、2012～2013年度に報告された課題と計画の進捗状況と今後の展望について

・上記1.、2.の内容を学部内で共有する。

・経済学を理解するのに必要な数学の基礎知識が十分でない、あるいは高校で学習していない、ことによる授業でのつまずきが考えられたことから、2015年度推薦入学者から、数学に比重をおいた入学前教育に変更した。今後、この効果について検証していきたい。

・個別の事情を抱えている学生が増加していることから、それに対する理解を教員内で高めるために、2015年度中に学生相談室職員を講師としたFD研究会を開催する予定である。

以　上

2014 年度授業評価アンケート報告書

外国語学部中国語学科

１．2014 年度各設問の数値に関する検証

（１）20 の設問の内、高い数値はシラバスの反映（6 位）、予習・復習・練習、シラバスの熟読、学生参加の機会、受講態度への対応、自分で考える姿勢（以上 7 位）であり、語学学科の学習内容の具体性と充実さに関係があると考えられ、教員はシラバスに沿って教育を行うと同時に、学生の予習準備、自己責任感と熱心に取り組む姿勢が良くなっているように見え、望ましい。数年来、語学検定対策が大いに進められたことと教員の教育改善が導いた結果と考えられる。一方、低い数値は出席率の 18 位であり、学科の学生指導体勢の強化が必要する以外に、学習の意欲をあまり持っていない学生層が存在して、モチベーションの低い学生へのフォローなど具体的な対処が望まれる。上述した高い数値以外は基本的に全学の平均値の前後に遊離して、三学科中の数値は全体的に低いため、改善の余地は大いにある。

（２）２０１３年度と比較して授業目的の明確さ、教材の使い方は多少改善し、教員の授業対応と教材使用は更に綿密や周到になされている。一方、授業への集中、シラバスの熟読、学生参加の機会、毎週の期待、分野への関心などの順位が下がり、学習への集中度は薄れている面もある。他の関連数値と比較してみるとおおむね良好な学習環境のなかに、学習への熱意は少々下向きの動向があり、積極的に参加する学生とそうでない学生の差が拡大している可能性にたいして、対応策の制定は緊要な課題である。中国語学科は既習者クラスと准既習者クラスが設けてあり、入試の強みの一つとして学生に人気を集めているが、これらのクラスに居る学生が「既習」の語学レベルと習得状況が異なり、適切な講義内容の設定や実施に難しい。担当教員は今まで努力してきているが、長期的な視野として、具体策の制定は必要かもしれない。

２．所属学部・学科の教員コメントについて

（１）「小テストの頻度を微調整する」、「関連資料を学生に事前配布する」、「学生と意見交換しながら進める授業形態を模索したい」、「更に学生に考えてもらう機会も増やす」、「中検と HSK 対策を交互に行っている」、「一方的な講義にならないように、ゲーム・模擬会話などの形で、学生に興味を持たせる」、「知的好奇心を喚起する刺激的な講義内容となるよう心掛けたい」、「学生にある程度緊張感を与え、より授業に集中できるため、人数の多いクラスに座席の指定を実施したい」、「練習問題も宿題に出すだけではなく、授業中に一部やったほうが効果的」、「今後（後期）は教材の難度と学生の内容理解度を考慮し授業を進めていく所存」など授業の改善に関する教員のコメントが多数あり、教員の方々が腐心して学生のニーズに応じた教育対策が考案や実践されている。

（２）「出席率以外は全学平均を上回った。出席率についても 3.8 は悪い数値ではない。全学平均を下回った理由は、4 年生の就職活動の時期と重なっていたためと思われる。」「楽しい、わかりやすい。現状維持でお願いします。先生の教え方がよい。とコメントしてもらえたのは良かったが、もう少しゆっくり進んでほしい、というコメントについては、学科内で決められた進度があるため、すぐに期待に答えるのは難しい。」就職活動と出席率、教科書指定と統一進度による学生が求めている進度のズレが浮き彫りしている。

３．2014 年度(今回)の検証を踏まえ、2012～2013 年度に報告された課題と計画の進捗状況と今後の展望について

・授業評価については教員各人の意識は高みりつつあるが、一層の努力が必要である。

・学科に入学してくる学生が入学前と入学後に生じた学力の格差が多方面にわたり、要因も様々で、智慧を共有した上、対応すべきである。

・2014 年度は外国語学部では合計３回、ＦＤ集会を行った。中国語学科の担当は以下の通りである。

第三回　2014 年 12 月 8 日　中国語学科安藤好恵准教授

テーマ　「中国語学科における検定・資格への取り組み」　参加教員 30 名

以　上

2014年度授業評価アンケート報告書

外国語学部英語学科

１．2014年度各設問の数値に関する検証

（１）20 の設問のうち、予習・復習・練習、教材の使い方は全学第２位であり、学生たちが日頃、語学の特質性をよく理解して学業を積極的に取り組んでいると言える。第３位のシラバスの反映、理解しやすさ、板書などの見易さ、自分で考える姿勢からは、教員の方々が質の高い教育を目指していることと学生が旺盛な向上心を持っていることを伺える。それは第４位の授業への集中、教材等の持参頻度、学生参加の機会、受講態度への対応、新しい自己発想、分野への関心、満足度など７項目にも反映され、高く評価できる。学科全体の教育現状は出席率以外に１９項目は全て６位以内になっており、語学系学科の中、全般的に優れている。ただ、厳密に見ていくと、学生がシラバスへの関心度、授業進行速度、教員の熱意などに学生から多少不満があり、改善が期待される。

全部の項目が全学平均値を大いに上回っているが、出席率は2013年度の９位から今度の１０位になり、前年度の検証「出席率の低下が若干下回っていた」の続きとして、気になるところである。語学の授業での出席、授業参加が必須であり、消極的な姿勢が目立つ学生への指導、モチベーションを高める授業の工夫、オフィスアワーの活用などが引き続き対処していく必要性はあると考えられる。

（２）今回のアンケート結果は2013年度に比べると、出席率以外に教材の使い方、学生参加の機会、新しい自己発想など３項目は順位一つ下がっているが、逆に、授業への集中、理解しやすさ、適切な授業進行速度、毎週の期待など４項目は順位一つ上がっている。自己管理の意識が強くなり、内容に充実している授業に達成感と憧れをもっている学生が増えている一方、最良な教育も渇望されていると分析できるかもしれない。

２．所属学部・学科の教員コメントについて

（１）「特に新聞・雑誌などからトピックスを毎週演習に取り入れ、様々な分野への視野の広がり、複眼的思考能力の養成を心がけた」、「毎週、辞書的語彙、ニュースの語彙、文章読解の小テストを繰り返した」、「個人の作業→ペアやグループでの意見交換・アドバイス→クラス全体で共有→個人のまとめ、という方式の意義を学生に浸透させた」、「論理的思考力・言語で考えを的確に表現する技術を徹底した」、「課題のバリエーションやアドバイスを増やす」、「学生たちに難しいと感じさせない工夫を凝らし、会話練習をはじめ、ビデオ、音楽を使用して、学生が興味を抱きやすい授業環境を作る」、、「翻訳の勉強だけに終始するのではなく、文化的教養も深めることができる」、「基礎的英文法を大学生が理解するには、なるべく日本語の発想を下敷きにする」、「予習の宿題用紙の配付は学習にも好影響がある」、「マンガを使用しているところが面白かった」、「テストはまず英語で説明、次に日本語でも説明」、「欠席を増やさないために、これまでも行ってきた「予習チェック」のやり方も、更に工夫している」などコメントが多くの教員から寄せられ、ベストな教育法を追究していることがよくわかり、そういう究極な努力があるから、アンケート評価の好成績に繋がったとも言える。

（２）学生から「教科書が高かった」の意見があり、多少コピーで対応できるが限界がある。「英語学科という語学専攻の学科の学生こそは、日々の修練が必要だが、所謂ゆとり教育の世代は、疲れない程度に適当に手を抜くという姿勢がやはり染み付いているように感じられ、この点の改善が急務だと思う。」という教員のコメントもある。

３．2014年度(今回)の検証を踏まえ、2012～2013年度に報告された課題と計画の進捗状況と今後の展望について

・教員の授業改善の意識が高く、更なる改善が期待できる一方、出席率の向上は課題である。

・英語で行う授業が数多くあり、良い教育方法と進捗方法も検討・蓄積され、今後の展望は明るい。

・2013年度は外国語学部では合計３回、ＦＤ集会を行った。英語学科の担当は以下の通りである。

第一回　2014年7月14日　英語学科グレゴリー・リー准教授

テーマ　「学生向けニーズ調査」　参加教員34名

以　上

2014年度授業評価アンケート報告書

外国語学部日本語学科

1．2014年度各設問の数値に関する検証

（1）20 の設問のうち、全学第一位はシラバスの反映と板書などの見易さ、第二位は学生参加の機会、第三位は授業への集中と毎週の期待、第四位はシラバスの熟読、理解しやすさ、適切な授業進行速度、教材の使い方となっており、教員の方々が全体的にレベル高い教育を行っていることと、学生が意欲的に学習に取り組んでいることがよくわかる。その他に、満足度をはじめ、予習復習、教員の熱意、自己発想、考える姿勢なども五位の好感度に維持しており、教育の在り方が評価に値する。一方、出席率は16位に低く、中国語学科よりは高いが、英語学科の10位に差が大きい。2013年度の検証で「真面目な学生が多い」と述べている反面、学生の個人差が存在して、教員側から継続的に「積極的に働きかける必要がある」ことが依然として望まれる。出席率以外、全数値は全学の平均値を大きく上回り、全体にわたる局面は好調といえる。

（2）2013 年度と比較すると、授業目的の明確さ、シラバスの反映、板書などの見易さ、分野への関心など４項目の順位が改善したに対して、出席率、教材の使い方、新しい自己発想など3項目は僅かに後退した。教員と学生の双方の努力が教育効果として反映したと同時に、教育全過程の優勢維持が課題となる。前年度「学生の授業に対する関心度や準備などの個人差もある」、「授業姿勢への自己評価、出席などがやや低い評価」という検証は今回も現れているため、改善の努力が望まれる。

2．所属学部・学科の教員コメントについて

（1）学生の高い評価に「ありがたく思います」、「うれしい誤算であった」、「非常に喜ばしいこと」、「案外の好評価に安心しております」、「過分な評価をしてもらったように思われる」のようなコメントが多く、教員の喜びから真摯な教育態度を強く感じる。

（2）授業改善に関しても多種多様な工夫がなされていて、以下は少し抜粋する。「出席カードに書いた質問に、次回の授業で答えてくれる」、「理解度や定着度を考えたりしながらシラバスの微調整を心がける」、「皆さんが興味を抱く授業、確実にスキルアップできる授業を展開していく」、「ピアラーニングをもっと積極的に取り入れられるように工夫したい」、「双方向の授業を心掛けていきたい」、「補助教材や補助プリントは、講義の最も重要な点を理解してもらうために作成する」、「パワーポイントの使い方をレクチャーする授業をしている」、「トレーニングメニューを多様化し、作業のヴァリエーションを増やし」、「就活を意識したビジネス文章やレポートの書き方といった実利的なものばかりではなく、小説や随筆といった自己表現の文章を作成するメニューも増やしたい」、「盛り込んだカリキュラムの他に、もう少し実社会に即した別途資料を、例えば就業を想定したデータ資料や報告書の類を例示して、多角的な視点からの分析・文章作成を促すよう工夫したい」、「学生がより積極的に参加できる対話型の工夫を模索したい」、「各講義において対話形式を適宜導入し、学生の古典文学に対する理解度・習熟度を確かめながら進める講義展開を工夫したい」、「講義で取り上げる題材に関わる画像や音声を、視聴覚機材を使って学生に視聴してもらう配慮も加えたい」、「授業では、なるべく補足資料を配布し、歴史・文化的なことについて補足説明をする」、きめ細かな用意と高い目標意識は授業改善の原動力となっている。

3．2014年度(今回)の検証を踏まえ、2012～2013年度に報告された課題と計画の進捗状況と今後の展望について

・日本語学科では日本語学・日本語教育学を主体にした科目群と日本文学・日本文化を主体とした科目群があり、受講性格も質的に異なるので、受講ノウハウの共有が大事で望ましい。

・留学生に人気のある語学学科として、長年蓄積してきた留学生教育の経験とノーハウの活用が期待される。

・2014年度は外国語学部では合計３回、ＦＤ集会を行った。日本語学科の担当は以下の通りである。

第二回　2014年9月22日　日本語学科田中寛教授

テーマ　「大学生のための文章表現教育（その2)」　参加教員33名

以　上

2014年度授業評価アンケート報告書

法学部法律学科

１．2014年度各設問の数値に関する検証

教材の持参、予習・復習・練習、学生参加の機会といった項目については、実技・実習の多い学科よりも講義(座学)が中心となる法律学科で相対的に低い数値となるのは致し方ない面もあると思われる。

200人以上が履修登録している大規模な必修科目もアンケート対象となっていることと比して、わかりやすさ、板書の見やすさといった項目は、他の学部・学科と比べて遜色のないものであり、各教員の努力・工夫の成果と思われる。

全体として、法律学科の学生からは、講義に際して受動的な態度で臨んでいる傾向があるように見受けられるが、アンケート実施時の旧カリキュラムでは、必修科目のウェイトが高く、自ら選択して受講しているという意識を持ちづらい面があったかもしれない。

２．所属学部・学科の教員コメントについて

教員が早口であるなどの指摘は、授業を客観的に振り返るきっかけとなる。

その反面、授業の進行スピードなどについて、同じ講義でも「早すぎる」という学生もいれば「もっとテンポ良く進めてほしい」という要望もある場合など、改善の方向性が定まらない場合もある。受講生が多い科目ではこのようなケースが多いと思われる。

空調設備への不満などが多くみられたが、一教員では対応不能な問題であるので、管理課等の積極的対応をお願いしたい。

明らかに事実と異なる回答(たとえば、1回も休講をしていないにもかかわらず、休講が多いという回答があるケースなど)をみると、アンケートそのものへの信頼性が揺らぐこともある。

３．2014年度(今回)の検証を踏まえ、2012～2013年度に報告された課題と計画の進捗状況と今後の展望について

過去のアンケートの結果を、2015年からの新カリキュラム実施において活用していく。

新カリキュラム実施に伴い、選択科目が増加し、学生の科目選択の幅が広がっていることから、学生に対して履修登録前にシラバスを熟読するように指導を強化していく。

全体として、法律学科の学生からは、大学での学びについて、やや受け身になりがちな傾向がみられるように思われる。授業の中で、主体性、積極性を引き出す工夫が必要となろう。

以　上

2014年度授業評価アンケート報告書

法学部政治学科

１．2014年度各設問の数値に関する検証

政治学科の授業評価における各項目の平均値は、ほとんどが全学平均値をやや下回る値であり、著しく高くも低くもない。わずかに平均値を上回るのは、「シラバスの熟読」という項目だけである。穏当な評価に落ち着いているともいえるが、複数項目で高い数値を示す書道・スポーツ科学科などの実技系学科に比べて、政治学科ならではの特徴が十分に発揮できていないということもできる。

2013 年度の数値と比較すると、「シラバスの熟読」のほかに、「出席率」、「予習・復習・練習」、「教材等の持参頻度」、「授業参加への自己評価」、「板書などの見やすさ」、「教材の使い方」、「学生参加の機会」などの項目が上昇しており、教員の授業改善の工夫のあとが見られる。他方で、「授業への集中」、「授業目的の明確さ」、「シラバスの反映」、「理解しやすさ」、「適切な授業進行速度」、「受講態度への対応」、「教員の熱意」、「毎週の期待」、「新しい自己発想」、「分野への関心」、「自分で考える姿勢」、「満足度」などの評価項目では伸び悩んでいる。言い換えれば、授業の表面上の改善が、肝心の学生自身の学問的関心や学力・問題意識の向上を齎していないことを示している。授業が理解できず、ついていけない学生が依然として多いと考えられる。

２．所属学部・学科の教員コメントについて

①（授業の内容や方法）についての意見表明に関しては、匿名の（アンケートの）形にすることは無意味だし有害でさえある。無責任で一方的な悪罵の表明になりかねないし、現になっているからである。教員と学生は、人格的に全く同等であり、互いに大人、すなわち責任を有する市民のはずである。したがって、両者とも自由に責任をもってオープンに意見を表明すべきである。

②　単に聴講しているだけでなく、聴講したことを自分なりに再構成して考えてほしいという、こちらの意図がうまく伝わらなかった。予習と復習に取り組むようにする工夫が必要であることを痛感した。一つの案として、レジュメやシラバスを事前に配布することを検討している。その上で、講義において、学生に自分の意見を話す機会を設けたい。また、板書の代わりにパワーポイントなどを今まで以上に活用して、学生がノートやメモを取りやすくなるようにしたい。

③講義内容や資料などをプリントして配布する方式は効果があるようで、学生諸君から好意的に評価されていた。……　「学生に発言を求める機会を設けてほしい」という希望があったが、具体的にどのように実現するか難しい課題である。

④「自分で考える姿勢」をもう少し高める工夫をしたい。テキストを使用するため、その内容にかたよってしまう傾向があるが、時事問題なども取り入れつつ興味を高めるようにしていきたい。

⑤「スピードが速い」や「説明不足」といった意見が目立ちますが、これは意図的に行っているためで、それ以上に、自分で考える姿勢を身に着けさせることが困難となっています。そのため、ゼロからスタートさせる課題を果たすと、全く進まない傾向があります。今後はヒントを与えてハードルを越えさせられるような方式を取り入れる予定としています。

以上のように学生の主体的に学ぶ姿勢の欠如に悩むコメントが多かった。そのほか、板書や声のボリュームや教室内温度設定などについての改善が好評であったことなども報告されている。総じて、教員個人の努力で改善できる事柄は改善されつつあるが、教員と学生とのインタラクティヴな対話を通じた知的創造の場の実現にはまだ時間がかかりそうである。もっとも、授業評価アンケートは、主として座学形式に

よる講義科目を対象としているのであり、ゼミなどの参加型授業を対象とすれば別の結果が出ないとはいえない。

３．2014 年度(今回)の検証を踏まえ、2012～2013 年度に報告された課題と計画の進捗状況と今後の展望について

以上のデータから、「授業の改善」のためには、担当教員の自助努力のほかに、学生の自習能力を向上させる教育環境の整備が必要であることがわかる。政治学科では、すでに、本年（2015 年）4 月から新入生にはセメスター制をとる新カリキュラムを開始している。新カリの眼目は、「入門演習」による初年次教育の充実にある。「入門演習」では、大学生としての自学自習能力養成のために、パソコンや図書館の使い方、レポート作成法などのアカデミックスキルを学ぶ。いわば、参加型授業のゼミで活躍する知的体力を初年次から訓練するわけである。また、基幹選択必修科目、展開選択科目、他系列選択科目などの選択科目を設定して、学生の学びの選択肢を広げた。これらの改革によって、学生が主体的に学び、問題意識をもって授業に出席できるような客観的環境を整備した。

「授業改善」のために、政治学科教員は夏休みにＦＤ合宿に全員参加し、授業研究をしている。特に、初年次の「政治学 A・B」と「入門演習」は、授業への学生の反応を詳細に観察・報告している。

「授業改善」が順調に進んだとして、今後の課題となるのは、高校生の段階ですでに具備しているはずの基礎学力の再確認と向上である。また、ゼミ以外の講義形式の授業で、私語や居眠りに手を焼く状況を脱出して、より参加型・対話型の要素をもつ授業に移行してゆく努力である。

以　上

2014年度授業評価アンケート報告書

国際関係学部

1．2014年度各設問の数値に関する検証

国際関係学部では，すべてのゼミと大半の講義科目で国際関係学科，国際文化学科の双方の学生が履修可能であるため，学部単位で記述する。

例年と比べて，2014 年度のアンケート結果に大きな違いは見受けられない。国際関係学部は，ほとんどの質問項目に関して「非常にそう思う」「そう思う」の数値幅は，全体の平均に位置している。項目別でみれば，90~100%の出席率は低く，予習復習，教材の持参が全学平均より低い。授業目的，シラバス，内容，進度に関しては国際関係は若干高い数値が出ているが，その差は特徴的なものではない。

教材の持参については，国際的な動向の反映という点から教科書を指定せず，資料を配布するという授業も少なくないので，このような数値が出たのではなかろうか。

2．所属学部・学科の教員コメントについて

国際関係学部では現実のアジアを「教室」で講義しなければならないという問題を抱えているにもかかわらず，多くの先生が映像，体験等を通じた授業を展開している。例えば，

「実物を持って来て見せてくれるので、実際に目で見て、手で触ることができて、より興味深かった」「映像を使ってわかりやすくしてくれる」「ゲームや小テストで楽しみながらもしっかり学べる」「映像資料が多くてよい」「先生が歌ったり踊ったりしながら説明するのがよい」など，先生方の熱意が十分伝わるコメントが学生から出ている。この点で，国際関係学部教員の授業改善の工夫は毎年進歩してきている。

学生からの不満で一番多いのは，板書の見づらさと授業の進行速度である。板書については多くの先生方が改善の方向を提示している。一方で，授業進度については悩まれている先生方も多いようだ。進行を遅くする，あるいは内容を減らせば，このような意見はなくなるだろうが，一方で進行が遅く，授業内容が少ないという意見も出てくる可能性がある。学生が多様化する中で，適切な授業進度と教授内容の量を決定することは難しい。

3．2014年度(今回)の検証を踏まえ、2012～2013年度に報告された課題と計画の進捗状況と今後の展望について

課題の一つは，全学アンケートと学部アンケートの関係性に関わる問題であった。全学アンケートが前期に行われることになったのを受けて，学部独自のアンケートは，初年次教育（チュートリアル）を対象に後期に合わせて実施された。時期をずらすことによって学生への負担を軽減するとともに，初年次教育の状況把握，そして試験的に導入された一部チュートリアルでのキャリア教育への評価を行うことができた。しかし，両者の質問事項が似てきていることに変化はなく，全学アンケートの対象科目が増加するのであれば，学部アンケート実施の意義は薄れるだろう。したがって 2015 年度は学部アンケートを見送る予定である。

課題の二つ目は，カリキュラム改定である。2015 年度より初年次教育（チュートリアル）において，全科目でキャリア教育（チュートリアル後期）が導入された。担当者の研修会を開催し，同じ教科書を用いて授業を行い始めている。これがどれだけの効果を持つのか，今後何かしらの方法で検証する必要があろう。

以　上

2014年度授業評価アンケート報告書

経　営　学　部

１．所属学部・学科の教員コメントについて

学生諸君からの個別授業に対するアンケート集計および自由記述回答は、教員それぞれにおいては今後の授業計画に対する貴重な契機として受け止めています。経営学部では十分な配慮の上で慎重に各コメントも精査しました。教育コメントの１つ１つが深い内省により到達した真摯な決意の表れとなっています。各虚運がそれぞれ改善工夫すべきことに気づくとともに、今後の授業に対する熱い姿勢を確認することができました。

以下では、アンケート結果に対する学部としての分析、そこから得られる組織的課題および今後の方針などについて報告いたしますます。

２．2014年度各設問の数値に関する検証

各アンケート項目を単純集計したという精度上の問題はあるとしても、他学部・他学科との相対比較は大変興味深いものがありました。経営学部は両学科共に他学部・他学科と比べると、特に、授業への集中、授業目的の明確さ、理解ししやすさ、新しい自己発想、分野への関心などの項目について相対的に下位に位置しています。教員の熱意についての評価も高くありません。経営学部では授業への取り組みに関して何か致命的な問題があるのかどうかについて検討しました。

本学とは対置にある理学・工学系教育とでは隔絶的な特質差に起因する違いが当然あり得るわけですが、それとは別種の文脈において、文化系大学である本学を構成する人文・語学系や社会科学系ならびスポーツ健康系などの学部・学科におけるアンケート結果は教育実態評価の高低を意味するものなのか、が分析の焦点となりました。経営学部の分析見解は、学生アンケート結果はそれぞれ学問分野の方法を学び探求する学びの特徴そのものに起因するというものです。ただし、個別に論ずべき事柄やさまざまな反省も当然あることは確かで、このままの教育現状で良いと結論づけたり、経営学部に対する評価順位の低さを弁明するものでは決してありません。

社会科学分野の一翼をなす経営学では、その学問の成立過程がまさにそうであったように、近代になって概ね成功裏に進展した科学的方法論を濃厚に伝承しつつ、教育研究の諸段階において具体的事例を検討しながらも、普遍化への希求、つまり一般的な状況課題に対する洞察や問題解決を追求する指向が学問的姿勢における共通認識です（そのような試みのほとんどは、残念なことですが、依然として現実的有効性を獲得するまでには至っていません）。

記録の掘り起こしとその理解や技能修得の実現、あるいは毎回ごとに目的設定が比較的容易であるような教育的局面では当面の目標を学生に提示することが可能です。学生自身は明確な目的意識を持ちやすく、そのことが授業目的の明確さにつながるはずです。一方、世界認識・状況把握それ自体をまず問題とする場合、しかもその認識が必ずしも容易でない接近の仕方を内包するような学問に接続するための教育においては、学ぶ対象分野への概要紹介と授業進行の双方に無視できない段差を生み出してしまう可能性があります。経営学を含む社会・経済的課題の理解には全体性を維持した接近が重要であって、そこには要素還元的な近代科学の手法と一線を画する固有の学問的方法に常に耳をそばだてる必要があります。このことは授業への集中の低下や分野への関心の低さを生み出しかねません。

こうした分析は弁明ではなく、この指摘そのものが経営学部教育の課題であるという意味を持っています。たとえば、理学や数学といった世界においては、その全体把握に至らしめるように学生が段階的に達すべき練度の適切な切り出し方の世界標準が概ね合意されています。しかも多くの優れたテキストが存在しているわけですから、考え抜かれた 2、3 の概論的授業と演習を組み合わせた導入教育を実施することで、初年度を終えた学生達は自ら学ぶべき学問世界の広がりと今後熟読・検討すべき書籍を挙げることができるようになります（だからといって全員が勉学に励むわけではありませんが）。本学経営学部において、そのような状況を生み出すようなことができれば、それは日本における標準課程になりえるでしょう。

３．2014 年度(今回)の検証を踏まえ、2012～2013 年度に報告された課題と計画の進捗状況と今後の展望について

高度専門教育の観点でみると、学生が経営分野を学ぼうとする背景の 1 つに雇用可能性を向上させたいという思惑があるとしても、先に指摘した特性を有する経営学研究の場においては単なるディレッタントだけでは越えられない何かがあります。細部を存立させている個々の論理が必ずしも全体の構造とは整合的でないことが常態であるような経営的対象の理解を通じて、人間が創り出した世界システムの深部に至る認識と理解に挑もうとする経営学的追求を教育システムに落とし込む作業こそが経営学部の FD 活動そのものを構成していくと考えています。

この教育的挑戦に立ち向かうためには、学部における基礎教育と専門教育とを単なる学年の受け渡しでなく、有機的に重層連結した学生教育システムの開発にむけた具体的な取り組みに加えて実際に教育システムとして稼働させる行動力必要です。2016 年度から経営学部は 2 学科から 1 学科へと統合化して再出発します。これを契機として経営的研究を深化し教育・伝承していくためには統合化が現在的な最善解であることを内外に示したいと考えています。このためには、カリキュラム構成において、たとえば担当者だけに丸投げする従来方式から転換し、個々の科目においても教育内容の子細を学部全体で検討し共有するような教育内容の透明化に向けた継続的努力が必要になるでしょう。今後の経営学部の FD 活動の中心的課題がここにあります。

ただし、これらを実行しようとする段になると大きな困難と壁が幾重にも立ちふさがっていることに気づきます。今日の学校教育では合い言葉であるかのように学生一人一人に寄り添った教育、つまり個別事情に合わせたテーラーメイドの教育が追求されるようになってきました（その是非は議論すべきことですが、学生にとっては喜ばしいことでしょう）。経営学部でこれを実現するためには、板橋と東松山の校舎問題（および教員所属問題）の解消、個別指導が行き渡り大学教育のアウトカムを左右するゼミナール（卒業研究）の必修化などの道を辿る必要があるでしょう。また、基礎教育および語学科目の共通化の徹底はきめ細かな教育を実現するための自然な前提であることにも気づきます。経営学部の抱えるこうした課題は実は大学全体の課題であることを最後に指摘しておきます。

以　上

2014 年度授業評価アンケート報告書

環境創造学部

1．2014 年度各設問の数値に関する検証

(1)20 の設問のうち、本学部･学科が気になった数値(高い数値と低い数値に分けたうえで)を全学平均値や他学科との比較などの観点からの分析

高い数値　なし

低い数値　授業への集中(下から 3 位)、授業目的の明確さ(最下位)、シラバスの反映(最下位)、理解しやすさ(最下位)、適切な授業進行速度(最下位)、板書等の見やすさ(最下位)、教材の使い方(最下位)、授業態度への対応(下から 3 位)、教員の熱意(下から 4 位)、毎週の期待（下から２位)、新しい発想（下から２位)、分野への関心（最下位)、自分で考える姿勢（最下位)、満足度（最下位)

以上にあげたように、ほとんどの項目で最下位にあがっていた。とくに授業目的、シラバス、理解しやすさ、進行速度、板書、教材、熱意に関しては、教員側の努力で直接改善できる項目であるから教員自身の問題であるといえる。つまり、適切な授業が行われていないと言わざるをえない。改善が必要である。これらの改善努力が学生に認められれば、分野への関心や満足度といった項目が改善するものと思われる。

(2)本学部･学科の専門分野の特質性から出たと推測される数値および分析

本学科は学際的な分野を専攻としており、法学や経済学などという特定の専門がないため、学生自身が概論や専門分野の基礎がない状態で専門講義に入っていく。そのため、分野別の専門講義において、専門知識を応用したり自分で考えてみなさいとなると困惑してしまうようである。この点に関連して以下の項目は低い数値となっている。

授業目的の明確さ(最下位)、理解しやすさ(最下位)、分野への関心（最下位)、自分で考える姿勢（最下位)

(3)その他

これだけの項目数で、さらに満足度まで最下位という結果を真摯に受けとめ、学部学科教員が一人一人、日々の授業で改善するように努めたい。

2．所属学部・学科の教員コメントについて

(1)授業改善に繋がるユニークな教員コメント等の紹介

「参加型の授業への高い評価をいただき、その効果を確信しました。皆さんが積極的に参加すればするほど高い効果があがります。今年度は積極的に参加してくれた学生が多くわたしも満足です。」

(2)授業をする際に教員が困っているコメント、それに対する解決方法や解決方法が見出せないなどの意見の紹介

「この学部の教育上、憲法や経済学などという専門というものがなく、学生自身に土地勘がない分野を講義していく上で、学生参加の機会を取っても単なる感想や沈黙になる講義になりかねません。講義を通じて様々な角度からの考え方を一方的に説明していく方がましと思います。」

３．2014 年度(今回)の検証を踏まえ、2012～2013 年度に報告された課題と計画の進捗状況と今後の展望について

(1)上記の点につき、本学部･学科の授業改善に繋げるためにするべきこと、すでに取組みをしていること

教員各自の意識を高めることが一番大切と考えている。現在、FD については、環境創造学部教育研究ワークショップで年に数回取り上げているが、今後さらに、深めていきたい。

(2)授業評価アンケートの結果や分析から、本学部･学科の教育改善活動(FD)全般について、今後すべきこと

最も学生から評価が低かった学部・学科として、学部独自で授業品質の見える化が必要だったと思っている。例えば、学部内の全ての授業において満足度がなぜ低くなるのかを明らかになるような項目でアンケートを実施するなどを検討したい。そして、教授会で公表し、改善を促し学生満足度の向上につなげたい。

(3)今後実行すべき具体的な課題や行動計画

これまで入門ゼミナールで使用する統一した教科書を作成する、環境創造学会を通じて学生や教員がともに研究活動・報告を行うなどの目標を立ててきたが、なかなか実現までいたっていない。来年は、学部創立１５周年にあたるので、まだ具体的な行動計画はないが、これまでの活動を統括し、実践に移せる行動をしたい。

以　上

2014年度授業評価アンケート報告書

スポーツ・健康科学部

1．2014年度各設問の数値に関する検証

スポーツ科学科においては授業への集中、授業姿勢に対する自己評価、自分で考える姿勢、及び授業における満足度などが高い傾向があった。それに対し、シラバスの熟読、シラバスの反映などが低値を示した。また満足度が全体２番目に高かった。健康科学科では出席率は際立って高く、その反面、適切な授業進行速度、毎週の期待等が低値を示した。また、満足度は全体で１４番目と平均を下回った。

前年度との比較を見てみると、スポーツ科学科では教員の熱意、毎週の期待、満足度が改善傾向にあった。加えて、予習・復習・練習の値が改善傾向にあった。予習・復習・練習という学生の取り組みが増えたことが、教員の熱意を感じる、あるいは満足度の改善に繋がっていることが予想される。健康科学科では前年度に対し、授業への集中が改善し、教員の熱意、予習・復習・練習の値が改善傾向にあり、受講態度への対応も改善傾向にあった。しかしその反面、毎週の期待の値は減少傾向にあった。

両学科ともに出席率は高く、就学させる姿勢が徹底されているが、その反面、授業参加への強制力は強い。それらの状況に対し、学生が満足度、あるいはマイナス要因となるストレスを感じる可能性が示唆された。健康科学科では、国家試験を突破するという命題に対して、課題を消化していくストレスが、授業への期待などの低値につながっている可能性がある。また、学生は授業の進行速度が速いと学生が感じており、レベルに応じて学生のニーズを考慮したシステムを考える必要があると考えられる。

2．所属学部・学科の教員コメントについて

- 授業内容の明確さ等、意図して行っている内容が評価されており、このまま継続していくつもりである。一　方、学習意欲の低い学生は課題提出や授業内容が濃くなると授業評価が低くなる傾向があるように感じた。
- フレッシュマンセミナーＡは、４名の教員で担当しており受講者は全員同じ教室で同じ内容の授業を受けている為、４名のコメントは全て同じである。アンケートの結果はおおむね予想通りであり、「厳しい」等の一見ネガティブな意見もこの授業の目的からすると良い傾向であると考えている。
- ・スライド切替えについて、速い遅いという意見があり、１００名以上の学生全員に満足させるのは難しいと感じた。
- スポーツ実技授業の授業内容の設定および実際の授業の展開方法の難しさは、当該実技種目に関する受講者の経験度とそれに伴う技能レベルに差がある点にある。初回授業でのガイダンスおよび各授業における説明で、取り組み内容の理解を促すことと、初心者がある程度段階を踏みながら経験を積めるような内容の工夫を心がけている。「満足度・理解しやすさ・授業進行速度・分野への関心」などの項目は、この点を反映するものと捉えるので、さらに向上できるよう取り組みたい。
- 授業についての評価および総合評価にて“４”を下回った項目は、①学生参加の機会(3.7)、②自分で考える姿勢(3.9)、③受講態度への対応（3.9）であった。授業内容は「人の動作制御のメカニズム」に関するもので、複数の科学領域の基礎知識をもとに情報を学生に示しながら、理解を促す必要があるため教員⇒受講生という講義形式になってしまう点が、①②を反映しているものと解釈する。③については、コメントに「寝ている人に厳しくした方がよい」というものがあった。これについては、初回授業にて授業方針および学習態度についての教員側の考え方・方針を伝えている。「静かすぎる」のコメントがあるように、授業中の静寂・秩序は保たれていると認識している。
- 結果はとても参考になる。しかし、一方で、本データはまじめに授業を受けている学生とほとんど居眠り

している、あるいは私語の多いなど、まじめに受講していない学生の意見が同等に扱われている。
まじめな学生の意見を参考にしたいと思うので、意見に対して、その学生のこれまでの成績など基本情報を匿名で付加するなどの対応があるとよいと思う。

３．2014 年度(今回)の検証を踏まえ、2012～2013 年度に報告された課題と計画の進捗状況と今後の展望について

スポーツ科学科では、近年シラバスの熟読、シラバスの反映等が低値を示してきた。そもそも熟読していない状況は、シラバスの重要性を感じていないことが原因と考えられ、学科ではこの点に関して整合性が高いガイドラインとしてのシラバス作成を心がけてきた。ただ、学生のシラバスを熟読する傾向は改善していない。シラバスが授業内容について詳しく書かれているだけでは、学生はそれを閲覧せず、ガイドラインとして使用しないことが示唆された。これは実技に関わる科目を履修するにあたって予測で内容を判断するという傾向が強いことが予想される。また多くの学生が運動部に所属しており、そこで先輩など人づてに講義の内容を聞いて判断する傾向があるために、シラバス軽視の流れが止まらないのであると予想される。授業の内容に関してはスポーツ科では理解のしやすさが改善しており、それに合わせて、教材の使い方が改善していた。これらの項目の改善が、結果として満足度の高さに繋がっていることが予想される。これらの結果をうけ、学部として、継続して教材の研究と活用方法について進めていく必要があると考えられる。

健康科学科では適切な授業進行速度などが改善傾向にあるが、昨年は全体で最下位、本年は下から２番目の低値を示している。近年における問題が改善しているとは言い難い。進行速度が速いということが理解に繋がっていないということが予想される。これらが満足度の低さに繋がっている可能性があり、学生の理解の進捗状況を把握して授業展開する必要があると考えられる。ただし、健康科学科特有の国家試験の突破という課題のハードルの高さは低くなることはなく、高いレベルでの講義理解、暗記作業などが求められることから、学生の理解の進捗状況に迎合するだけではなく、試験合格率を高めるために、ハイレベルな講義、および講義外での勉学に伴う高ストレス下にある学生をサポートする授業以外でのサポートも考えていく必要があると思われる。

以　上

<参考資料1>

大東文化大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程

（目的）

第１条　この規程は、自己点検・評価全学委員会及び学部・大学院と連携をとりつつ、大東文化大学における教育内容及び技法の質の向上を目指すことを目的とする。この目的達成のため、ファカルティ・ディベロップメント委員会（以下「ＦＤ委員会」という。）を設置する。

（任務）

第２条　ＦＤ委員会は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事項を審議検討し、実施することを任務とする。

（１）　本学の教育システムに対するファカルティ･ディベロップメントの視点からの分析及び提言、並びに教育効果に関する諸調査の企画、実施及び分析

（２）　ファカルティ・ディベロップメントに関連する学内外の情報収集とその普及等の広報啓発活動

（３）　ファカルティ・ディベロップメントに関する講演会、研究会その他の企画及び開催

（４）　「学生による授業評価」の策定及び実施、授業評価結果の分析、並びに授業評価結果報告書の作成及び公表

（５）　授業評価結果の有効活用その他授業改善に関する取り組みの支援

（６）　その他、ＦＤ委員会が必要と認めた事項

（組織）

第３条　ＦＤ委員会は、次の委員をもつて構成する。

（１）　学長又は学長が副学長の中から指名した者１名

（２）　各学部が選出する者　各１名

（３）　各研究科が選出する者　各１名

（４）　学長が指名する者　若干名

２　ＦＤ委員会の委員長は、前項第１号に定める者とする。

３　ＦＤ委員会に副委員長を１名ないし２名置く。副委員長は委員会の同意を得て委員長が指名する。

４　副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故があつた場合は、委員長の職務を代行する。

５　委員の任期は２年とする。ただし、再任を妨げない。

６　委員が欠けたときの後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

７　ＦＤ委員会は必要に応じて委員以外の者に同委員会への出席及び発言を求めることができる。

（運営）

第４条　委員長はＦＤ委員会を招集し、その議長となる。

２　ＦＤ委員会は、委員の過半数の出席がなければ、議事を開き、議決することができない。

３　ＦＤ委員会の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

（専門部会）

第５条　ＦＤ委員会は、第２条の任務を遂行するにあたり、必要に応じて専門部会を設けることができる。

２　専門部会には、委員以外の協力委員を置くことができる。

（事務局）

第６条　ＦＤ委員会に関する事務は、学務部学務課が担当する。

（規程の改廃）

第７条　この規程の改廃は、ＦＤ委員会の発議に基づき、大学評議会及び大学院評議会の議を経てこれを行う。

附　則

この規程は、平成18年５月15日から施行する。

附　則（平成21年６月15日）

本規程は、平成21年６月15日から施行する。

附　則（平成22年２月22日）

１　この改正規程は、平成22年４月１日から施行する。

２　この改正規程の施行に伴い、大東文化大学学生による授業評価実施委員会規程は、平成22年３月31日をもつて廃止する。

＜参考資料２＞

平成 27 年 4 月 28 日

平成 27 年度 大東文化大学「学生による授業評価アンケート」実施要項

ファカルティ・ディベロップメント委員会

１.実施対象

（１）原則としてシラバスに掲載されているすべての学部学科の開講科目を対象とし、非常勤講師を含め全員参加とする。

（２）大学院はその性格から対象としない。また、今回は専任教員は２科目、非常勤講師は１科目とする。

（３）科目の選定基準は、①１科目は受講者が最も多い科目、②２科目目（専任教員のみ）は原則として①と異なる授業形態の中で受講者が最も多い科目、③受講者 10 名未満の科目は除く、とする。

２.実施主体

大東文化大学ファカルティ・ディベロップメント委員会が行う。

３.調査項目

（１）今回のアンケートは、マークシート方式とし、学生が自由に記述できる欄を設ける。

（２）個々の教員が重要と判断できる事項について学生の意見を聴取できるようアンケートには、教員が独自の設問を 2 問追加できるようにする。

４.実施時期

今回は、**平成 27 年 6 月 29 日(月)から 7 月 4 日(土)の１週間**を正規実施期間とし、翌週を予備実施期間とする。

５.アンケートの実施と回収

（１）アンケートの実施とその回収は本委員会の責任のもとで行う。

（２）各教員は、実施前に配付される実施手順（マニュアル）によりアンケートの実施を行う。

（３）アンケート用紙は、教員が指定された場所で受け取り、教室で学生に配付する。

（４）アンケートは授業時間終了前に行うこと。アンケート記入時間の目安は 20 分程度である。教員は、受講者数、配付時間等を考慮して、記入時間を十分に確保することができるように努めること。

（５）教員は、必要事項の説明と板書終了後、アンケート用紙を配り終わった時点で退室する。その後の用紙の回収は、当該教員が事前に委嘱した学生（学生協力者と呼ぶ）が行い、学生協力者が、用紙の回収後、指定された場所に届ける。なお、学生協力者は、事前に当該教員が委嘱しておくものとする。

６.評価と集計の方法

（１）評価の方法

各授業につき、調査項目ごとに５段階評価で行う。

（２）集計の方法

①集計は、業者委託とする。

②集計後のアンケート用紙原本は各教員に郵送せず、集計結果及び自由記述欄をデータ化した書類を、当該教員に配付する。なお、希望者のみに読込データ（エクセル・ファイル）を CD-R で配付する。

③②の配付方法は、専任教員には学内で配付し、非常勤講師には上記業者から郵送する。

④本委員会は、全学的な集計結果をまとめ、その分析方法を検討する。

７.結果の取り扱い

「授業評価」の結果を、教員の行政的不利益や教員に対する管理の強化に結びつけることはゆるされない。

８.結果の公表と活用

（１）上記の集計結果は『報告書』に掲載し、その『報告書』は、学生を含め学内に公開される。

（２）調査項目には、自由記述欄が含まれているが、その部分は『報告書』には記載せず、当該教員が今後の授業の参考資料として活用する。

（３）個々の授業科目の評価結果については、教員のコメントを付して学内に公表する。

（４）学外への公表は、本委員会の責任において、本学ホームページ等を含め必要に応じて行う。ただし、８の（２）及び（３）の内容は学外へ公表しない。

以　上

学生による授業評価アンケートのお願い

授業評価アンケートは、本学の教育をさらに充実させるために実施されるものです。
1　名前を書く必要はありません。
2　回答内容があなたの成績評価に影響を与えることは決してありません。
3　厳正かつ真摯な態度でご回答ください。

大東文化大学　学長

「アンケート・コード」4ケタを、教員が板書しますので、数字を正確に記入してください。

アンケート・コード

注意事項
①回答にはHBの黒鉛筆（シャープペンシルでも可）を用いてください。
②訂正する場合には、必ず消しゴムで完全に消してください。
③回答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないでください。
④余白には何も記入しないでください。

〈数字記入例〉 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

〈マーク例〉 良い例　悪い例

F 1. 在籍学科

- 文学部　日本文学科
- 文学部　中国学科
- 文学部　英米文学科
- 文学部　教育学科
- 文学部　書道学科
- 経済学部　社会経済学科
- 経済学部　現代経済学科
- 外国語学部　中国語学科
- 外国語学部　英語学科
- 外国語学部　日本語学科
- 法学部　法律学科
- 法学部　政治学科
- 国際関係学部　国際関係学科
- 国際関係学部　国際文化学科
- 経営学部　経営学科
- 経営学部　企業システム学科
- 環境創造学部　環境創造学科
- スポーツ・健康科学部　スポーツ科学科
- スポーツ・健康科学部　健康科学科

F 2. 在籍学年

- 1年生
- 2年生
- 3年生
- 4年生
- 科目等履修生・交換留学生等

F 3. この授業の科目区分を教えてください。

① 必修科目
② ある程度選択できる科目
（選択必修、選択科目・コース別選択科目など）
③ 自由に選べる科目

F 4. あなたは、この授業をどのような目的で受講しましたか。次の中から最もあてはまるものを1つ選んでください。

1つ選択

- 将来の進路、専門性に役立つと思ったから
- 時間帯（時間割）の都合が良かったから
- 内容が興味深いから
- 教員の評判が良かったから
- 単位が取りやすそうだったから
- 友達が受講するから
- 資格取得に必要だから
- 必修科目だから
- その他

※裏面のアンケートにお答えください。

以下の設問について、あなたにとって５選択肢のどれにあたるか、〔評価欄〕にマークしてください。

【評価基準】 肯定的 ⑤ ― ④ ― ③ どちらとも言えない ― ② ― ① 否定的

〔評価欄〕

Ⅰ．あなた自身について教えてください

		評価欄	設問
Ⅰ	Q 1	5 4 3 2 1	Q 1．この授業への出席率はどのくらいですか。〔 5 :100～90％、 4 :89～80％、 3 :79～70％、 2 :69～60％、 1 :60％未満〕
	Q 2	5 4 3 2 1	Q 2．この授業に関する予習・復習・練習などを行いましたか。
	Q 3	5 4 3 2 1	Q 3．あなたは授業に集中しましたか（私語、携帯電話の使用、勝手な教室の出入り、居眠り等をしなかった）。
	Q 4	5 4 3 2 1	Q 4．この授業のシラバス（授業内容が記載されている教授要項）をよく読みましたか。
	Q 5	5 4 3 2 1	Q 5．シラバスにあらかじめ記載されている物、または授業中に持参するように指示された教材(テキスト、プリント、辞書等)を、忘れずに持参することができましたか。
	Q 6	5 4 3 2 1	Q 6．あなた自身が授業へ真剣に臨む姿勢について、自己評価をするなら何点ですか。〔 5 :100～90点、 4 :89～80点、 3 :79～70点、 2 :69～60点、 1 :60点未満〕

Ⅱ．この授業について教えてください

		評価欄	設問
Ⅱ	Q 7	5 4 3 2 1	Q 7．この授業の目的やねらいは明確でしたか。
	Q 8	5 4 3 2 1	Q 8．教員はシラバスを授業に反映させていましたか。
	Q 9	5 4 3 2 1	Q 9．授業内容は理解しやすかったですか。
	Q10	5 4 3 2 1	Q10．授業進行の速度は適切でしたか。
	Q11	5 4 3 2 1	Q11．板書の文字やスクリーンの画面は見やすかったですか。
	Q12	5 4 3 2 1	Q12．教員の教材・機器（ビデオやパワーポイントなど）の使い方は適切でしたか。
	Q13	5 4 3 2 1	Q13．質問、発言など、学生の積極的な参加の機会がありましたか。
	Q14	5 4 3 2 1	Q14．学生の私語など不適切な受講態度に対して、教員の対応は適切でしたか。
	Q15	5 4 3 2 1	Q15．教員の授業に対する熱意を感じましたか。
	Q16	5 4 3 2 1	Q16．この授業を毎回楽しみにしていましたか。

Ⅲ．この授業を総合的にみて、どう思うか教えてください

		評価欄	設問
Ⅲ	Q17	5 4 3 2 1	Q17．この授業をとおして、自分にとって新しい考え方や発想が身につきましたか。
	Q18	5 4 3 2 1	Q18．この授業で扱われた分野への関心が高まりましたか。
	Q19	5 4 3 2 1	Q19．この授業をとおして、自分で調べ、考える姿勢が身につきましたか。
	Q20	5 4 3 2 1	Q20．この授業を総合的にみて、満足できましたか。
Ⅳ		5 4 3 2 1	Ⅳ．（この項目は、教員から別途指示された場合のみマークしてください）
Ⅴ		5 4 3 2 1	Ⅴ．（この項目は、教員から別途指示された場合のみマークしてください）

この授業について良かった点を最低１つ、または改善すべき点を最低１つ教えてください。
（※この欄はデータ化されて教員に渡すため、筆跡で個人を特定することはできません。）

A. 履修登録者数・回答者数レベル別集計
（全学・学年・学部別集計）

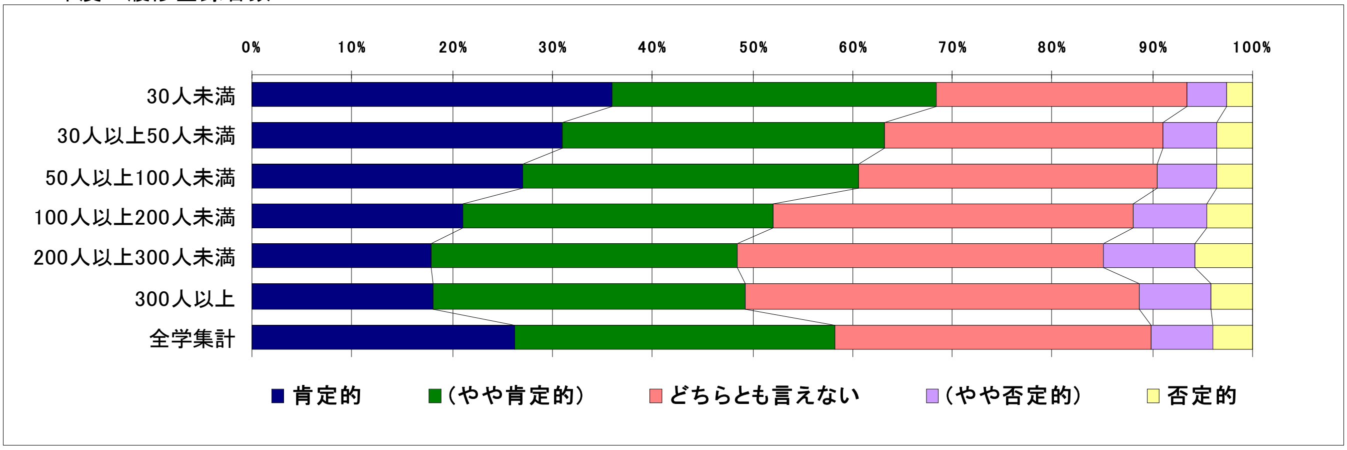
全学集計【履修登録者数・回答者数レベル別集計】

学年：　全学年

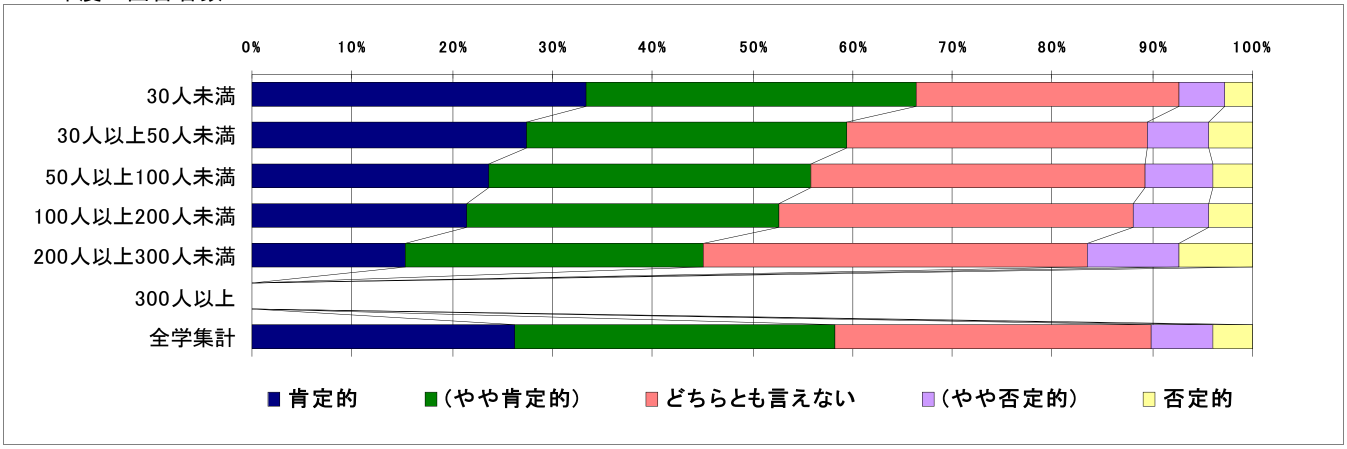
総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）
[Q17：新しい自己発想、Q18：分野への関心、Q19：自分で考える姿勢、Q20：満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2015年度履修者	30人未満	9,349 (36.0%)	8,414 (32.4%)	6,509 (25.1%)	1,031 (4.0%)	659 (2.5%)	4.0
	30人以上50人未満	12,013 (31.0%)	12,509 (32.3%)	10,766 (27.8%)	2,047 (5.3%)	1,415 (3.7%)	3.8
	50人以上100人未満	13,739 (27.1%)	17,005 (33.5%)	15,205 (30.0%)	3,030 (6.0%)	1,786 (3.5%)	3.7
	100人以上200人未満	10,879 (21.0%)	16,152 (31.2%)	18,622 (35.9%)	3,812 (7.4%)	2,370 (4.6%)	3.6
	200人以上300人未満	3,383 (17.9%)	5,783 (30.7%)	6,879 (36.5%)	1,740 (9.2%)	1,077 (5.7%)	3.5
	300人以上	1,376 (18.0%)	2,392 (31.3%)	2,992 (39.2%)	557 (7.3%)	313 (4.1%)	3.5
	全学集計	50,739 (26.2%)	62,255 (32.1%)	60,973 (31.5%)	12,217 (6.3%)	7,620 (3.9%)	3.7
2015年度回答者	30人未満	15,730 (33.4%)	15,532 (33.0%)	12,434 (26.4%)	2,123 (4.5%)	1,311 (2.8%)	3.9
	30人以上50人未満	11,086 (27.4%)	12,958 (32.0%)	12,144 (30.0%)	2,509 (6.2%)	1,765 (4.4%)	3.7
	50人以上100人未満	15,449 (23.6%)	21,164 (32.3%)	21,861 (33.3%)	4,439 (6.8%)	2,652 (4.0%)	3.6
	100人以上200人未満	7,801 (21.5%)	11,299 (31.1%)	12,864 (35.5%)	2,741 (7.6%)	1,573 (4.3%)	3.6
	200人以上300人未満	673 (15.4%)	1,302 (29.8%)	1,670 (38.2%)	405 (9.3%)	319 (7.3%)	3.4
	300人以上	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	－
	全学集計	50,739 (26.2%)	62,255 (32.1%)	60,973 (31.5%)	12,217 (6.3%)	7,620 (3.9%)	3.7

＜評価帯グラフ＞
総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）
2015年度　履修登録者数



2015年度　回答者数



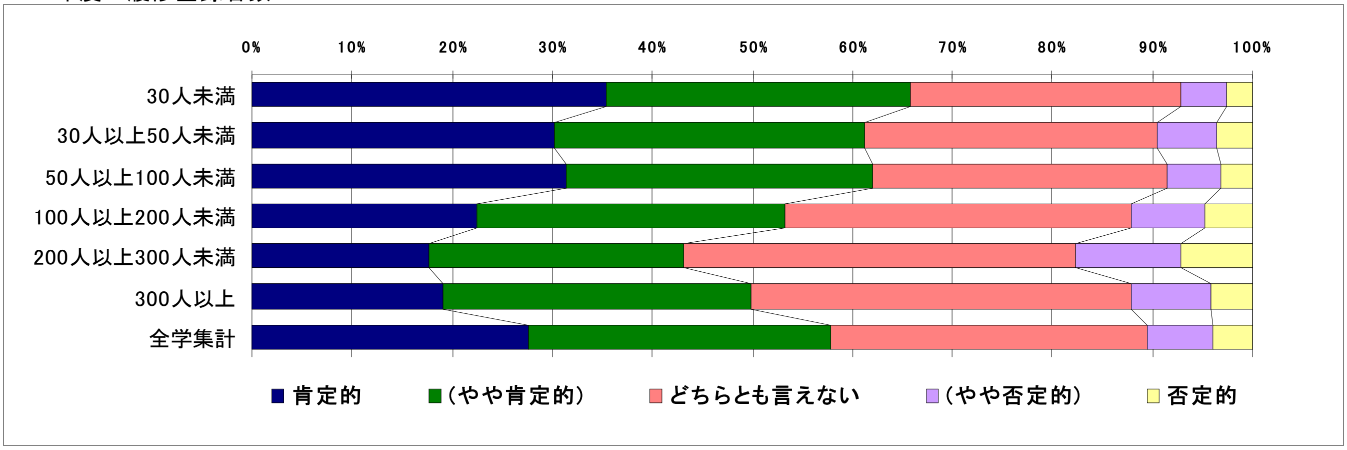
全学集計【履修登録者数・回答者数レベル別集計】

学年：　１年

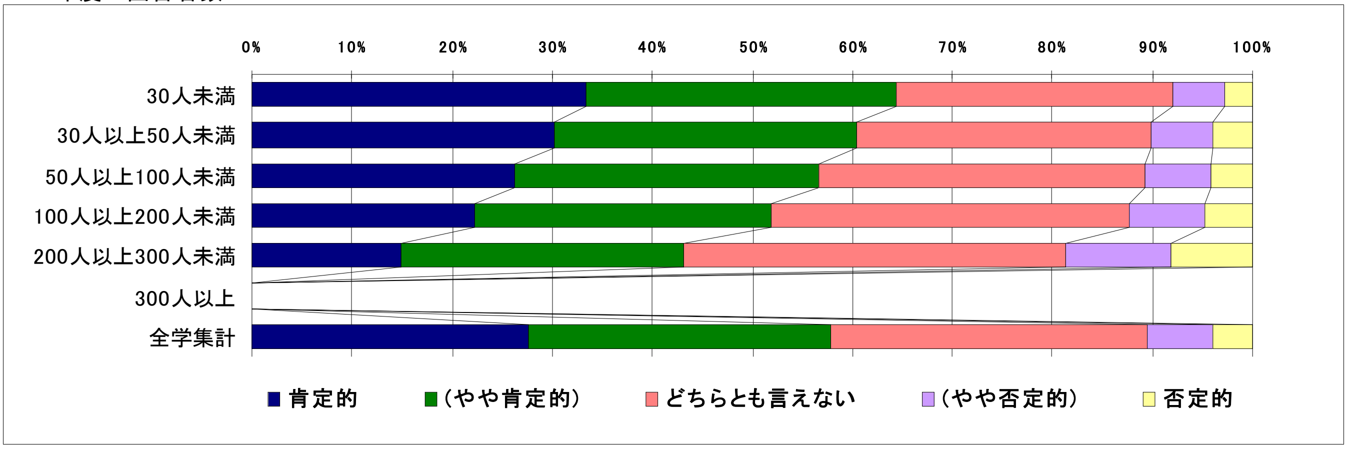
総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）
[Q17：新しい自己発想、Q18：分野への関心、Q19：自分で考える姿勢、Q20：満足度]

実施年度	区分	肯定的	（やや肯定的）	どちらとも言えない	（やや否定的）	否定的	平均
2015年度履修者	30人未満	4,265 (35.3%)	3,686 (30.5%)	3,256 (27.0%)	562 (4.7%)	304 (2.5%)	3.9
	30人以上50人未満	5,212 (30.3%)	5,327 (31.0%)	5,028 (29.2%)	1,014 (5.9%)	612 (3.6%)	3.8
	50人以上100人未満	3,958 (31.3%)	3,888 (30.8%)	3,700 (29.3%)	688 (5.4%)	405 (3.2%)	3.8
	100人以上200人未満	4,051 (22.4%)	5,572 (30.8%)	6,268 (34.7%)	1,315 (7.3%)	868 (4.8%)	3.6
	200人以上300人未満	1,189 (17.7%)	1,717 (25.5%)	2,629 (39.1%)	705 (10.5%)	487 (7.2%)	3.4
	300人以上	520 (19.1%)	835 (30.7%)	1,036 (38.1%)	215 (7.9%)	114 (4.2%)	3.5
	全学集計	19,195 (27.6%)	21,025 (30.3%)	21,917 (31.6%)	4,499 (6.5%)	2,790 (4.0%)	3.7
2015年度回答者	30人未満	6,596 (33.3%)	6,156 (31.1%)	5,469 (27.6%)	1,035 (5.2%)	536 (2.7%)	3.9
	30人以上50人未満	3,695 (30.3%)	3,672 (30.1%)	3,587 (29.4%)	749 (6.1%)	494 (4.1%)	3.8
	50人以上100人未満	4,838 (26.2%)	5,624 (30.5%)	6,014 (32.6%)	1,192 (6.5%)	779 (4.2%)	3.7
	100人以上200人未満	3,706 (22.3%)	4,899 (29.5%)	5,929 (35.7%)	1,268 (7.6%)	787 (4.7%)	3.6
	200人以上300人未満	360 (15.0%)	674 (28.1%)	918 (38.2%)	255 (10.6%)	194 (8.1%)	3.3
	300人以上	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	－
	全学集計	19,195 (27.6%)	21,025 (30.3%)	21,917 (31.6%)	4,499 (6.5%)	2,790 (4.0%)	3.7

＜評価帯グラフ＞
総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）
2015年度　履修登録者数



2015年度　回答者数



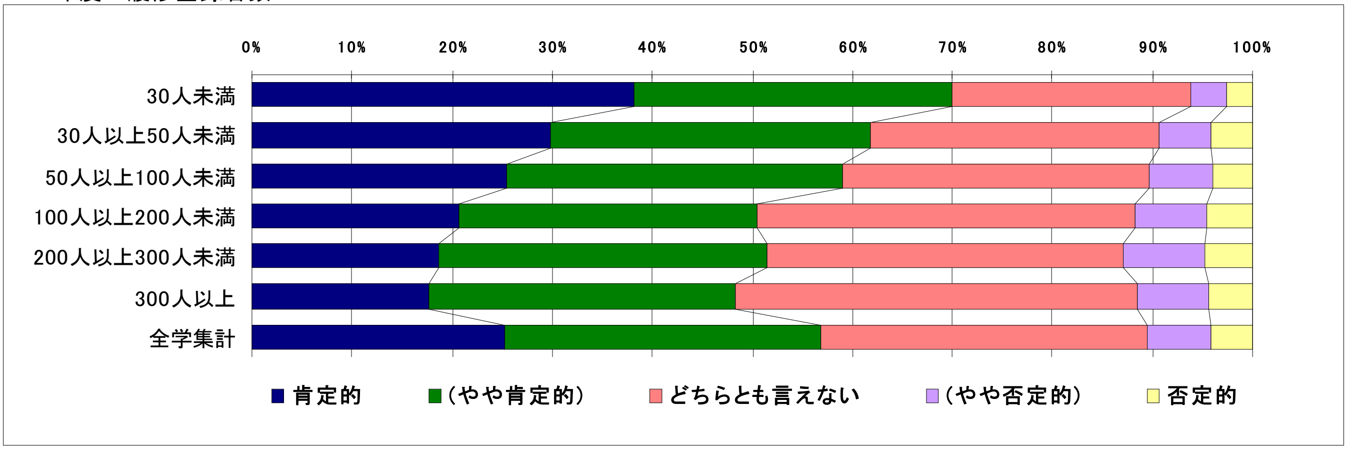
全学集計【履修登録者数・回答者数レベル別集計】

学年：　２年

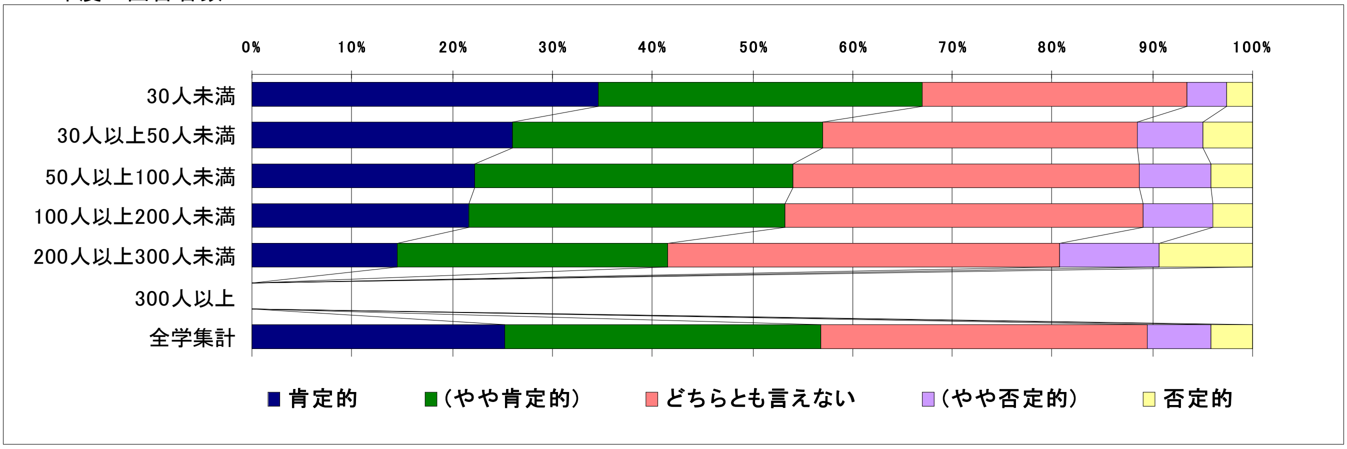
総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）
[Q17：新しい自己発想、Q18：分野への関心、Q19：自分で考える姿勢、Q20：満足度]

実施年度	区分	肯定的	（やや肯定的）	どちらとも言えない	（やや否定的）	否定的	平均
2015年度履修者	30人未満	2,605 (38.2%)	2,177 (31.9%)	1,626 (23.8%)	242 (3.5%)	177 (2.6%)	4.0
	30人以上50人未満	3,246 (29.8%)	3,483 (32.0%)	3,144 (28.9%)	565 (5.2%)	451 (4.1%)	3.8
	50人以上100人未満	3,868 (25.4%)	5,106 (33.6%)	4,648 (30.6%)	978 (6.4%)	603 (4.0%)	3.7
	100人以上200人未満	3,885 (20.6%)	5,623 (29.8%)	7,121 (37.8%)	1,366 (7.2%)	858 (4.6%)	3.5
	200人以上300人未満	1,038 (18.8%)	1,809 (32.7%)	1,964 (35.5%)	459 (8.3%)	261 (4.7%)	3.5
	300人以上	507 (17.8%)	869 (30.5%)	1,147 (40.2%)	202 (7.1%)	127 (4.5%)	3.5
	全学集計	15,149 (25.2%)	19,067 (31.7%)	19,650 (32.7%)	3,812 (6.3%)	2,477 (4.1%)	3.7
2015年度回答者	30人未満	4,169 (34.5%)	3,938 (32.6%)	3,174 (26.3%)	479 (4.0%)	324 (2.7%)	3.9
	30人以上50人未満	3,010 (26.0%)	3,610 (31.1%)	3,644 (31.4%)	741 (6.4%)	585 (5.0%)	3.7
	50人以上100人未満	5,125 (22.2%)	7,332 (31.8%)	8,007 (34.7%)	1,631 (7.1%)	974 (4.2%)	3.6
	100人以上200人未満	2,702 (21.8%)	3,918 (31.5%)	4,437 (35.7%)	863 (6.9%)	502 (4.0%)	3.6
	200人以上300人未満	143 (14.4%)	269 (27.2%)	388 (39.2%)	98 (9.9%)	92 (9.3%)	3.3
	300人以上	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	－
	全学集計	15,149 (25.2%)	19,067 (31.7%)	19,650 (32.7%)	3,812 (6.3%)	2,477 (4.1%)	3.7

<評価帯グラフ>
総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）
2015年度　履修登録者数



2015年度　回答者数



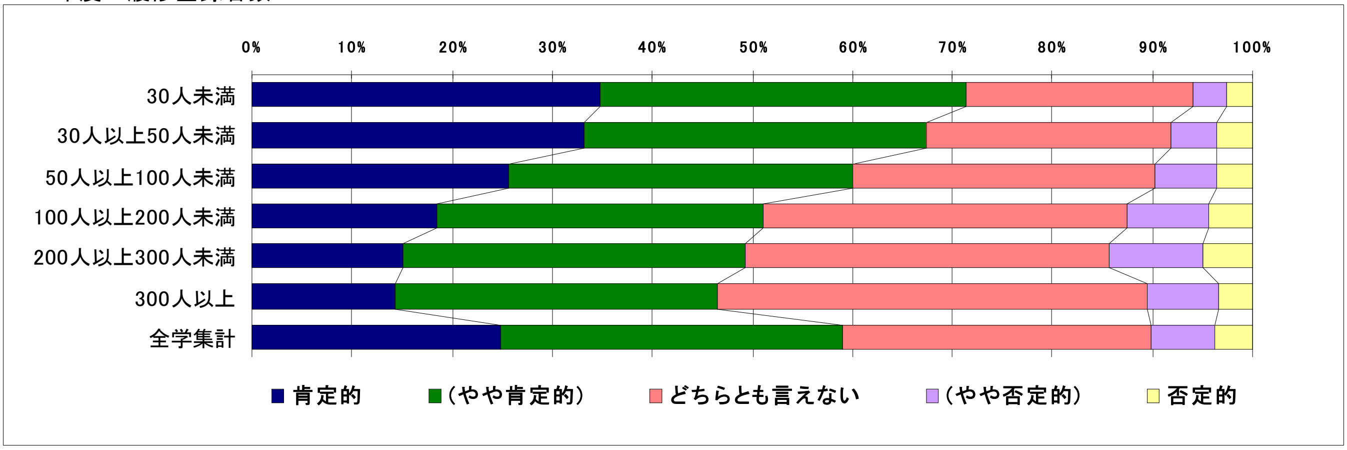
全学集計【履修登録者数・回答者数レベル別集計】

学年：　３年

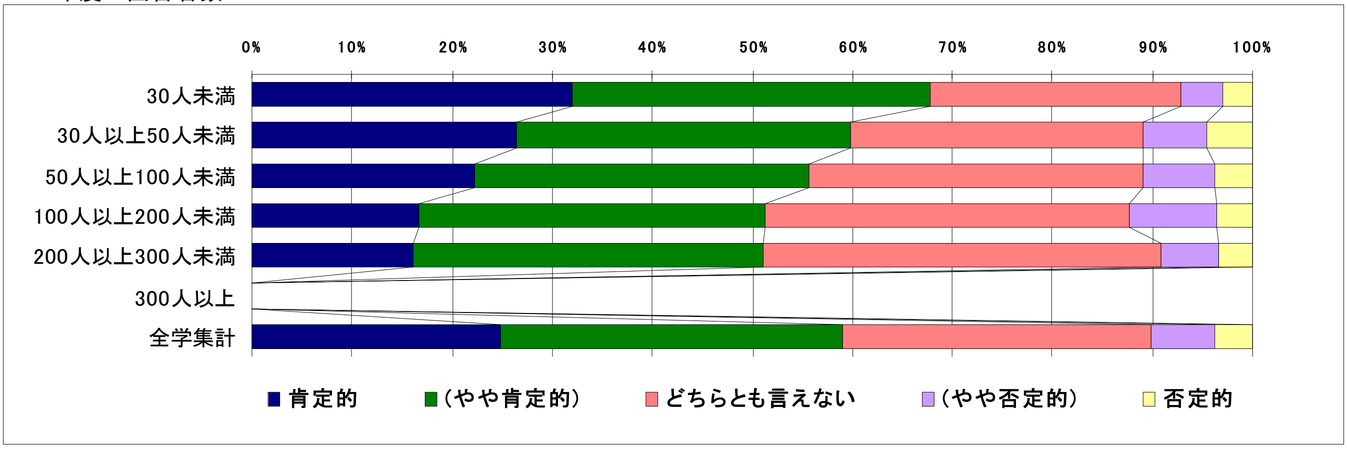
総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）
[Q17：新しい自己発想、Q18：分野への関心、Q19：自分で考える姿勢、Q20：満足度]

実施年度	区分	肯定的	（やや肯定的）	どちらとも言えない	（やや否定的）	否定的	平均
2015年度履修者	30人未満	1,747 (34.8%)	1,835 (36.5%)	1,148 (22.8%)	164 (3.3%)	131 (2.6%)	4.0
	30人以上50人未満	2,628 (33.3%)	2,695 (34.1%)	1,930 (24.4%)	364 (4.6%)	286 (3.6%)	3.9
	50人以上100人未満	4,423 (25.7%)	5,909 (34.3%)	5,218 (30.3%)	1,056 (6.1%)	626 (3.6%)	3.7
	100人以上200人未満	1,985 (18.4%)	3,529 (32.7%)	3,914 (36.3%)	888 (8.2%)	467 (4.3%)	3.5
	200人以上300人未満	656 (15.2%)	1,479 (34.2%)	1,572 (36.3%)	401 (9.3%)	218 (5.0%)	3.5
	300人以上	207 (14.2%)	470 (32.3%)	624 (42.9%)	106 (7.3%)	48 (3.3%)	3.5
	全学集計	11,646 (24.9%)	15,917 (34.1%)	14,406 (30.8%)	2,979 (6.4%)	1,776 (3.8%)	3.7
2015年度回答者	30人未満	3,424 (32.0%)	3,825 (35.8%)	2,673 (25.0%)	435 (4.1%)	327 (3.1%)	3.9
	30人以上50人未満	3,251 (26.3%)	4,132 (33.5%)	3,600 (29.2%)	792 (6.4%)	566 (4.6%)	3.7
	50人以上100人未満	4,042 (22.3%)	6,015 (33.3%)	6,068 (33.5%)	1,278 (7.1%)	684 (3.8%)	3.6
	100人以上200人未満	813 (16.6%)	1,691 (34.6%)	1,778 (36.4%)	433 (8.9%)	174 (3.6%)	3.5
	200人以上300人未満	116 (16.0%)	254 (35.1%)	287 (39.7%)	41 (5.7%)	25 (3.5%)	3.5
	300人以上	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	－
	全学集計	11,646 (24.9%)	15,917 (34.1%)	14,406 (30.8%)	2,979 (6.4%)	1,776 (3.8%)	3.7

＜評価帯グラフ＞
総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）
2015年度　履修登録者数



2015年度　回答者数



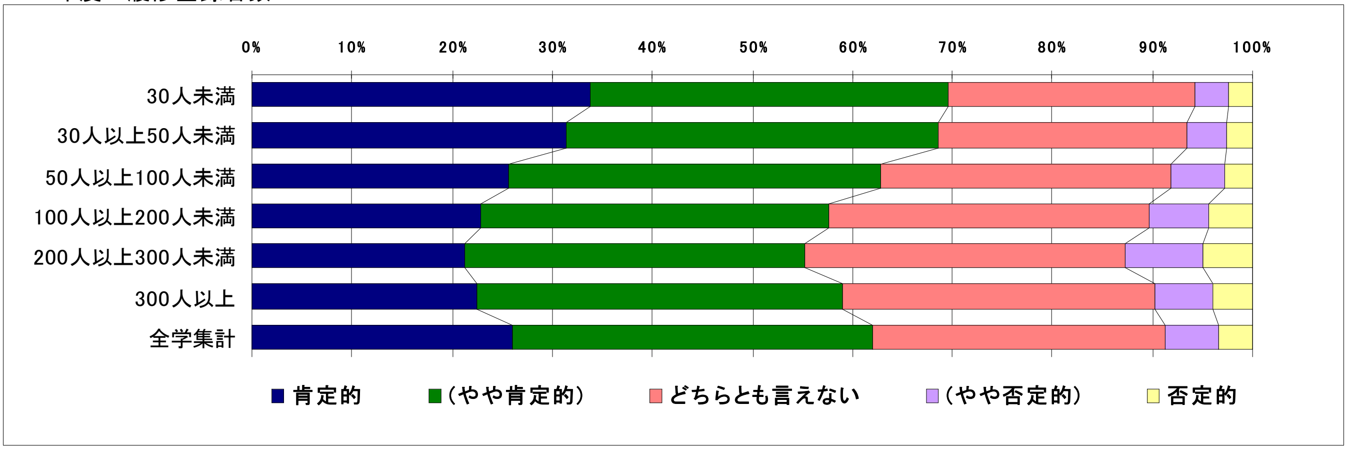
全学集計【履修登録者数・回答者数レベル別集計】

学年：　４年

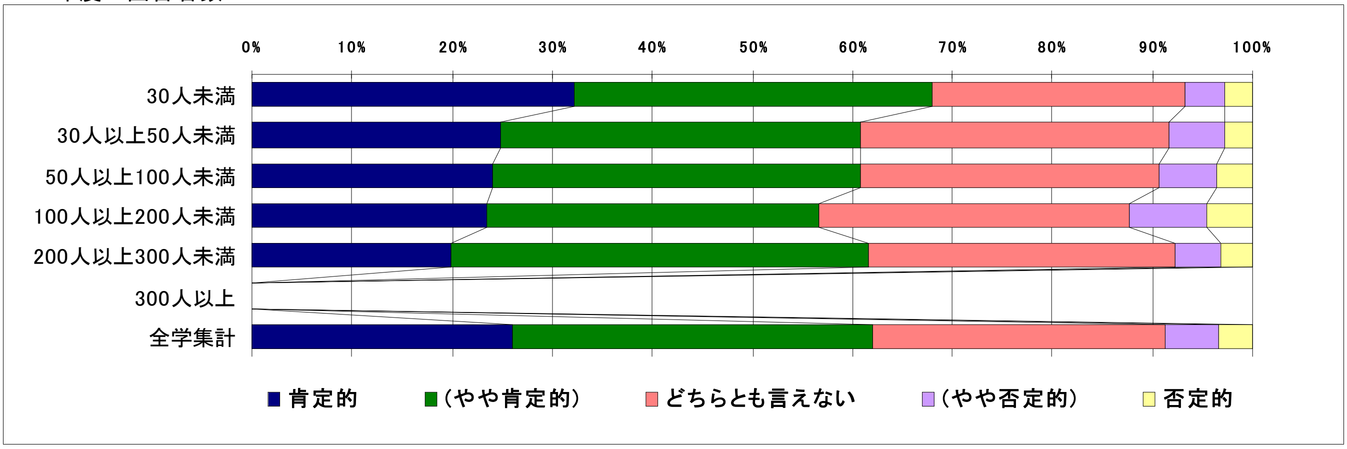
総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）
[Q17：新しい自己発想、Q18：分野への関心、Q19：自分で考える姿勢、Q20：満足度]

実施年度	区分	肯定的	（やや肯定的）	どちらとも言えない	（やや否定的）	否定的	平均
2015年度履修者	30人未満	644 (33.9%)	678 (35.7%)	470 (24.7%)	62 (3.3%)	47 (2.5%)	4.0
	30人以上50人未満	819 (31.4%)	968 (37.1%)	652 (25.0%)	104 (4.0%)	66 (2.5%)	3.9
	50人以上100人未満	1,441 (25.7%)	2,082 (37.2%)	1,621 (29.0%)	304 (5.4%)	151 (2.7%)	3.8
	100人以上200人未満	933 (22.9%)	1,416 (34.7%)	1,313 (32.2%)	242 (5.9%)	177 (4.3%)	3.7
	200人以上300人未満	475 (21.3%)	759 (34.0%)	713 (32.0%)	174 (7.8%)	109 (4.9%)	3.6
	300人以上	133 (22.5%)	216 (36.5%)	184 (31.1%)	34 (5.8%)	24 (4.1%)	3.7
	全学集計	4,445 (26.1%)	6,119 (36.0%)	4,953 (29.1%)	920 (5.4%)	574 (3.4%)	3.8
2015年度回答者	30人未満	1,404 (32.2%)	1,562 (35.8%)	1,103 (25.3%)	173 (4.0%)	124 (2.8%)	3.9
	30人以上50人未満	1,037 (24.8%)	1,506 (36.0%)	1,296 (31.0%)	227 (5.4%)	120 (2.9%)	3.7
	50人以上100人未満	1,412 (24.0%)	2,176 (36.9%)	1,759 (29.8%)	333 (5.6%)	214 (3.6%)	3.7
	100人以上200人未満	543 (23.4%)	772 (33.3%)	719 (31.0%)	176 (7.6%)	108 (4.7%)	3.6
	200人以上300人未満	49 (19.8%)	103 (41.7%)	76 (30.8%)	11 (4.5%)	8 (3.2%)	3.7
	300人以上	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	－
	全学集計	4,445 (26.1%)	6,119 (36.0%)	4,953 (29.1%)	920 (5.4%)	574 (3.4%)	3.8

＜評価帯グラフ＞
総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）
2015年度　履修登録者数



2015年度　回答者数

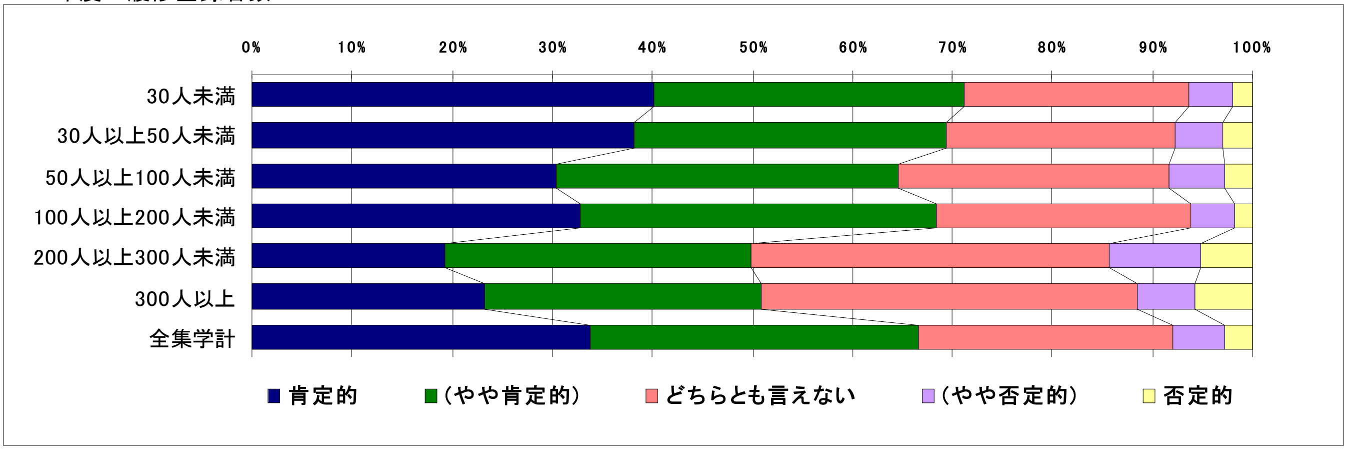


全学集計【履修登録者数・回答者数レベル別集計】

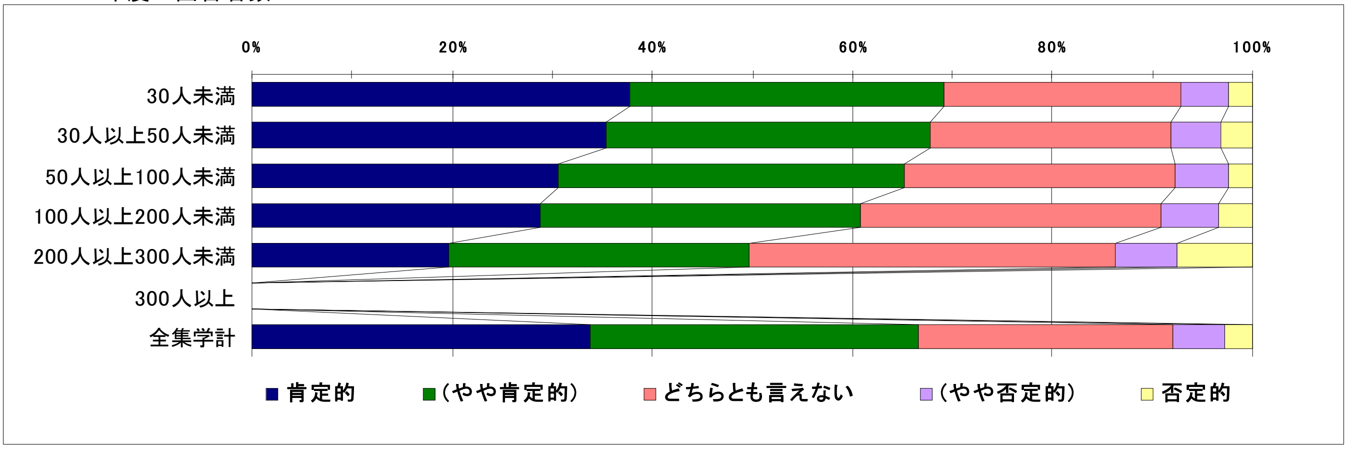
学年：　全学年
学部：　文学部
総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）
[Q17：新しい自己発想、Q18：分野への関心、Q19：自分で考える姿勢、Q20：満足度]

実施年度	区分	肯定的	（やや肯定的）	どちらとも言えない	（やや否定的）	否定的	平均
2015年度履修者	30人未満	3,342 (40.2%)	2,577 (31.0%)	1,864 (22.4%)	357 (4.3%)	172 (2.1%)	4.0
	30人以上50人未満	4,411 (38.2%)	3,601 (31.2%)	2,631 (22.8%)	553 (4.8%)	346 (3.0%)	4.0
	50人以上100人未満	5,615 (30.4%)	6,323 (34.2%)	5,028 (27.2%)	1,017 (5.5%)	517 (2.8%)	3.8
	100人以上200人未満	1,965 (32.8%)	2,129 (35.5%)	1,529 (25.5%)	261 (4.4%)	110 (1.8%)	3.9
	200人以上300人未満	397 (19.4%)	626 (30.5%)	736 (35.9%)	186 (9.1%)	106 (5.2%)	3.5
	300人以上	160 (23.3%)	190 (27.6%)	258 (37.5%)	41 (6.0%)	39 (5.7%)	3.6
	全学集計	15,890 (33.7%)	15,446 (32.8%)	12,046 (25.6%)	2,415 (5.1%)	1,290 (2.7%)	3.9
2015年度回答者	30人未満	5,055 (37.7%)	4,227 (31.5%)	3,183 (23.7%)	633 (4.7%)	319 (2.4%)	4.0
	30人以上50人未満	4,841 (35.4%)	4,434 (32.4%)	3,287 (24.0%)	693 (5.1%)	426 (3.1%)	3.9
	50人以上100人未満	4,684 (30.6%)	5,298 (34.6%)	4,153 (27.1%)	820 (5.4%)	372 (2.4%)	3.9
	100人以上200人未満	1,234 (28.9%)	1,370 (32.1%)	1,281 (30.0%)	245 (5.7%)	144 (3.4%)	3.8
	200人以上300人未満	76 (19.6%)	117 (30.2%)	142 (36.6%)	24 (6.2%)	29 (7.5%)	3.5
	300人以上	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	－
	全学集計	15,890 (33.7%)	15,446 (32.8%)	12,046 (25.6%)	2,415 (5.1%)	1,290 (2.7%)	3.9

<評価帯グラフ>
総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）
2015年度　履修登録者数



２０１５年度　回答者数

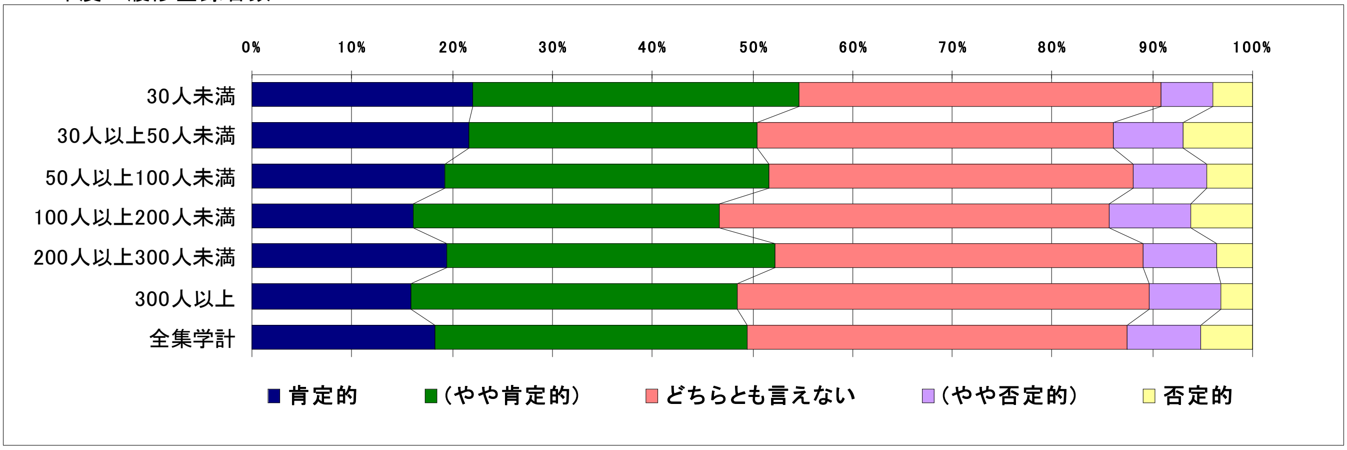


全学集計【履修登録者数・回答者数レベル別集計】

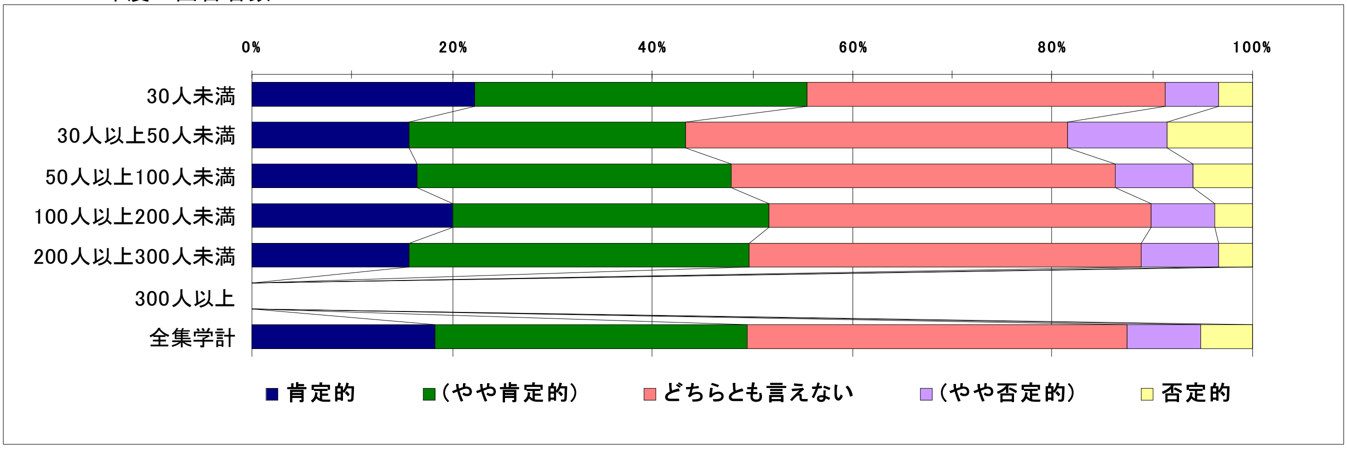
学年：　全学年
学部：　経済学部
総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）
[Q17：新しい自己発想、Q18：分野への関心、Q19：自分で考える姿勢、Q20：満足度]

実施年度	区分	肯定的	（やや肯定的）	どちらとも言えない	（やや否定的）	否定的	平均
2015年度履修者	30人未満	603 (22.2%)	883 (32.5%)	987 (36.3%)	141 (5.2%)	107 (3.9%)	3.6
	30人以上50人未満	666 (21.7%)	887 (28.8%)	1,097 (35.7%)	213 (6.9%)	213 (6.9%)	3.5
	50人以上100人未満	598 (19.2%)	1,013 (32.5%)	1,132 (36.3%)	229 (7.4%)	143 (4.6%)	3.5
	100人以上200人未満	1,559 (16.2%)	2,950 (30.6%)	3,754 (38.9%)	788 (8.2%)	595 (6.2%)	3.4
	200人以上300人未満	464 (19.5%)	781 (32.8%)	879 (36.9%)	173 (7.3%)	86 (3.6%)	3.6
	300人以上	357 (16.0%)	730 (32.6%)	920 (41.1%)	157 (7.0%)	73 (3.3%)	3.5
	全学集計	4,247 (18.3%)	7,244 (31.3%)	8,769 (37.8%)	1,701 (7.3%)	1,217 (5.3%)	3.5
2015年度回答者	30人未満	1,027 (22.3%)	1,526 (33.2%)	1,644 (35.7%)	244 (5.3%)	158 (3.4%)	3.7
	30人以上50人未満	629 (15.6%)	1,118 (27.7%)	1,540 (38.2%)	397 (9.9%)	346 (8.6%)	3.3
	50人以上100人未満	1,310 (16.5%)	2,489 (31.4%)	3,049 (38.4%)	615 (7.8%)	471 (5.9%)	3.4
	100人以上200人未満	1,105 (20.1%)	1,728 (31.5%)	2,096 (38.2%)	357 (6.5%)	204 (3.7%)	3.6
	200人以上300人未満	176 (15.6%)	383 (34.0%)	440 (39.1%)	88 (7.8%)	38 (3.4%)	3.5
	300人以上	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	―
	全学集計	4,247 (18.3%)	7,244 (31.3%)	8,769 (37.8%)	1,701 (7.3%)	1,217 (5.3%)	3.5

＜評価帯グラフ＞
総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）
2015年度　履修登録者数



２０１５年度　回答者数

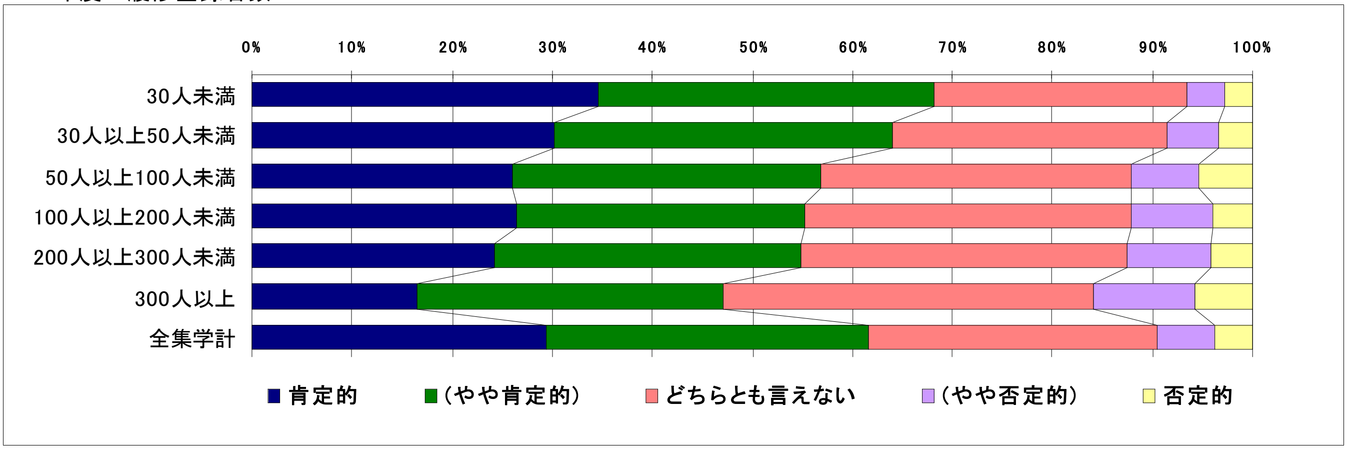


全学集計【履修登録者数・回答者数レベル別集計】

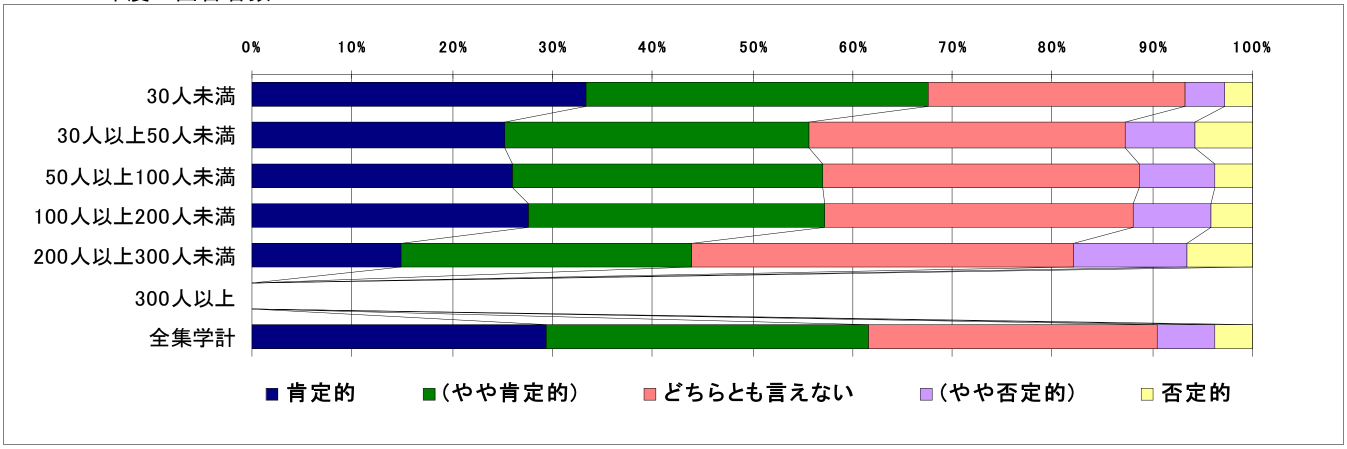
学年：　全学年
学部：　外国語学部
総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）
[Q17：新しい自己発想、Q18：分野への関心、Q19：自分で考える姿勢、Q20：満足度]

実施年度	区分	肯定的	（やや肯定的）	どちらとも言えない	（やや否定的）	否定的	平均
2015年度履修者	30人未満	2,752 (34.5%)	2,687 (33.7%)	2,004 (25.1%)	304 (3.8%)	226 (2.8%)	3.9
	30人以上50人未満	2,835 (30.3%)	3,155 (33.7%)	2,574 (27.5%)	484 (5.2%)	309 (3.3%)	3.8
	50人以上100人未満	1,481 (26.0%)	1,750 (30.8%)	1,775 (31.2%)	381 (6.7%)	304 (5.3%)	3.7
	100人以上200人未満	982 (26.4%)	1,071 (28.8%)	1,214 (32.7%)	302 (8.1%)	149 (4.0%)	3.7
	200人以上300人未満	425 (24.2%)	536 (30.6%)	573 (32.7%)	147 (8.4%)	73 (4.2%)	3.6
	300人以上	121 (16.5%)	224 (30.6%)	270 (36.9%)	75 (10.2%)	42 (5.7%)	3.4
	全学集計	8,596 (29.4%)	9,423 (32.2%)	8,410 (28.8%)	1,693 (5.8%)	1,103 (3.8%)	3.8
2015年度回答者	30人未満	4,718 (33.4%)	4,839 (34.2%)	3,625 (25.6%)	562 (4.0%)	400 (2.8%)	3.9
	30人以上50人未満	1,470 (25.2%)	1,772 (30.4%)	1,851 (31.7%)	406 (7.0%)	333 (5.7%)	3.6
	50人以上100人未満	1,467 (26.0%)	1,748 (31.0%)	1,783 (31.6%)	429 (7.6%)	211 (3.7%)	3.7
	100人以上200人未満	874 (27.7%)	932 (29.5%)	979 (31.0%)	245 (7.8%)	129 (4.1%)	3.7
	200人以上300人未満	67 (14.8%)	132 (29.2%)	172 (38.1%)	51 (11.3%)	30 (6.6%)	3.3
	300人以上	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	―
	全学集計	8,596 (29.4%)	9,423 (32.2%)	8,410 (28.8%)	1,693 (5.8%)	1,103 (3.8%)	3.8

＜評価帯グラフ＞
総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）
2015年度　履修登録者数



２０１５年度　回答者数

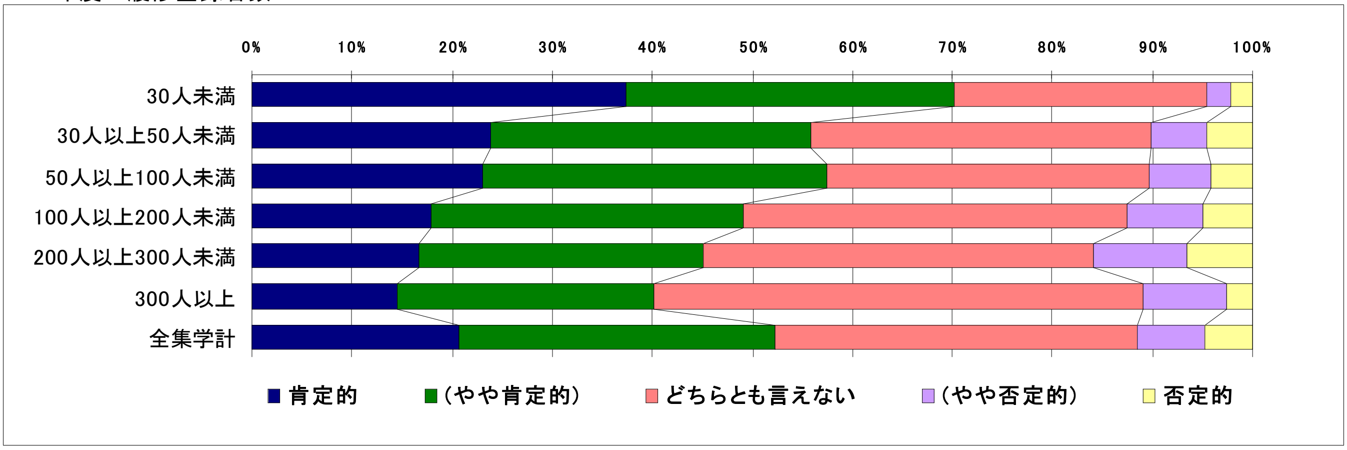


全学集計【履修登録者数・回答者数レベル別集計】

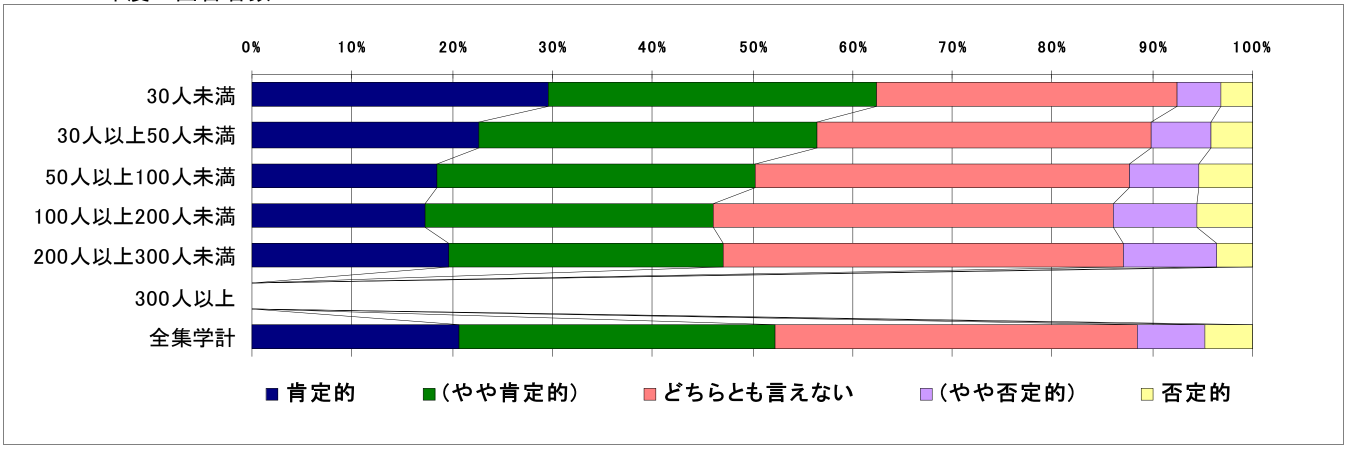
学年：　全学年
学部：　法学部
総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）
[Q17：新しい自己発想、Q18：分野への関心、Q19：自分で考える姿勢、Q20：満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2015年度履修者	30人未満	503 (37.3%)	442 (32.8%)	341 (25.3%)	32 (2.4%)	29 (2.2%)	4.0
	30人以上50人未満	1,316 (23.9%)	1,753 (31.9%)	1,872 (34.0%)	307 (5.6%)	252 (4.6%)	3.6
	50人以上100人未満	1,217 (23.1%)	1,812 (34.4%)	1,697 (32.2%)	322 (6.1%)	218 (4.1%)	3.7
	100人以上200人未満	2,360 (17.9%)	4,097 (31.2%)	5,057 (38.5%)	973 (7.4%)	663 (5.0%)	3.5
	200人以上300人未満	550 (16.7%)	935 (28.4%)	1,284 (39.0%)	304 (9.2%)	219 (6.7%)	3.4
	300人以上	80 (14.5%)	142 (25.7%)	270 (48.9%)	46 (8.3%)	14 (2.5%)	3.4
	全学集計	6,026 (20.7%)	9,181 (31.5%)	10,521 (36.1%)	1,984 (6.8%)	1,395 (4.8%)	3.6
2015年度回答者	30人未満	1,167 (29.7%)	1,289 (32.8%)	1,184 (30.1%)	166 (4.2%)	129 (3.3%)	3.8
	30人以上50人未満	1,490 (22.7%)	2,221 (33.8%)	2,195 (33.4%)	388 (5.9%)	278 (4.2%)	3.6
	50人以上100人未満	2,028 (18.5%)	3,478 (31.8%)	4,075 (37.3%)	781 (7.1%)	577 (5.3%)	3.5
	100人以上200人未満	1,257 (17.4%)	2,075 (28.7%)	2,896 (40.0%)	609 (8.4%)	396 (5.5%)	3.4
	200人以上300人未満	84 (19.6%)	118 (27.6%)	171 (40.0%)	40 (9.3%)	15 (3.5%)	3.5
	300人以上	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	－
	全学集計	6,026 (20.7%)	9,181 (31.5%)	10,521 (36.1%)	1,984 (6.8%)	1,395 (4.8%)	3.6

＜評価帯グラフ＞
総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）
2015年度　履修登録者数



２０１５年度　回答者数



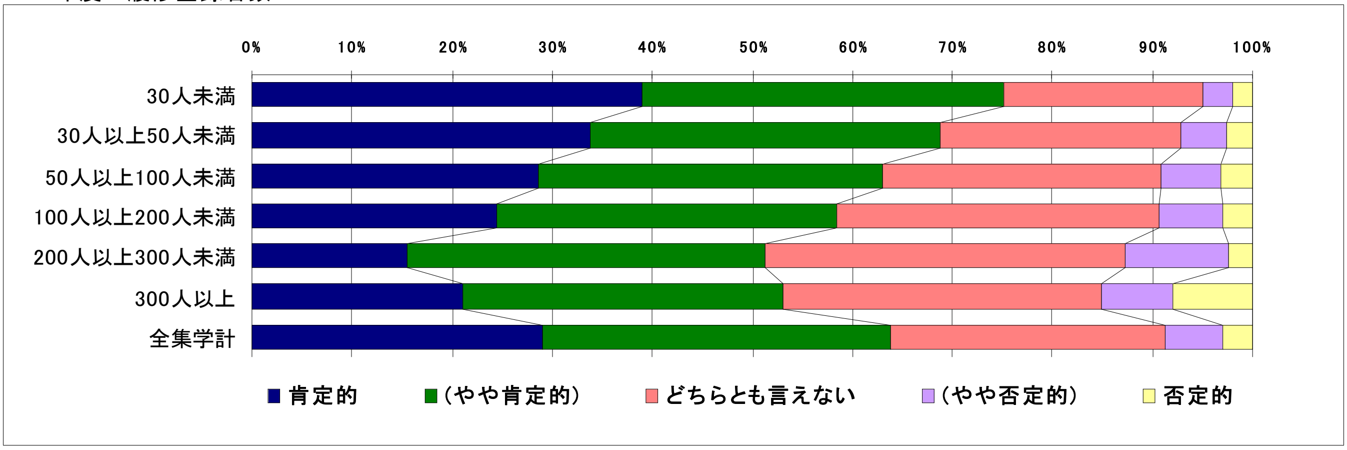
全学集計【履修登録者数・回答者数レベル別集計】

学年：　全学年
学部：　国際関係学部

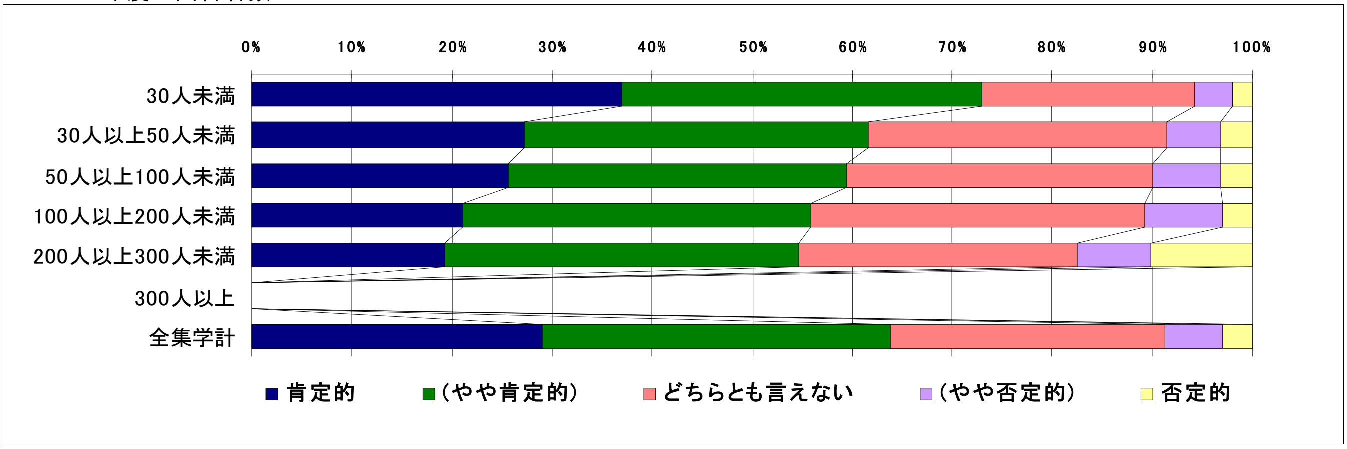
総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）
[Q17：新しい自己発想、Q18：分野への関心、Q19：自分で考える姿勢、Q20：満足度]

実施年度	区分	肯定的	（やや肯定的）	どちらとも言えない	（やや否定的）	否定的	平均
2015年度 履修者	30人未満	1,009　(38.9%)	938　(36.2%)	516　(19.9%)	80　(3.1%)	51　(2.0%)	4.1
	30人以上50人未満	765　(33.8%)	792　(35.0%)	546　(24.1%)	103　(4.5%)	60　(2.6%)	3.9
	50人以上100人未満	1,041　(28.5%)	1,261　(34.6%)	1,012　(27.7%)	218　(6.0%)	115　(3.2%)	3.8
	100人以上200人未満	756　(24.4%)	1,054　(34.0%)	996　(32.1%)	197　(6.4%)	95　(3.1%)	3.7
	200人以上300人未満	187　(15.5%)	431　(35.8%)	431　(35.8%)	125　(10.4%)	29　(2.4%)	3.5
	300人以上	137　(21.1%)	207　(31.9%)	206　(31.8%)	47　(7.3%)	51　(7.9%)	3.5
	全学集計	3,895　(28.9%)	4,683　(34.8%)	3,707　(27.5%)	770　(5.7%)	401　(3.0%)	3.8
2015年度 回答者	30人未満	1,753　(37.1%)	1,694　(35.8%)	1,004　(21.2%)	181　(3.8%)	96　(2.0%)	4.0
	30人以上50人未満	528　(27.3%)	663　(34.3%)	578　(29.9%)	103　(5.3%)	63　(3.3%)	3.8
	50人以上100人未満	1,095　(25.6%)	1,450　(33.9%)	1,310　(30.6%)	293　(6.8%)	135　(3.2%)	3.7
	100人以上200人未満	431　(21.0%)	715　(34.8%)	688　(33.5%)	159　(7.7%)	61　(3.0%)	3.6
	200人以上300人未満	88　(19.3%)	161　(35.3%)	127　(27.9%)	34　(7.5%)	46　(10.1%)	3.5
	300人以上	0　(0%)	0　(0%)	0　(0%)	0　(0%)	0　(0%)	－
	全学集計	3,895　(28.9%)	4,683　(34.8%)	3,707　(27.5%)	770　(5.7%)	401　(3.0%)	3.8

＜評価帯グラフ＞
総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）
2015年度　履修登録者数



２０１５年度　回答者数



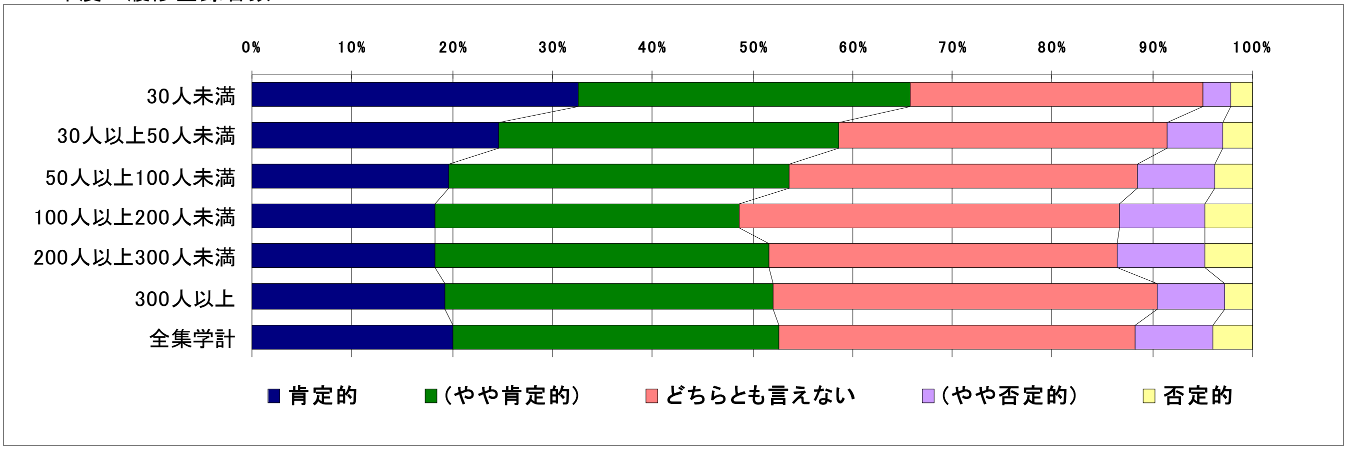
全学集計【履修登録者数・回答者数レベル別集計】

学年：　全学年
学部：　経営学部

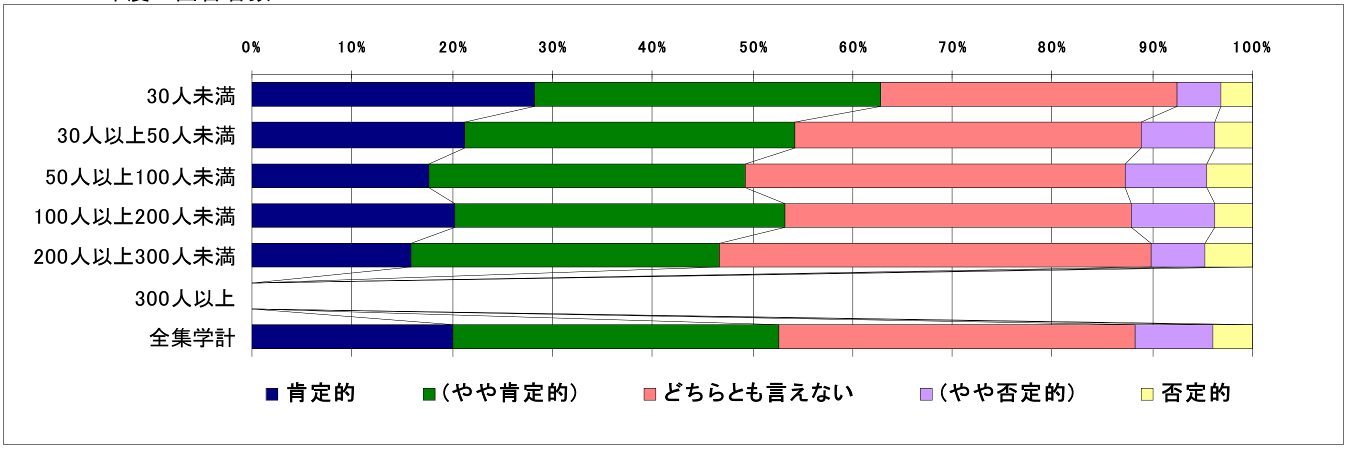
総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）
[Q17：新しい自己発想、Q18：分野への関心、Q19：自分で考える姿勢、Q20：満足度]

実施年度	区分	肯定的	（やや肯定的）	どちらとも言えない	（やや否定的）	否定的	平均
2015年度履修者	30人未満	420 (32.5%)	429 (33.2%)	379 (29.3%)	35 (2.7%)	29 (2.2%)	3.9
	30人以上50人未満	628 (24.7%)	862 (34.0%)	834 (32.8%)	138 (5.4%)	77 (3.0%)	3.7
	50人以上100人未満	923 (19.7%)	1,590 (34.0%)	1,624 (34.7%)	369 (7.9%)	173 (3.7%)	3.6
	100人以上200人未満	1,377 (18.3%)	2,301 (30.5%)	2,855 (37.8%)	656 (8.7%)	356 (4.7%)	3.5
	200人以上300人未満	908 (18.2%)	1,666 (33.4%)	1,741 (34.9%)	433 (8.7%)	240 (4.8%)	3.5
	300人以上	432 (19.4%)	727 (32.6%)	859 (38.5%)	148 (6.6%)	63 (2.8%)	3.6
	全学集計	4,688 (20.1%)	7,575 (32.5%)	8,292 (35.6%)	1,779 (7.6%)	938 (4.0%)	3.6
2015年度回答者	30人未満	646 (28.3%)	785 (34.4%)	679 (29.8%)	97 (4.3%)	74 (3.2%)	3.8
	30人以上50人未満	801 (21.2%)	1,245 (33.0%)	1,311 (34.7%)	278 (7.4%)	140 (3.7%)	3.6
	50人以上100人未満	1,559 (17.6%)	2,798 (31.6%)	3,373 (38.1%)	723 (8.2%)	396 (4.5%)	3.5
	100人以上200人未満	1,601 (20.4%)	2,591 (33.0%)	2,710 (34.5%)	654 (8.3%)	304 (3.9%)	3.6
	200人以上300人未満	81 (16.0%)	156 (30.8%)	219 (43.2%)	27 (5.3%)	24 (4.7%)	3.5
	300人以上	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	－
	全学集計	4,688 (20.1%)	7,575 (32.5%)	8,292 (35.6%)	1,779 (7.6%)	938 (4.0%)	3.6

＜評価帯グラフ＞
総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）
2015年度　履修登録者数



２０１５年度　回答者数

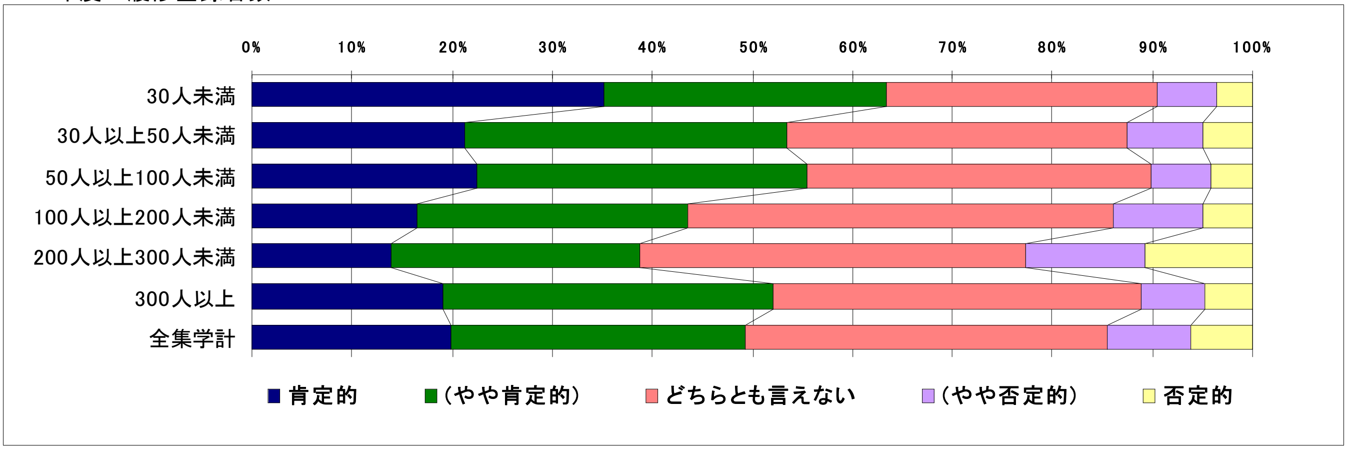


全学集計【履修登録者数・回答者数レベル別集計】

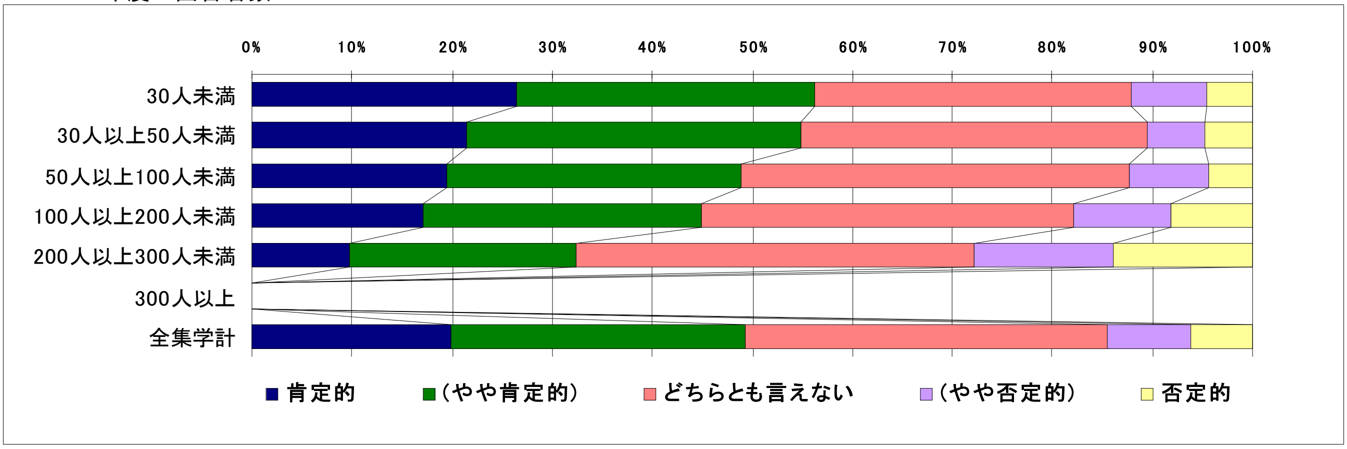
学年：　全学年
学部：　環境創造学部
総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）
[Q17：新しい自己発想、Q18：分野への関心、Q19：自分で考える姿勢、Q20：満足度]

実施年度	区分	肯定的	（やや肯定的）	どちらとも言えない	（やや否定的）	否定的	平均
2015年度履修者	30人未満	312 (35.1%)	252 (28.4%)	240 (27.0%)	53 (6.0%)	31 (3.5%)	3.9
	30人以上50人未満	429 (21.3%)	644 (32.0%)	687 (34.2%)	151 (7.5%)	99 (4.9%)	3.6
	50人以上100人未満	686 (22.5%)	1,003 (32.9%)	1,050 (34.4%)	184 (6.0%)	127 (4.2%)	3.6
	100人以上200人未満	267 (16.5%)	438 (27.0%)	689 (42.5%)	148 (9.1%)	79 (4.9%)	3.4
	200人以上300人未満	408 (13.8%)	737 (25.0%)	1,133 (38.4%)	354 (12.0%)	315 (10.7%)	3.2
	300人以上	72 (19.1%)	124 (33.0%)	138 (36.7%)	24 (6.4%)	18 (4.8%)	3.6
	全学集計	2,174 (20.0%)	3,198 (29.4%)	3,937 (36.1%)	914 (8.4%)	669 (6.1%)	3.5
2015年度回答者	30人未満	619 (26.4%)	700 (29.8%)	744 (31.7%)	177 (7.5%)	107 (4.6%)	3.7
	30人以上50人未満	446 (21.4%)	695 (33.4%)	721 (34.6%)	119 (5.7%)	100 (4.8%)	3.6
	50人以上100人未満	590 (19.5%)	889 (29.3%)	1,175 (38.8%)	244 (8.1%)	132 (4.4%)	3.5
	100人以上200人未満	432 (17.0%)	710 (28.0%)	940 (37.1%)	249 (9.8%)	206 (8.1%)	3.4
	200人以上300人未満	87 (9.7%)	204 (22.7%)	357 (39.8%)	125 (13.9%)	124 (13.8%)	3.0
	300人以上	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	－
	全学集計	2,174 (20.0%)	3,198 (29.4%)	3,937 (36.1%)	914 (8.4%)	669 (6.1%)	3.5

＜評価帯グラフ＞
総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）
2015年度　履修登録者数



２０１５年度　回答者数

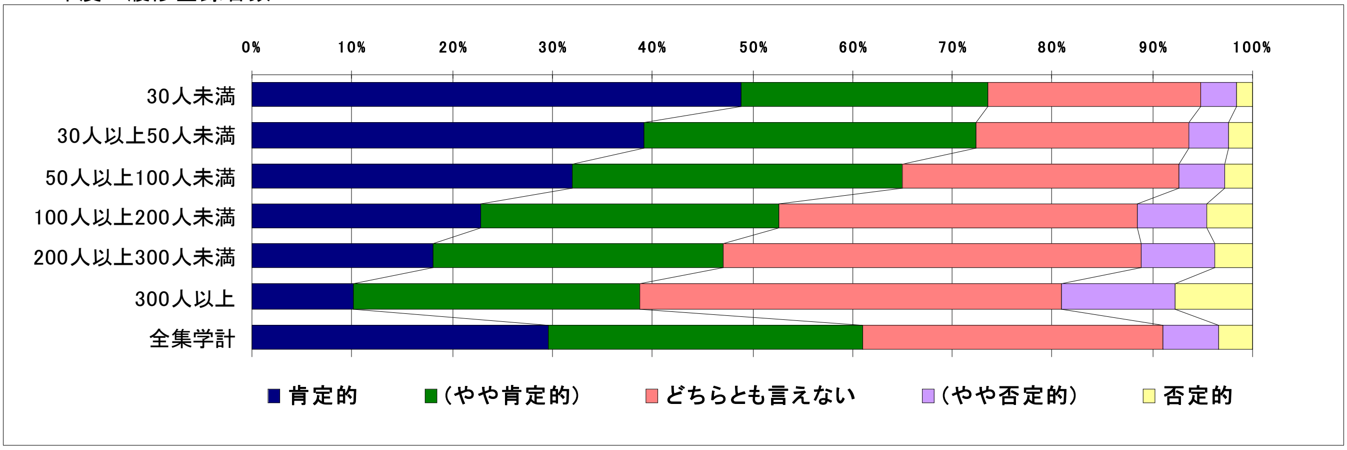


全学集計【履修登録者数・回答者数レベル別集計】

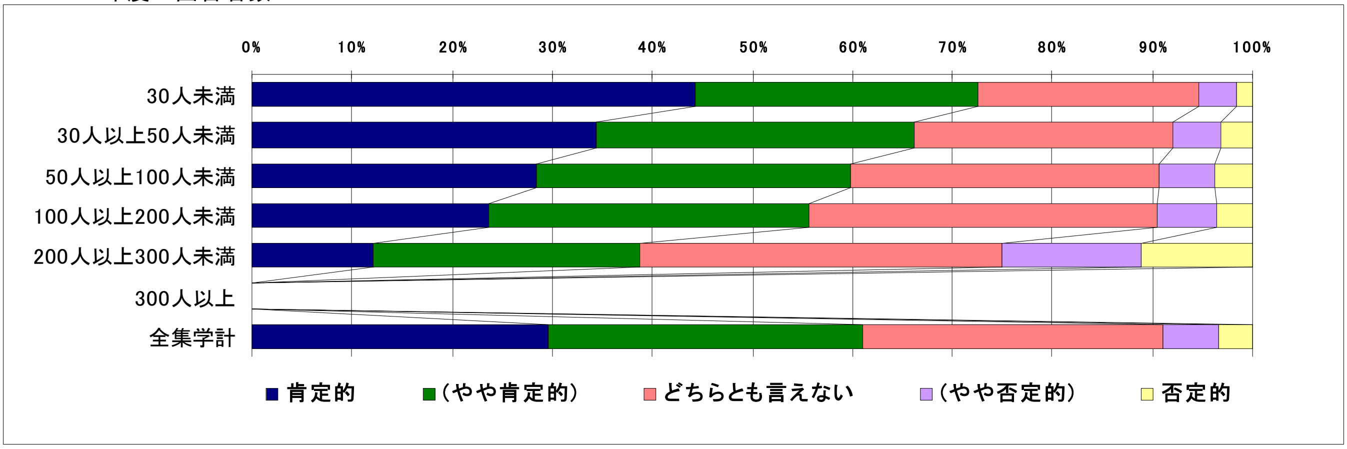
学年：　全学年
学部：　ｽﾎﾟｰﾂ・健康科学部
総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）
[Q17：新しい自己発想、Q18：分野への関心、Q19：自分で考える姿勢、Q20：満足度]

実施年度	区分	肯定的	（やや肯定的）	どちらとも言えない	（やや否定的）	否定的	平均
2015年度履修者	30人未満	408 (48.9%)	206 (24.7%)	178 (21.3%)	29 (3.5%)	14 (1.7%)	4.2
	30人以上50人未満	963 (39.1%)	815 (33.1%)	525 (21.3%)	98 (4.0%)	59 (2.4%)	4.0
	50人以上100人未満	2,178 (31.9%)	2,253 (33.0%)	1,887 (27.7%)	310 (4.5%)	189 (2.8%)	3.9
	100人以上200人未満	1,613 (22.8%)	2,112 (29.9%)	2,528 (35.8%)	487 (6.9%)	323 (4.6%)	3.6
	200人以上300人未満	44 (18.0%)	71 (29.1%)	102 (41.8%)	18 (7.4%)	9 (3.7%)	3.5
	300人以上	17 (10.1%)	48 (28.6%)	71 (42.3%)	19 (11.3%)	13 (7.7%)	3.2
	全学集計	5,223 (29.7%)	5,505 (31.3%)	5,291 (30.1%)	961 (5.5%)	607 (3.5%)	3.8
2015年度回答者	30人未満	745 (44.4%)	472 (28.1%)	371 (22.1%)	63 (3.8%)	28 (1.7%)	4.1
	30人以上50人未満	881 (34.5%)	810 (31.7%)	661 (25.9%)	125 (4.9%)	79 (3.1%)	3.9
	50人以上100人未満	2,716 (28.4%)	3,014 (31.5%)	2,943 (30.8%)	534 (5.6%)	358 (3.7%)	3.8
	100人以上200人未満	867 (23.6%)	1,178 (32.1%)	1,274 (34.7%)	223 (6.1%)	129 (3.5%)	3.7
	200人以上300人未満	14 (12.1%)	31 (26.7%)	42 (36.2%)	16 (13.8%)	13 (11.2%)	3.1
	300人以上	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	－
	全学集計	5,223 (29.7%)	5,505 (31.3%)	5,291 (30.1%)	961 (5.5%)	607 (3.5%)	3.8

＜評価帯グラフ＞
総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）
2015年度　履修登録者数



２０１５年度　回答者数



B.項目別集計
(全学・学年別集計)

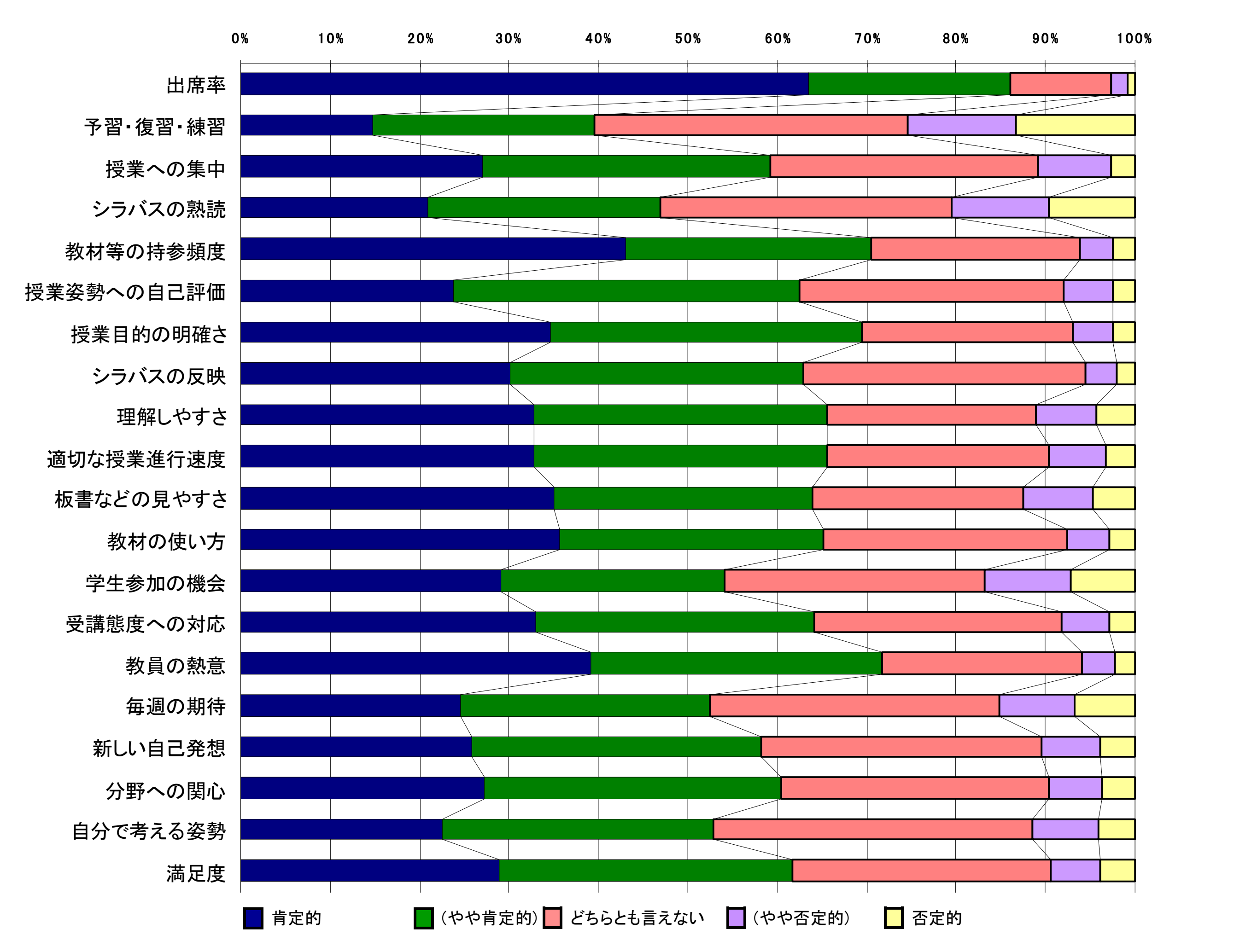
全学集計【項目別集計】

学年：　全学年

実施年度	項目	肯定的	（やや肯定的）	どちらとも言えない	（やや否定的）	否定的	平均
2015年度	ⅠQ1 出席率	30,948 (63.5%)	10,964 (22.5%)	5,471 (11.2%)	910 (1.9%)	427 (0.9%)	4.5
	ⅠQ2 予習・復習・練習	7,194 (14.8%)	12,113 (24.9%)	16,977 (34.9%)	5,885 (12.1%)	6,536 (13.4%)	3.2
	ⅠQ3 授業への集中	13,205 (27.1%)	15,619 (32.1%)	14,555 (29.9%)	3,976 (8.2%)	1,340 (2.8%)	3.7
	ⅠQ4 シラバスの熟読	10,183 (20.9%)	12,637 (26.0%)	15,867 (32.6%)	5,350 (11.0%)	4,640 (9.5%)	3.4
	ⅠQ5 教材等の持参頻度	20,969 (43.1%)	13,326 (27.4%)	11,365 (23.4%)	1,781 (3.7%)	1,191 (2.4%)	4.1
	ⅠQ6 授業姿勢への自己評価	11,575 (23.9%)	18,728 (38.6%)	14,363 (29.6%)	2,676 (5.5%)	1,187 (2.4%)	3.8
	ⅡQ7 授業目的の明確さ	16,879 (34.7%)	16,996 (34.9%)	11,432 (23.5%)	2,220 (4.6%)	1,181 (2.4%)	3.9
	ⅡQ8 シラバスの反映	14,671 (30.1%)	15,974 (32.8%)	15,320 (31.5%)	1,756 (3.6%)	963 (2.0%)	3.9
	ⅡQ9 理解しやすさ	15,923 (32.7%)	15,962 (32.8%)	11,414 (23.4%)	3,322 (6.8%)	2,076 (4.3%)	3.8
	ⅡQ10 適切な授業進行速度	15,948 (32.8%)	15,997 (32.9%)	12,047 (24.7%)	3,118 (6.4%)	1,584 (3.3%)	3.9
	ⅡQ11 板書などの見やすさ	17,012 (34.9%)	14,128 (29.0%)	11,462 (23.5%)	3,763 (7.7%)	2,322 (4.8%)	3.8
	ⅡQ12 教材の使い方	17,346 (35.6%)	14,400 (29.6%)	13,178 (27.1%)	2,328 (4.8%)	1,407 (2.9%)	3.9
	ⅡQ13 学生参加の機会	14,146 (29.1%)	12,234 (25.1%)	14,118 (29.0%)	4,676 (9.6%)	3,504 (7.2%)	3.6
	ⅡQ14 受講態度への対応	16,036 (32.9%)	15,176 (31.2%)	13,451 (27.6%)	2,575 (5.3%)	1,440 (3.0%)	3.9
	ⅡQ15 教員の熱意	19,066 (39.2%)	15,816 (32.5%)	10,926 (22.4%)	1,735 (3.6%)	1,127 (2.3%)	4.0
	ⅡQ16 毎週の期待	11,890 (24.5%)	13,580 (28.0%)	15,691 (32.3%)	4,059 (8.4%)	3,289 (6.8%)	3.6
	ⅢQ17 新しい自己発想	12,524 (25.8%)	15,699 (32.4%)	15,249 (31.4%)	3,115 (6.4%)	1,907 (3.9%)	3.7
	ⅢQ18 分野への関心	13,265 (27.4%)	16,075 (33.1%)	14,494 (29.9%)	2,830 (5.8%)	1,836 (3.8%)	3.7
	ⅢQ19 自分で考える姿勢	10,942 (22.6%)	14,645 (30.2%)	17,310 (35.7%)	3,570 (7.4%)	2,013 (4.2%)	3.6
	ⅢQ20 満足度	14,008 (29.0%)	15,836 (32.8%)	13,920 (28.8%)	2,702 (5.6%)	1,864 (3.9%)	3.8

＜評価帯グラフ＞

2015年度

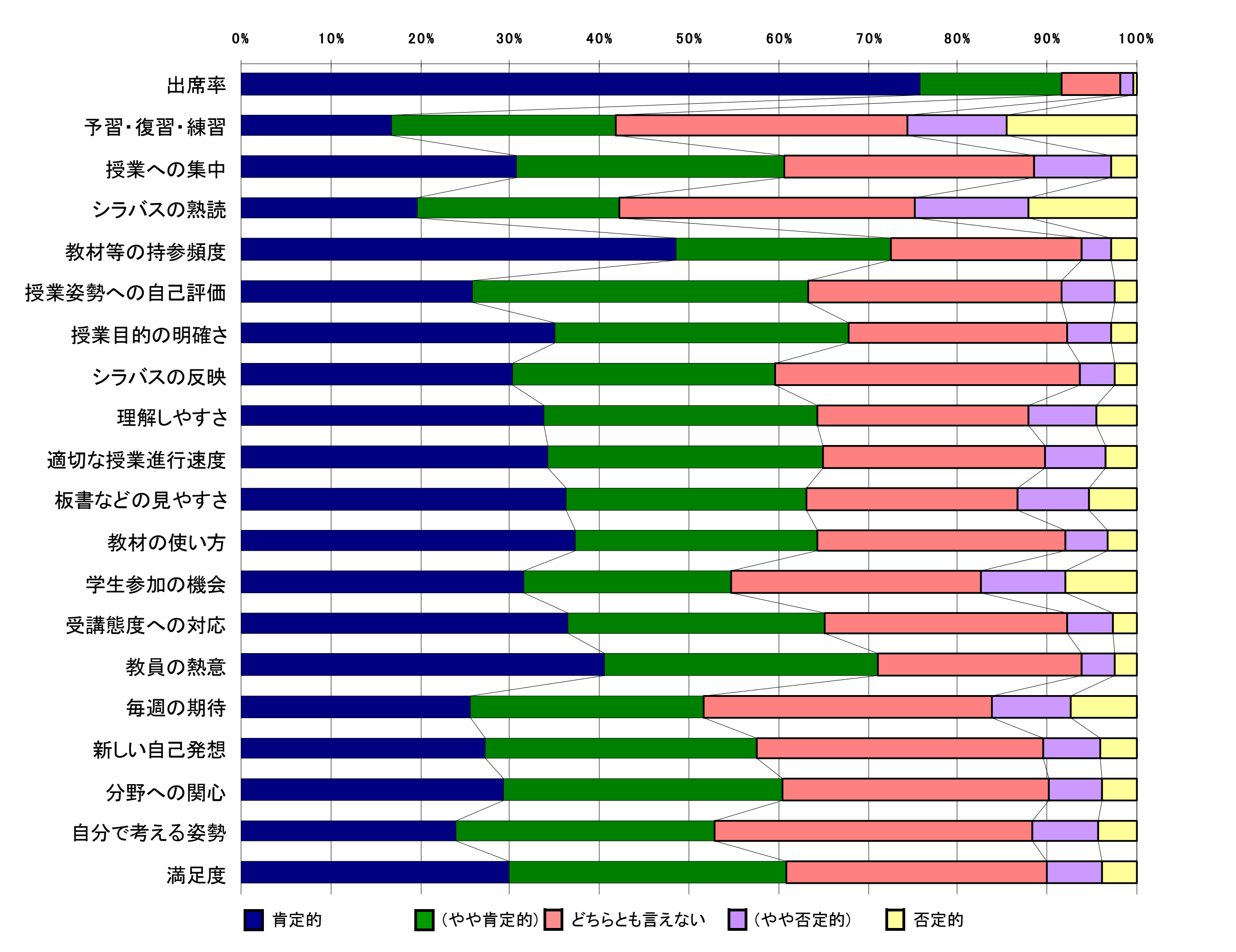


全学集計【項目別集計】

学年：　1年

実施年度	項目	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2015年度	ⅠQ1 出席率	13,228 (75.8%)	2,747 (15.7%)	1,163 (6.7%)	219 (1.3%)	85 (0.5%)	4.7
	ⅠQ2 予習・復習・練習	2,920 (16.7%)	4,361 (25.0%)	5,691 (32.6%)	1,940 (11.1%)	2,527 (14.5%)	3.2
	ⅠQ3 授業への集中	5,365 (30.8%)	5,207 (29.9%)	4,880 (28.0%)	1,472 (8.4%)	511 (2.9%)	3.8
	ⅠQ4 シラバスの熟読	3,426 (19.7%)	3,926 (22.5%)	5,755 (33.0%)	2,207 (12.7%)	2,114 (12.1%)	3.2
	ⅠQ5 教材等の持参頻度	8,454 (48.5%)	4,175 (24.0%)	3,701 (21.2%)	601 (3.5%)	487 (2.8%)	4.1
	ⅠQ6 授業姿勢への自己評価	4,495 (25.9%)	6,509 (37.5%)	4,921 (28.3%)	1,010 (5.8%)	441 (2.5%)	3.8
	ⅡQ7 授業目的の明確さ	6,122 (35.1%)	5,704 (32.7%)	4,273 (24.5%)	853 (4.9%)	490 (2.8%)	3.9
	ⅡQ8 シラバスの反映	5,280 (30.3%)	5,105 (29.3%)	5,949 (34.1%)	682 (3.9%)	421 (2.4%)	3.8
	ⅡQ9 理解しやすさ	5,888 (33.8%)	5,324 (30.5%)	4,132 (23.7%)	1,295 (7.4%)	800 (4.6%)	3.8
	ⅡQ10 適切な授業進行速度	5,980 (34.3%)	5,360 (30.7%)	4,298 (24.6%)	1,204 (6.9%)	600 (3.4%)	3.9
	ⅡQ11 板書などの見やすさ	6,323 (36.2%)	4,698 (26.9%)	4,108 (23.5%)	1,391 (8.0%)	924 (5.3%)	3.8
	ⅡQ12 教材の使い方	6,500 (37.3%)	4,724 (27.1%)	4,799 (27.5%)	845 (4.8%)	566 (3.2%)	3.9
	ⅡQ13 学生参加の機会	5,520 (31.6%)	4,012 (23.0%)	4,882 (28.0%)	1,648 (9.4%)	1,381 (7.9%)	3.6
	ⅡQ14 受講態度への対応	6,368 (36.5%)	4,999 (28.7%)	4,718 (27.1%)	870 (5.0%)	480 (2.8%)	3.9
	ⅡQ15 教員の熱意	7,090 (40.7%)	5,316 (30.5%)	3,958 (22.7%)	654 (3.8%)	416 (2.4%)	4.0
	ⅡQ16 毎週の期待	4,437 (25.5%)	4,541 (26.1%)	5,584 (32.1%)	1,553 (8.9%)	1,273 (7.3%)	3.5
	ⅢQ17 新しい自己発想	4,752 (27.4%)	5,236 (30.1%)	5,563 (32.0%)	1,112 (6.4%)	709 (4.1%)	3.7
	ⅢQ18 分野への関心	5,081 (29.2%)	5,415 (31.2%)	5,179 (29.8%)	1,031 (5.9%)	670 (3.9%)	3.8
	ⅢQ19 自分で考える姿勢	4,171 (24.0%)	5,019 (28.9%)	6,131 (35.3%)	1,316 (7.6%)	730 (4.2%)	3.6
	ⅢQ20 満足度	5,191 (30.0%)	5,355 (30.9%)	5,044 (29.1%)	1,040 (6.0%)	681 (3.9%)	3.8

＜評価帯グラフ＞
2015年度



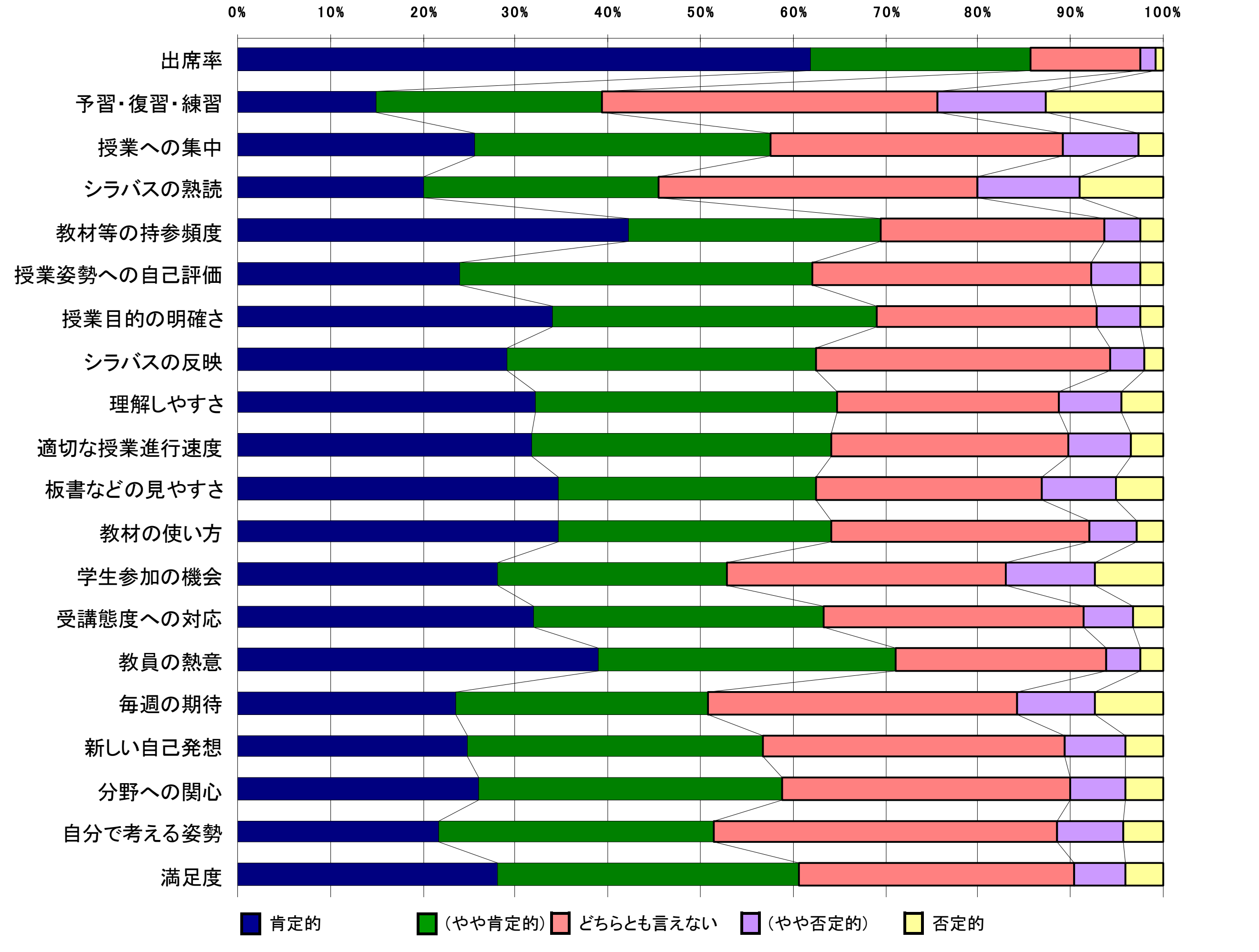
全学集計【項目別集計】

学年：　２年

実施年度	項目	肯定的	（やや肯定的）	どちらとも言えない	（やや否定的）	否定的	平均
2015年度	ⅠQ1 出席率	9,366 (61.9%)	3,602 (23.8%)	1,803 (11.9%)	231 (1.5%)	131 (0.9%)	4.4
	ⅠQ2 予習・復習・練習	2,256 (14.9%)	3,693 (24.4%)	5,471 (36.2%)	1,796 (11.9%)	1,907 (12.6%)	3.2
	ⅠQ3 授業への集中	3,881 (25.7%)	4,816 (31.9%)	4,782 (31.6%)	1,225 (8.1%)	412 (2.7%)	3.7
	ⅠQ4 シラバスの熟読	3,046 (20.2%)	3,816 (25.3%)	5,199 (34.4%)	1,677 (11.1%)	1,373 (9.1%)	3.4
	ⅠQ5 教材等の持参頻度	6,363 (42.2%)	4,129 (27.4%)	3,649 (24.2%)	590 (3.9%)	364 (2.4%)	4.0
	ⅠQ6 授業姿勢への自己評価	3,607 (23.9%)	5,746 (38.1%)	4,565 (30.3%)	795 (5.3%)	364 (2.4%)	3.8
	ⅡQ7 授業目的の明確さ	5,158 (34.1%)	5,283 (34.9%)	3,610 (23.9%)	706 (4.7%)	366 (2.4%)	3.9
	ⅡQ8 シラバスの反映	4,399 (29.1%)	5,042 (33.4%)	4,803 (31.8%)	569 (3.8%)	302 (2.0%)	3.8
	ⅡQ9 理解しやすさ	4,864 (32.2%)	4,938 (32.7%)	3,604 (23.8%)	1,026 (6.8%)	687 (4.5%)	3.8
	ⅡQ10 適切な授業進行速度	4,815 (31.9%)	4,886 (32.3%)	3,857 (25.5%)	1,018 (6.7%)	540 (3.6%)	3.8
	ⅡQ11 板書などの見やすさ	5,221 (34.5%)	4,220 (27.9%)	3,692 (24.4%)	1,217 (8.1%)	766 (5.1%)	3.8
	ⅡQ12 教材の使い方	5,236 (34.7%)	4,462 (29.5%)	4,201 (27.8%)	765 (5.1%)	444 (2.9%)	3.9
	ⅡQ13 学生参加の機会	4,247 (28.1%)	3,750 (24.8%)	4,544 (30.1%)	1,461 (9.7%)	1,110 (7.3%)	3.6
	ⅡQ14 受講態度への対応	4,821 (31.9%)	4,747 (31.4%)	4,255 (28.2%)	804 (5.3%)	483 (3.2%)	3.8
	ⅡQ15 教員の熱意	5,872 (38.9%)	4,861 (32.2%)	3,451 (22.8%)	555 (3.7%)	371 (2.5%)	4.0
	ⅡQ16 毎週の期待	3,535 (23.5%)	4,126 (27.4%)	5,007 (33.2%)	1,267 (8.4%)	1,124 (7.5%)	3.5
	ⅢQ17 新しい自己発想	3,735 (24.8%)	4,819 (32.0%)	4,892 (32.5%)	974 (6.5%)	632 (4.2%)	3.7
	ⅢQ18 分野への関心	3,930 (26.1%)	4,916 (32.7%)	4,703 (31.2%)	898 (6.0%)	606 (4.0%)	3.7
	ⅢQ19 自分で考える姿勢	3,264 (21.7%)	4,467 (29.7%)	5,580 (37.1%)	1,101 (7.3%)	637 (4.2%)	3.6
	ⅢQ20 満足度	4,220 (28.1%)	4,865 (32.4%)	4,475 (29.8%)	839 (5.6%)	602 (4.0%)	3.8

＜評価帯グラフ＞

2015年度

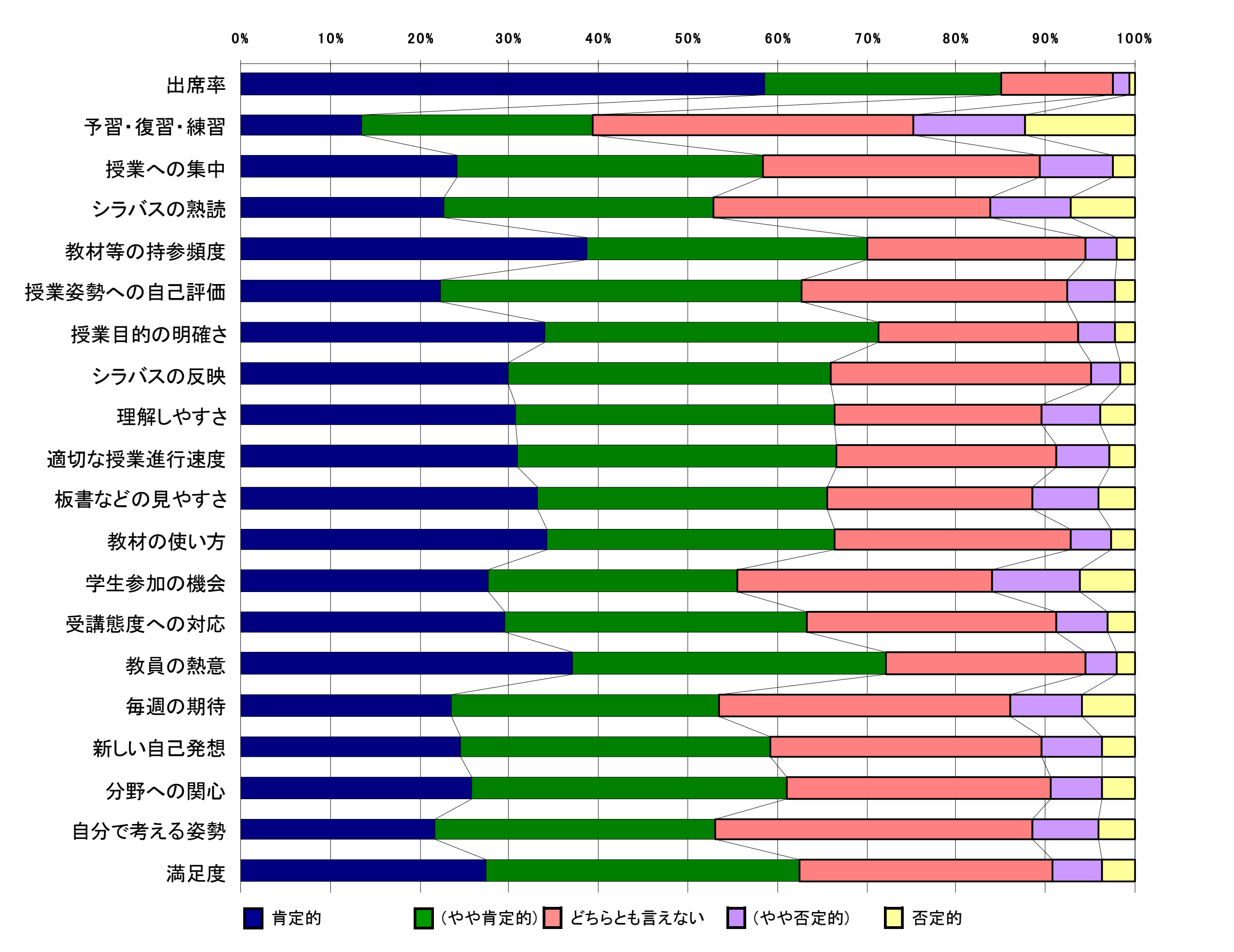


全学集計【項目別集計】

学年：　３年

実施年度	項目	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2015年度	ⅠQ1 出席率	6,890 (58.6%)	3,102 (26.4%)	1,469 (12.5%)	216 (1.8%)	73 (0.6%)	4.4
	ⅠQ2 予習・復習・練習	1,582 (13.5%)	3,048 (25.9%)	4,209 (35.8%)	1,473 (12.5%)	1,443 (12.3%)	3.2
	ⅠQ3 授業への集中	2,829 (24.1%)	4,031 (34.3%)	3,632 (30.9%)	962 (8.2%)	295 (2.5%)	3.7
	ⅠQ4 シラバスの熟読	2,678 (22.8%)	3,545 (30.2%)	3,628 (30.9%)	1,055 (9.0%)	842 (7.2%)	3.5
	ⅠQ5 教材等の持参頻度	4,552 (38.8%)	3,679 (31.3%)	2,853 (24.3%)	425 (3.6%)	229 (2.0%)	4.0
	ⅠQ6 授業姿勢への自己評価	2,607 (22.3%)	4,734 (40.4%)	3,468 (29.6%)	636 (5.4%)	260 (2.2%)	3.8
	ⅡQ7 授業目的の明確さ	4,005 (34.1%)	4,363 (37.1%)	2,627 (22.4%)	501 (4.3%)	254 (2.2%)	4.0
	ⅡQ8 シラバスの反映	3,519 (30.0%)	4,232 (36.0%)	3,416 (29.1%)	389 (3.3%)	187 (1.6%)	3.9
	ⅡQ9 理解しやすさ	3,607 (30.7%)	4,187 (35.6%)	2,732 (23.3%)	766 (6.5%)	456 (3.9%)	3.8
	ⅡQ10 適切な授業進行速度	3,628 (30.9%)	4,199 (35.8%)	2,885 (24.6%)	691 (5.9%)	341 (2.9%)	3.9
	ⅡQ11 板書などの見やすさ	3,901 (33.2%)	3,800 (32.4%)	2,694 (22.9%)	864 (7.4%)	485 (4.1%)	3.8
	ⅡQ12 教材の使い方	4,025 (34.3%)	3,774 (32.2%)	3,095 (26.4%)	540 (4.6%)	304 (2.6%)	3.9
	ⅡQ13 学生参加の機会	3,247 (27.7%)	3,272 (27.9%)	3,349 (28.5%)	1,135 (9.7%)	733 (6.2%)	3.6
	ⅡQ14 受講態度への対応	3,469 (29.5%)	3,960 (33.7%)	3,286 (28.0%)	672 (5.7%)	357 (3.0%)	3.8
	ⅡQ15 教員の熱意	4,352 (37.1%)	4,122 (35.1%)	2,616 (22.3%)	397 (3.4%)	250 (2.1%)	4.0
	ⅡQ16 毎週の期待	2,755 (23.6%)	3,505 (30.0%)	3,795 (32.5%)	950 (8.1%)	683 (5.8%)	3.6
	ⅢQ17 新しい自己発想	2,875 (24.6%)	4,042 (34.6%)	3,563 (30.5%)	781 (6.7%)	430 (3.7%)	3.7
	ⅢQ18 分野への関心	3,013 (25.8%)	4,132 (35.3%)	3,435 (29.4%)	691 (5.9%)	421 (3.6%)	3.7
	ⅢQ19 自分で考える姿勢	2,546 (21.8%)	3,667 (31.4%)	4,120 (35.3%)	867 (7.4%)	485 (4.2%)	3.6
	ⅢQ20 満足度	3,212 (27.6%)	4,076 (35.0%)	3,288 (28.2%)	640 (5.5%)	440 (3.8%)	3.8

＜評価帯グラフ＞
2015年度

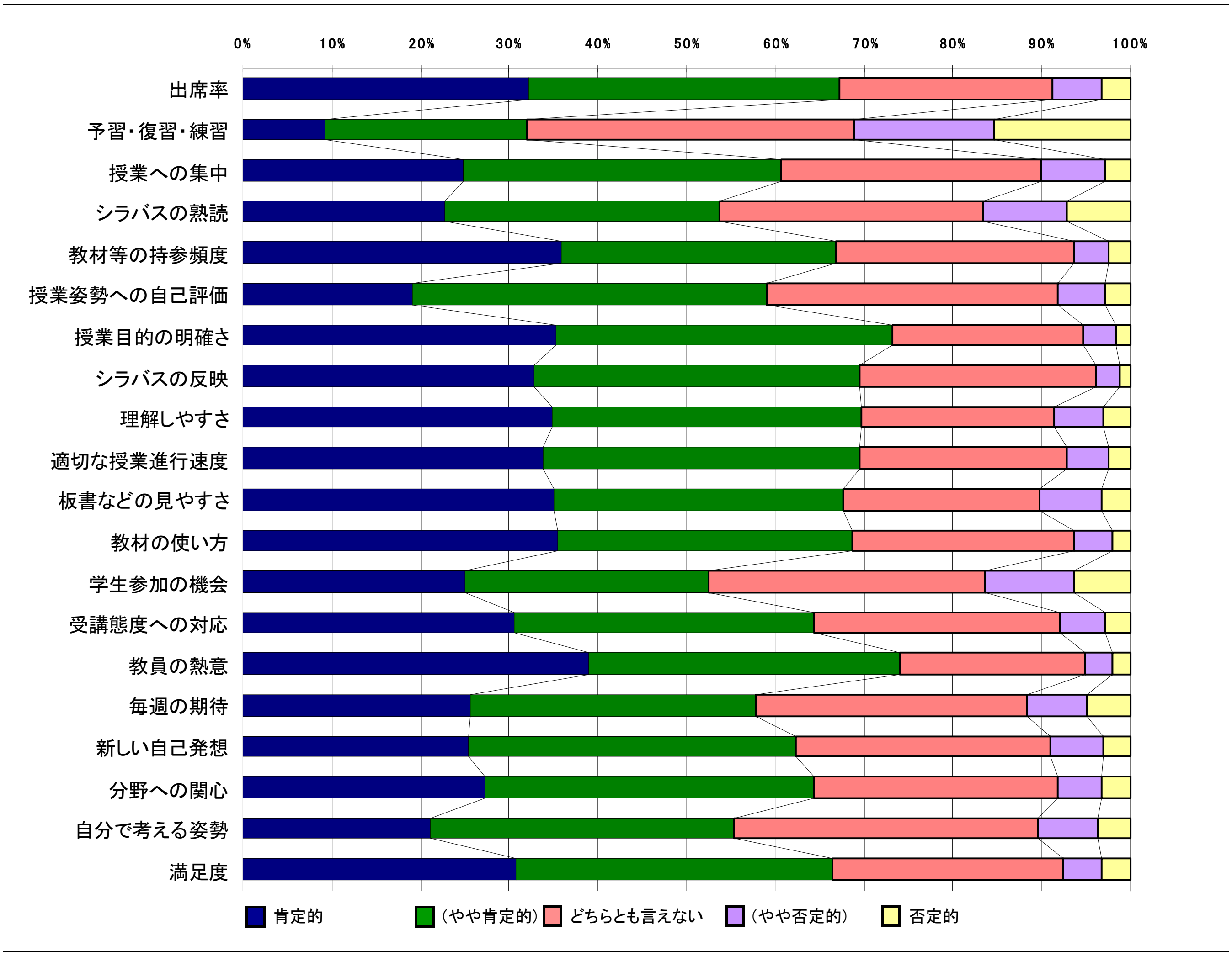


全学集計【項目別集計】

学年：　４年

実施年度	項目	肯定的	（やや肯定的）	どちらとも言えない	（やや否定的）	否定的	平均
2015年度	ⅠQ1 出席率	1,371 (32.1%)	1,498 (35.1%)	1,026 (24.0%)	242 (5.7%)	136 (3.2%)	3.9
	ⅠQ2 予習・復習・練習	397 (9.3%)	966 (22.6%)	1,578 (37.0%)	667 (15.6%)	658 (15.4%)	2.9
	ⅠQ3 授業への集中	1,056 (24.7%)	1,533 (35.9%)	1,251 (29.3%)	312 (7.3%)	121 (2.8%)	3.7
	ⅠQ4 シラバスの熟読	975 (22.8%)	1,320 (30.9%)	1,265 (29.6%)	400 (9.4%)	308 (7.2%)	3.5
	ⅠQ5 教材等の持参頻度	1,525 (35.8%)	1,316 (30.9%)	1,145 (26.9%)	164 (3.9%)	109 (2.6%)	3.9
	ⅠQ6 授業姿勢への自己評価	813 (19.1%)	1,694 (39.9%)	1,391 (32.7%)	231 (5.4%)	121 (2.8%)	3.7
	ⅡQ7 授業目的の明確さ	1,509 (35.3%)	1,619 (37.9%)	914 (21.4%)	159 (3.7%)	70 (1.6%)	4.0
	ⅡQ8 シラバスの反映	1,403 (32.9%)	1,558 (36.5%)	1,138 (26.7%)	115 (2.7%)	53 (1.2%)	4.0
	ⅡQ9 理解しやすさ	1,483 (34.7%)	1,488 (34.9%)	933 (21.9%)	234 (5.5%)	131 (3.1%)	3.9
	ⅡQ10 適切な授業進行速度	1,448 (33.9%)	1,520 (35.6%)	995 (23.3%)	204 (4.8%)	103 (2.4%)	3.9
	ⅡQ11 板書などの見やすさ	1,495 (35.1%)	1,386 (32.5%)	947 (22.2%)	289 (6.8%)	144 (3.4%)	3.9
	ⅡQ12 教材の使い方	1,505 (35.4%)	1,415 (33.2%)	1,070 (25.1%)	176 (4.1%)	91 (2.1%)	4.0
	ⅡQ13 学生参加の機会	1,069 (25.1%)	1,171 (27.5%)	1,324 (31.0%)	426 (10.0%)	275 (6.4%)	3.5
	ⅡQ14 受講態度への対応	1,306 (30.6%)	1,441 (33.8%)	1,177 (27.6%)	224 (5.2%)	119 (2.8%)	3.8
	ⅡQ15 教員の熱意	1,659 (38.9%)	1,498 (35.1%)	892 (20.9%)	129 (3.0%)	89 (2.1%)	4.1
	ⅡQ16 毎週の期待	1,087 (25.6%)	1,375 (32.3%)	1,298 (30.5%)	285 (6.7%)	208 (4.9%)	3.7
	ⅢQ17 新しい自己発想	1,082 (25.4%)	1,574 (37.0%)	1,219 (28.6%)	247 (5.8%)	135 (3.2%)	3.8
	ⅢQ18 分野への関心	1,161 (27.3%)	1,579 (37.1%)	1,169 (27.5%)	209 (4.9%)	139 (3.3%)	3.8
	ⅢQ19 自分で考える姿勢	897 (21.1%)	1,455 (34.2%)	1,462 (34.3%)	283 (6.6%)	160 (3.8%)	3.6
	ⅢQ20 満足度	1,305 (30.8%)	1,511 (35.6%)	1,103 (26.0%)	181 (4.3%)	140 (3.3%)	3.9

＜評価帯グラフ＞
2015年度



C.項目別集計
(学部別集計)

学部別【項目別集計】

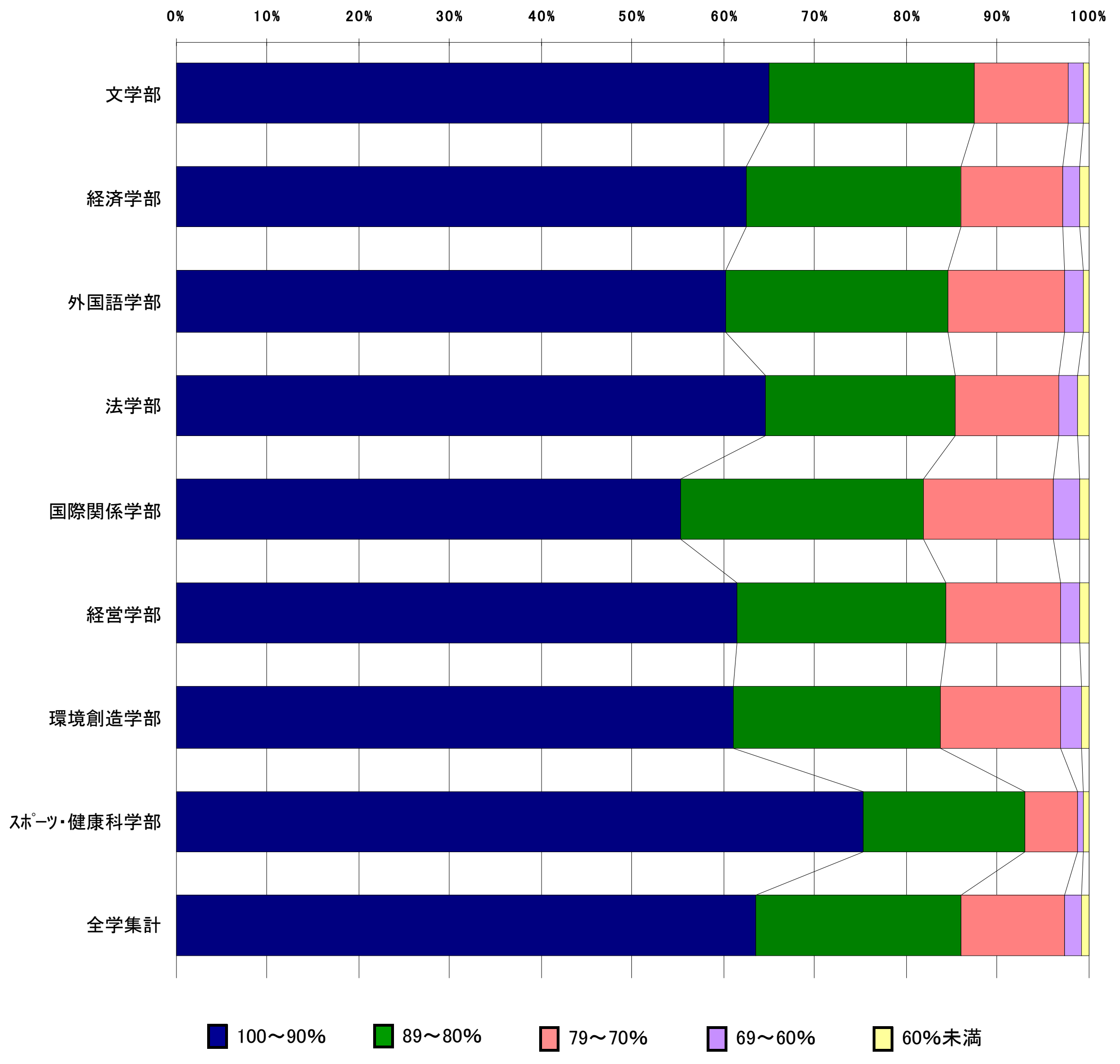
学年：　全学年

ⅠQ1 この授業への出席率はどのくらいですか。（人）

実施年度	項目	100～90%	89～80%	79～70%	69～60%	60%未満	平均
2015年度	文学部	7,700 (65.0%)	2,657 (22.4%)	1,210 (10.2%)	191 (1.6%)	81 (0.7%)	4.5
	経済学部	3,636 (62.5%)	1,363 (23.4%)	652 (11.2%)	109 (1.9%)	61 (1.0%)	4.4
	外国語学部	4,419 (60.2%)	1,796 (24.5%)	933 (12.7%)	145 (2.0%)	52 (0.7%)	4.4
	法学部	4,731 (64.6%)	1,518 (20.7%)	840 (11.5%)	147 (2.0%)	89 (1.2%)	4.5
	国際関係学部	1,869 (55.2%)	904 (26.7%)	480 (14.2%)	99 (2.9%)	36 (1.1%)	4.3
	経営学部	3,599 (61.5%)	1,331 (22.7%)	742 (12.7%)	123 (2.1%)	58 (1.0%)	4.4
	環境創造学部	1,671 (61.1%)	619 (22.6%)	360 (13.2%)	63 (2.3%)	24 (0.9%)	4.4
	ｽﾎﾟｰﾂ・健康科学部	3,323 (75.3%)	776 (17.6%)	254 (5.8%)	33 (0.7%)	26 (0.6%)	4.7
	全学集計	30,948 (63.5%)	10,964 (22.5%)	5,471 (11.2%)	910 (1.9%)	427 (0.9%)	4.5

＜評価帯グラフ＞

2015年度



学部別【項目別集計】

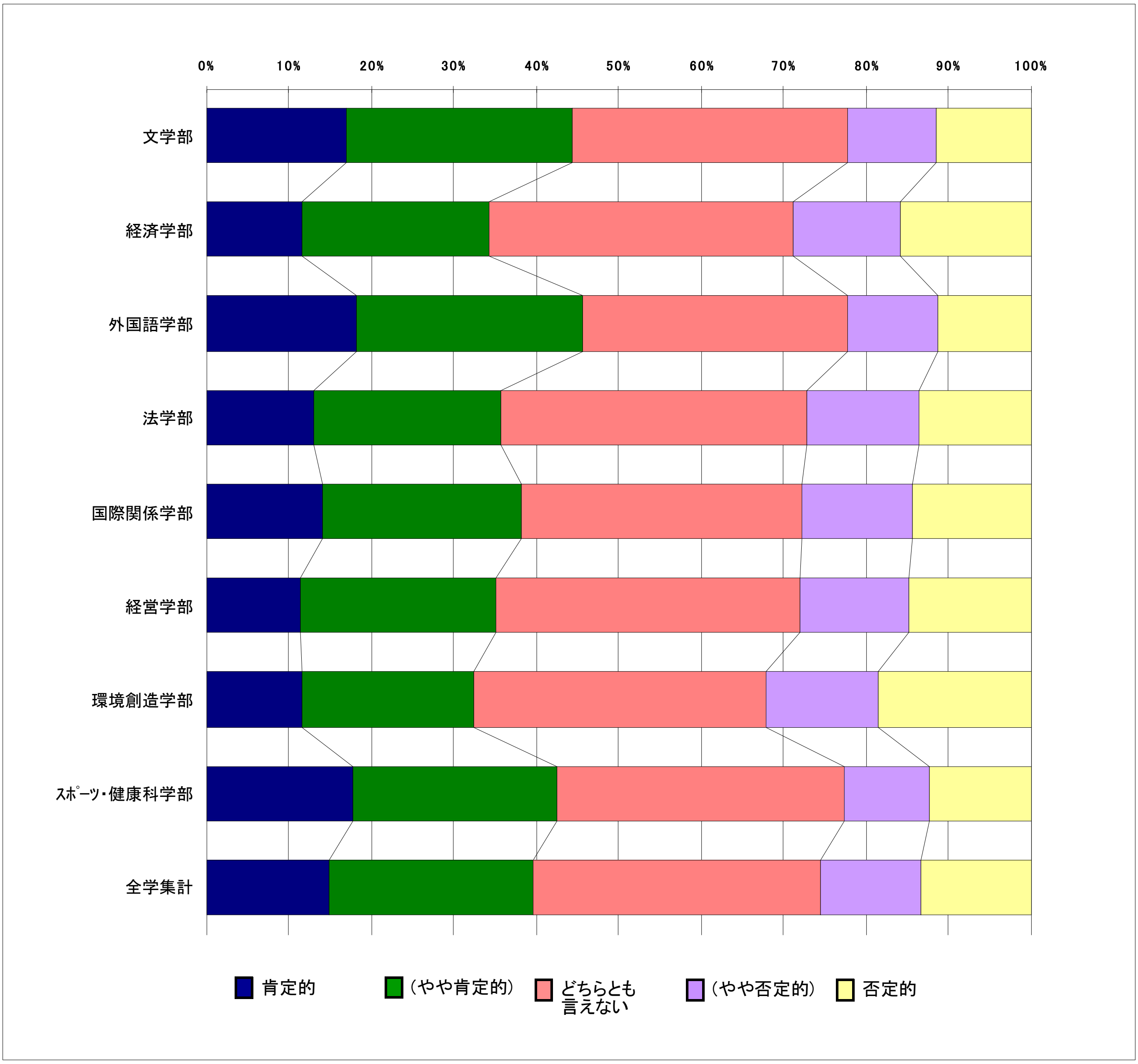
学年：　全学年

I Q2 この授業に関する予習・復習・練習などを行いましたか。　（人）

実施年度	項目	肯定的	（やや肯定的）	どちらとも言えない	（やや否定的）	否定的	平均
2015年度	文学部	2,012 （17.0%）	3,242 （27.4%）	3,935 （33.3%）	1,266 （10.7%）	1,377 （11.6%）	3.3
	経済学部	672 （11.5%）	1,317 （22.6%）	2,149 （36.9%）	757 （13.0%）	926 （15.9%）	3.0
	外国語学部	1,331 （18.1%）	2,018 （27.5%）	2,364 （32.2%）	798 （10.9%）	831 （11.3%）	3.3
	法学部	945 （12.9%）	1,665 （22.7%）	2,716 （37.1%）	1,006 （13.7%）	991 （13.5%）	3.1
	国際関係学部	471 （13.9%）	817 （24.1%）	1,153 （34.1%）	452 （13.4%）	491 （14.5%）	3.1
	経営学部	666 （11.4%）	1,391 （23.8%）	2,152 （36.8%）	781 （13.3%）	864 （14.8%）	3.0
	環境創造学部	319 （11.6%）	565 （20.6%）	974 （35.6%）	371 （13.5%）	510 （18.6%）	2.9
	ｽﾎﾟｰﾂ・健康科学部	778 （17.6%）	1,098 （24.9%）	1,534 （34.8%）	454 （10.3%）	546 （12.4%）	3.3
	全学集計	7,194 （14.8%）	12,113 （24.9%）	16,977 （34.9%）	5,885 （12.1%）	6,536 （13.4%）	3.2

＜評価帯グラフ＞

2015年度



学部別【項目別集計】

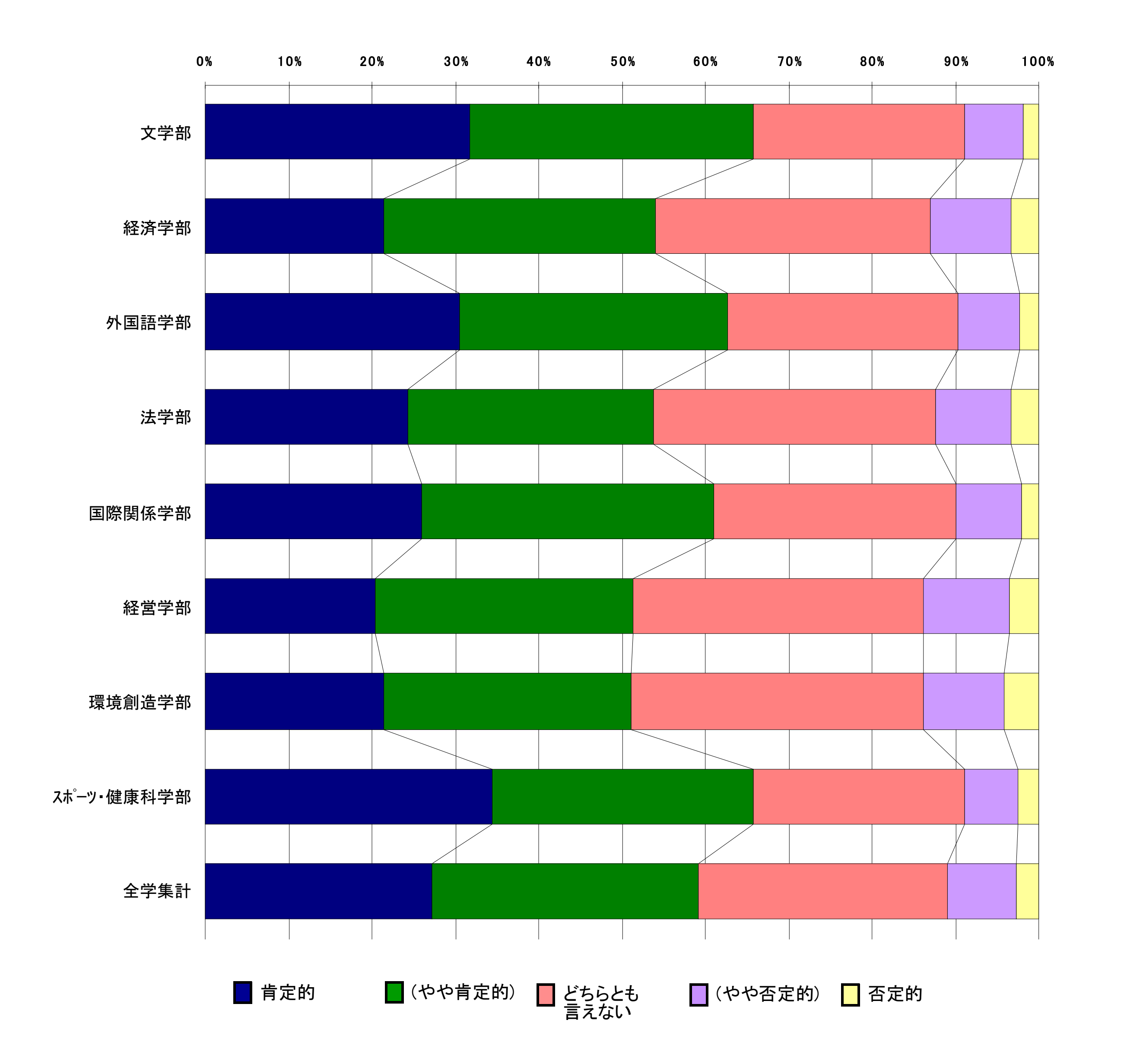
学年：　全学年

ⅠQ3 あなたは授業に集中しましたか(私語、不必要な携帯電話の使用、むやみな教室の出入り、居眠り等をしなかった)。　(人)

実施年度	項目	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2015年度	文学部	3,748 (31.7%)	4,039 (34.1%)	3,012 (25.4%)	811 (6.8%)	230 (1.9%)	3.9
	経済学部	1,251 (21.5%)	1,890 (32.5%)	1,923 (33.1%)	557 (9.6%)	197 (3.4%)	3.6
	外国語学部	2,242 (30.5%)	2,352 (32.0%)	2,036 (27.7%)	541 (7.4%)	170 (2.3%)	3.8
	法学部	1,780 (24.3%)	2,152 (29.4%)	2,487 (34.0%)	653 (8.9%)	246 (3.4%)	3.6
	国際関係学部	879 (26.0%)	1,184 (35.0%)	982 (29.0%)	266 (7.9%)	71 (2.1%)	3.7
	経営学部	1,197 (20.5%)	1,805 (30.9%)	2,040 (34.9%)	597 (10.2%)	210 (3.6%)	3.5
	環境創造学部	589 (21.5%)	812 (29.7%)	958 (35.0%)	268 (9.8%)	111 (4.1%)	3.5
	ｽﾎﾟｰﾂ・健康科学部	1,519 (34.5%)	1,385 (31.4%)	1,117 (25.3%)	283 (6.4%)	105 (2.4%)	3.9
	全学集計	13,205 (27.1%)	15,619 (32.1%)	14,555 (29.9%)	3,976 (8.2%)	1,340 (2.8%)	3.7

＜評価帯グラフ＞

2015年度



学部別【項目別集計】

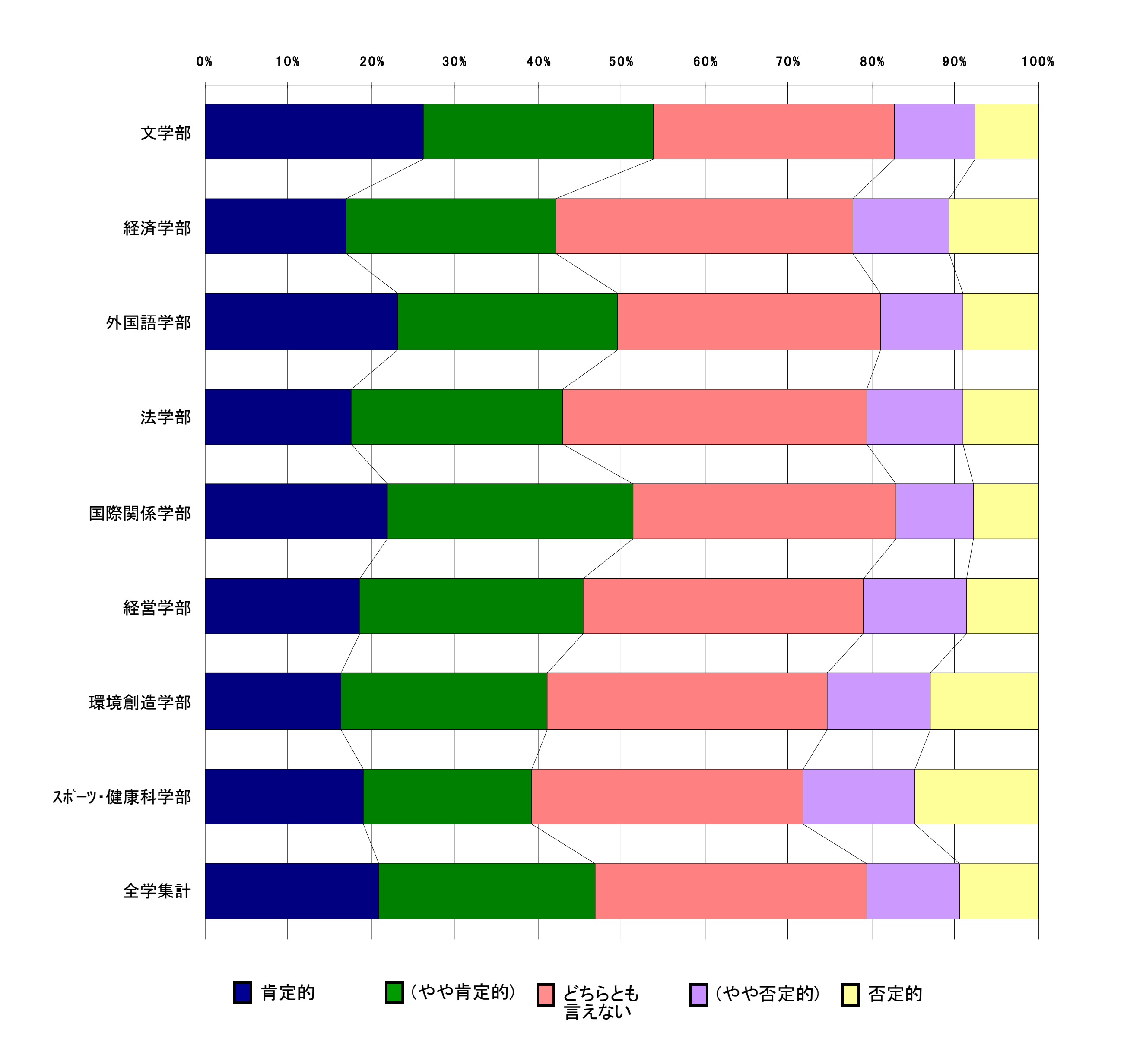
学年： 全学年

I Q4 この授業のシラバス(授業内容が記載されている教授要項)をしっかり読みましたか。 (人)

実施年度	項目	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2015年度	文学部	3,112 (26.3%)	3,262 (27.6%)	3,416 (28.9%)	1,141 (9.6%)	907 (7.7%)	3.6
	経済学部	982 (16.9%)	1,459 (25.1%)	2,077 (35.7%)	678 (11.7%)	619 (10.6%)	3.3
	外国語学部	1,694 (23.1%)	1,940 (26.4%)	2,310 (31.5%)	727 (9.9%)	666 (9.1%)	3.4
	法学部	1,288 (17.6%)	1,854 (25.3%)	2,668 (36.5%)	834 (11.4%)	670 (9.2%)	3.3
	国際関係学部	740 (21.9%)	994 (29.4%)	1,070 (31.6%)	315 (9.3%)	262 (7.7%)	3.5
	経営学部	1,083 (18.5%)	1,565 (26.8%)	1,965 (33.6%)	729 (12.5%)	507 (8.7%)	3.3
	環境創造学部	446 (16.3%)	677 (24.7%)	920 (33.6%)	337 (12.3%)	357 (13.0%)	3.2
	ｽﾎﾟｰﾂ・健康科学部	838 (19.0%)	886 (20.1%)	1,441 (32.7%)	589 (13.4%)	652 (14.8%)	3.2
	全学集計	10,183 (20.9%)	12,637 (26.0%)	15,867 (32.6%)	5,350 (11.0%)	4,640 (9.5%)	3.4

＜評価帯グラフ＞

2015年度



学部別【項目別集計】

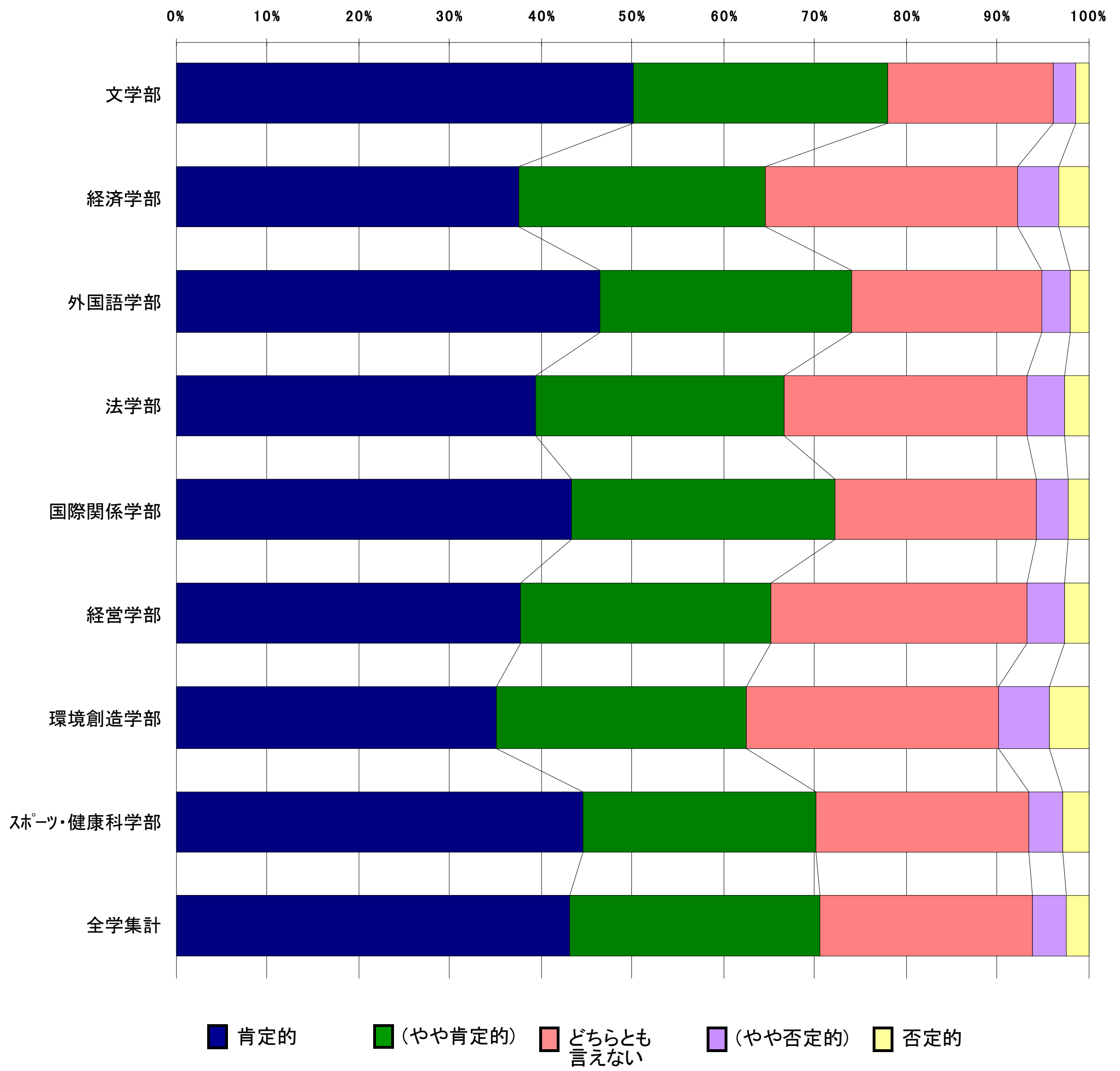
学年： 全学年

I Q5 シラバス内及び授業中にて、持ってくるように指示された教材(テキスト、プリント、辞書等)を毎回忘れずに持ってきましたか。 (人)

実施年度	項目	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2015年度	文学部	5,924 (50.1%)	3,280 (27.7%)	2,142 (18.1%)	310 (2.6%)	165 (1.4%)	4.2
	経済学部	2,179 (37.5%)	1,575 (27.1%)	1,606 (27.6%)	258 (4.4%)	197 (3.4%)	3.9
	外国語学部	3,400 (46.4%)	2,024 (27.6%)	1,523 (20.8%)	227 (3.1%)	153 (2.1%)	4.1
	法学部	2,879 (39.4%)	1,992 (27.2%)	1,942 (26.6%)	298 (4.1%)	200 (2.7%)	4.0
	国際関係学部	1,462 (43.3%)	975 (28.9%)	745 (22.1%)	121 (3.6%)	75 (2.2%)	4.1
	経営学部	2,209 (37.8%)	1,601 (27.4%)	1,631 (27.9%)	244 (4.2%)	157 (2.7%)	3.9
	環境創造学部	958 (35.0%)	750 (27.4%)	755 (27.6%)	151 (5.5%)	121 (4.4%)	3.8
	ｽﾎﾟｰﾂ・健康科学部	1,958 (44.5%)	1,129 (25.6%)	1,021 (23.2%)	172 (3.9%)	123 (2.8%)	4.1
	全学集計	20,969 (43.1%)	13,326 (27.4%)	11,365 (23.4%)	1,781 (3.7%)	1,191 (2.4%)	4.1

＜評価帯グラフ＞

2015年度



学部別【項目別集計】

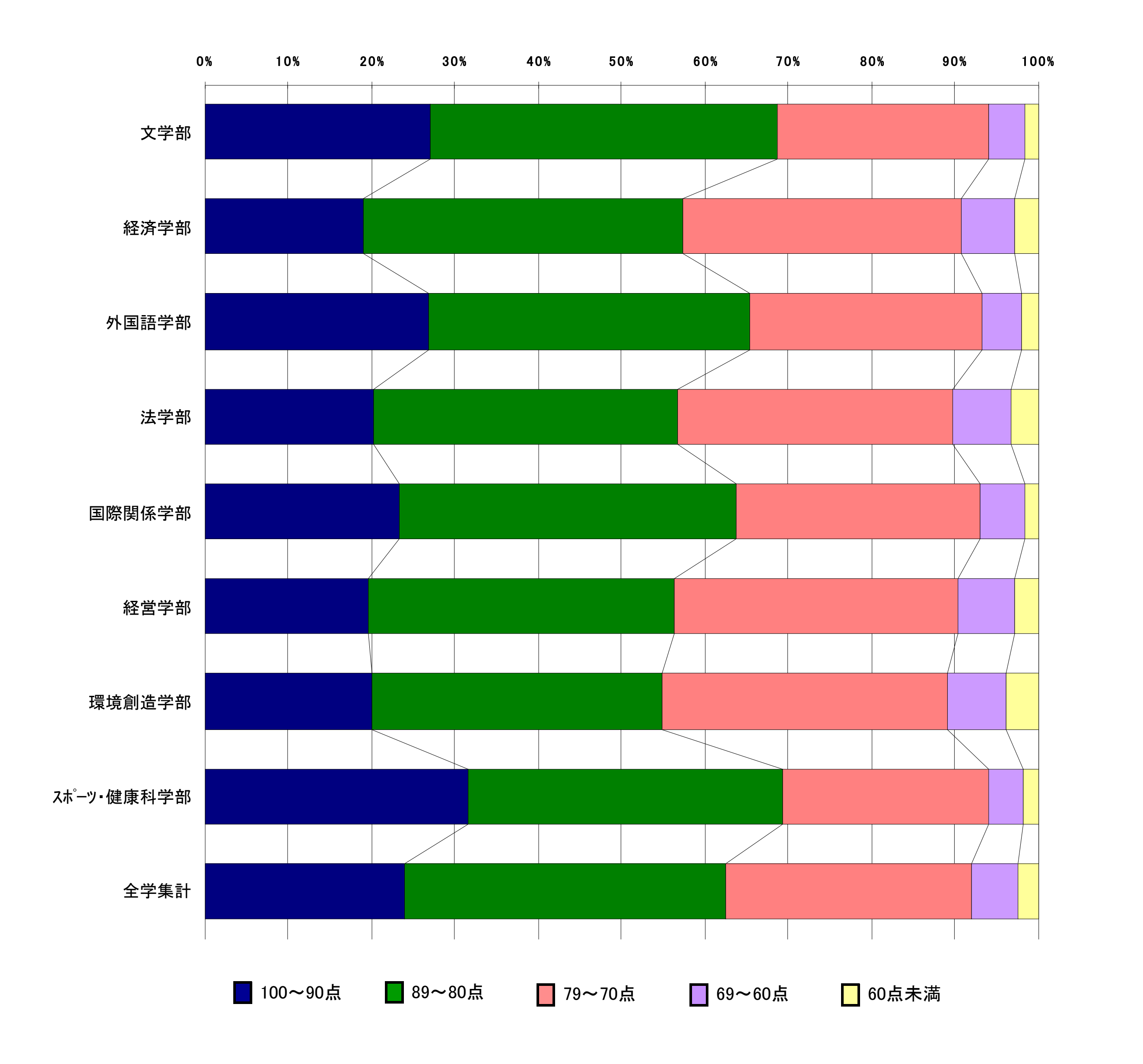
学年：　全学年

Ｉ Q6 あなた自身が授業へ真剣に臨む姿勢について、自己評価するなら何点ですか。（人）

実施年度	項目	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	60点未満	平均
2015年度	文学部	3,185 (27.0%)	4,917 (41.7%)	2,987 (25.3%)	513 (4.3%)	202 (1.7%)	3.9
	経済学部	1,095 (18.9%)	2,231 (38.5%)	1,936 (33.4%)	366 (6.3%)	172 (3.0%)	3.6
	外国語学部	1,958 (26.8%)	2,813 (38.5%)	2,037 (27.9%)	346 (4.7%)	154 (2.1%)	3.8
	法学部	1,478 (20.3%)	2,652 (36.3%)	2,419 (33.2%)	501 (6.9%)	247 (3.4%)	3.6
	国際関係学部	784 (23.3%)	1,365 (40.5%)	981 (29.1%)	180 (5.3%)	58 (1.7%)	3.8
	経営学部	1,142 (19.6%)	2,139 (36.7%)	1,979 (34.0%)	398 (6.8%)	170 (2.9%)	3.6
	環境創造学部	547 (20.0%)	953 (34.9%)	935 (34.2%)	189 (6.9%)	107 (3.9%)	3.6
	ｽﾎﾟｰﾂ・健康科学部	1,386 (31.6%)	1,658 (37.7%)	1,089 (24.8%)	183 (4.2%)	77 (1.8%)	3.9
	全学集計	11,575 (23.9%)	18,728 (38.6%)	14,363 (29.6%)	2,676 (5.5%)	1,187 (2.4%)	3.8

＜評価帯グラフ＞

2015年度



学部別【項目別集計】

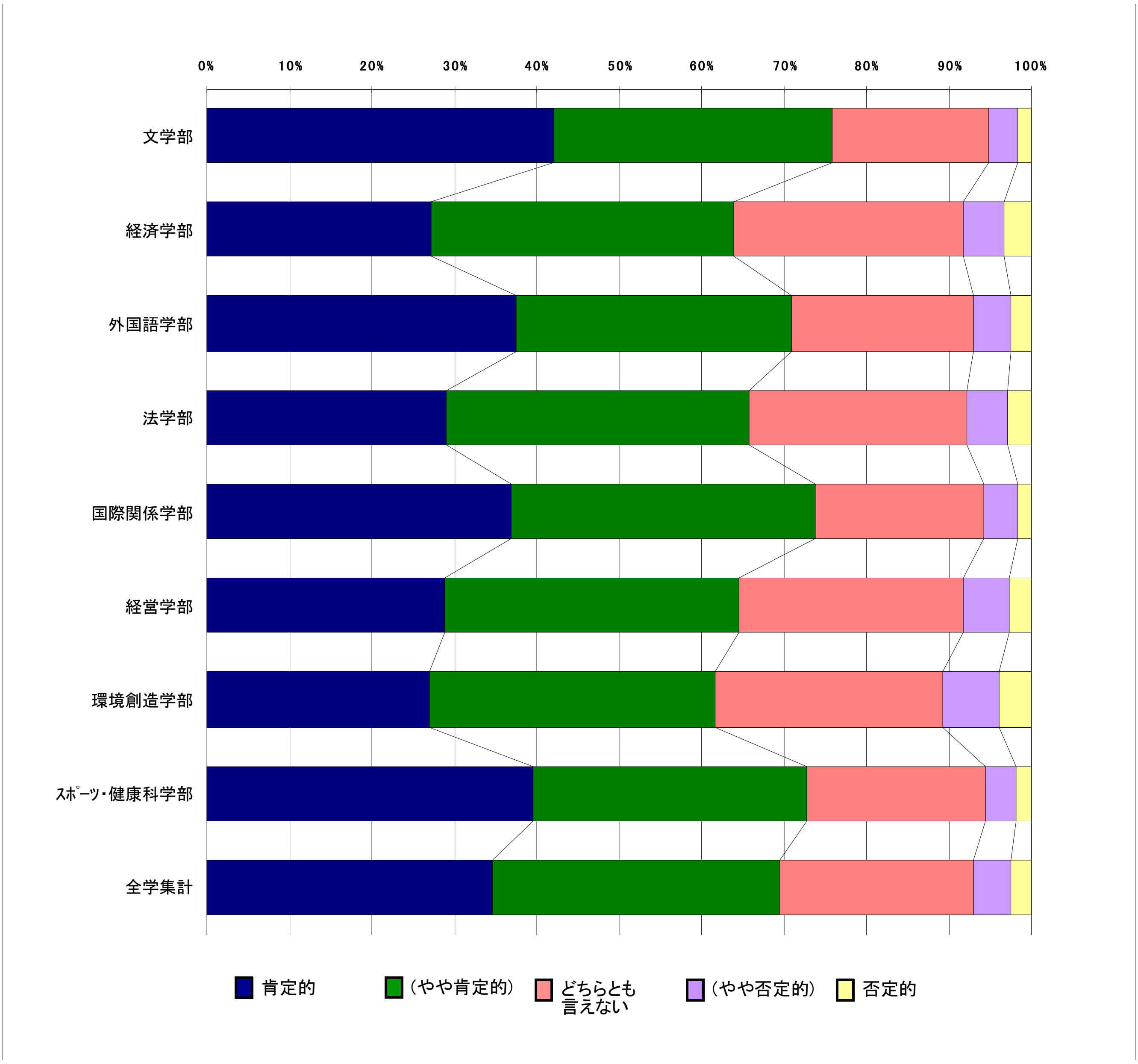
学年：　全学年

ⅡQ7 この授業の目的やねらいは明確でしたか。　（人）

実施年度	項目	肯定的	（やや肯定的）	どちらとも言えない	（やや否定的）	否定的	平均
2015年度	文学部	4,981 (42.1%)	3,989 (33.7%)	2,261 (19.1%)	414 (3.5%)	192 (1.6%)	4.1
	経済学部	1,586 (27.3%)	2,130 (36.6%)	1,617 (27.8%)	294 (5.1%)	190 (3.3%)	3.8
	外国語学部	2,758 (37.6%)	2,453 (33.4%)	1,617 (22.0%)	327 (4.5%)	188 (2.6%)	4.0
	法学部	2,130 (29.1%)	2,682 (36.6%)	1,935 (26.4%)	359 (4.9%)	218 (3.0%)	3.8
	国際関係学部	1,250 (36.9%)	1,249 (36.9%)	693 (20.5%)	138 (4.1%)	54 (1.6%)	4.0
	経営学部	1,689 (28.9%)	2,083 (35.6%)	1,594 (27.2%)	334 (5.7%)	152 (2.6%)	3.8
	環境創造学部	739 (27.0%)	948 (34.6%)	757 (27.6%)	186 (6.8%)	108 (3.9%)	3.7
	ｽﾎﾟｰﾂ・健康科学部	1,746 (39.6%)	1,462 (33.1%)	958 (21.7%)	168 (3.8%)	79 (1.8%)	4.0
	全学集計	16,879 (34.7%)	16,996 (34.9%)	11,432 (23.5%)	2,220 (4.6%)	1,181 (2.4%)	3.9

＜評価帯グラフ＞

2015年度



学部別【項目別集計】

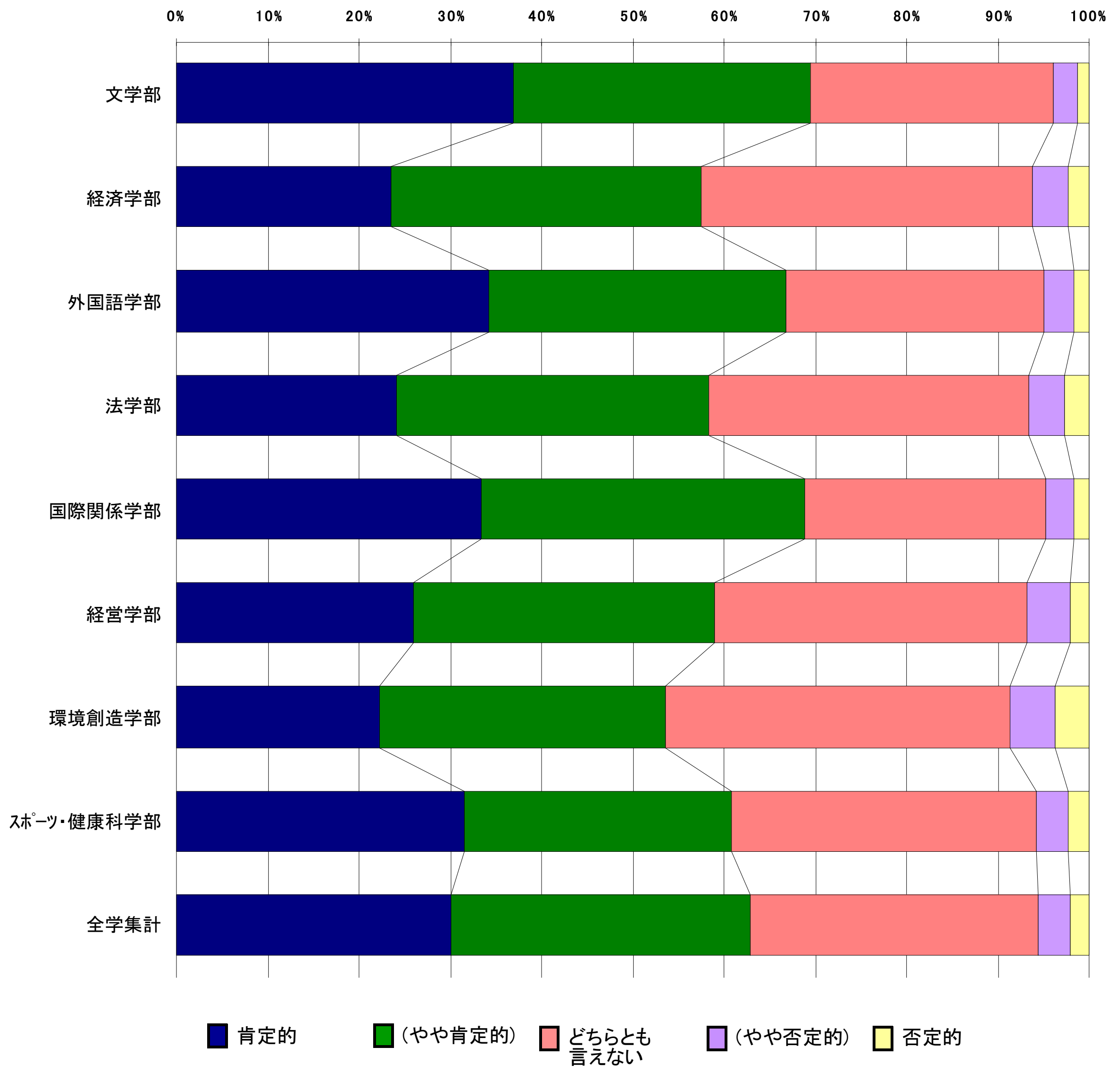
学年：　全学年

ⅡQ8 教員はシラバスを授業に反映させていましたか。　（人）

実施年度	項目	肯定的	（やや肯定的）	どちらとも言えない	（やや否定的）	否定的	平均
2015年度	文学部	4,365 (36.9%)	3,847 (32.5%)	3,147 (26.6%)	319 (2.7%)	147 (1.2%)	4.0
	経済学部	1,373 (23.6%)	1,973 (33.9%)	2,115 (36.4%)	223 (3.8%)	133 (2.3%)	3.7
	外国語学部	2,516 (34.3%)	2,383 (32.5%)	2,079 (28.3%)	239 (3.3%)	123 (1.7%)	3.9
	法学部	1,768 (24.2%)	2,497 (34.1%)	2,567 (35.1%)	298 (4.1%)	189 (2.6%)	3.7
	国際関係学部	1,132 (33.5%)	1,195 (35.3%)	896 (26.5%)	105 (3.1%)	55 (1.6%)	4.0
	経営学部	1,515 (25.9%)	1,933 (33.0%)	2,010 (34.3%)	278 (4.7%)	117 (2.0%)	3.8
	環境創造学部	612 (22.4%)	854 (31.2%)	1,032 (37.7%)	136 (5.0%)	102 (3.7%)	3.6
	ｽﾎﾟｰﾂ・健康科学部	1,390 (31.5%)	1,292 (29.3%)	1,474 (33.4%)	158 (3.6%)	97 (2.2%)	3.8
	全学集計	14,671 (30.1%)	15,974 (32.8%)	15,320 (31.5%)	1,756 (3.6%)	963 (2.0%)	3.9

＜評価帯グラフ＞

2015年度



学部別【項目別集計】

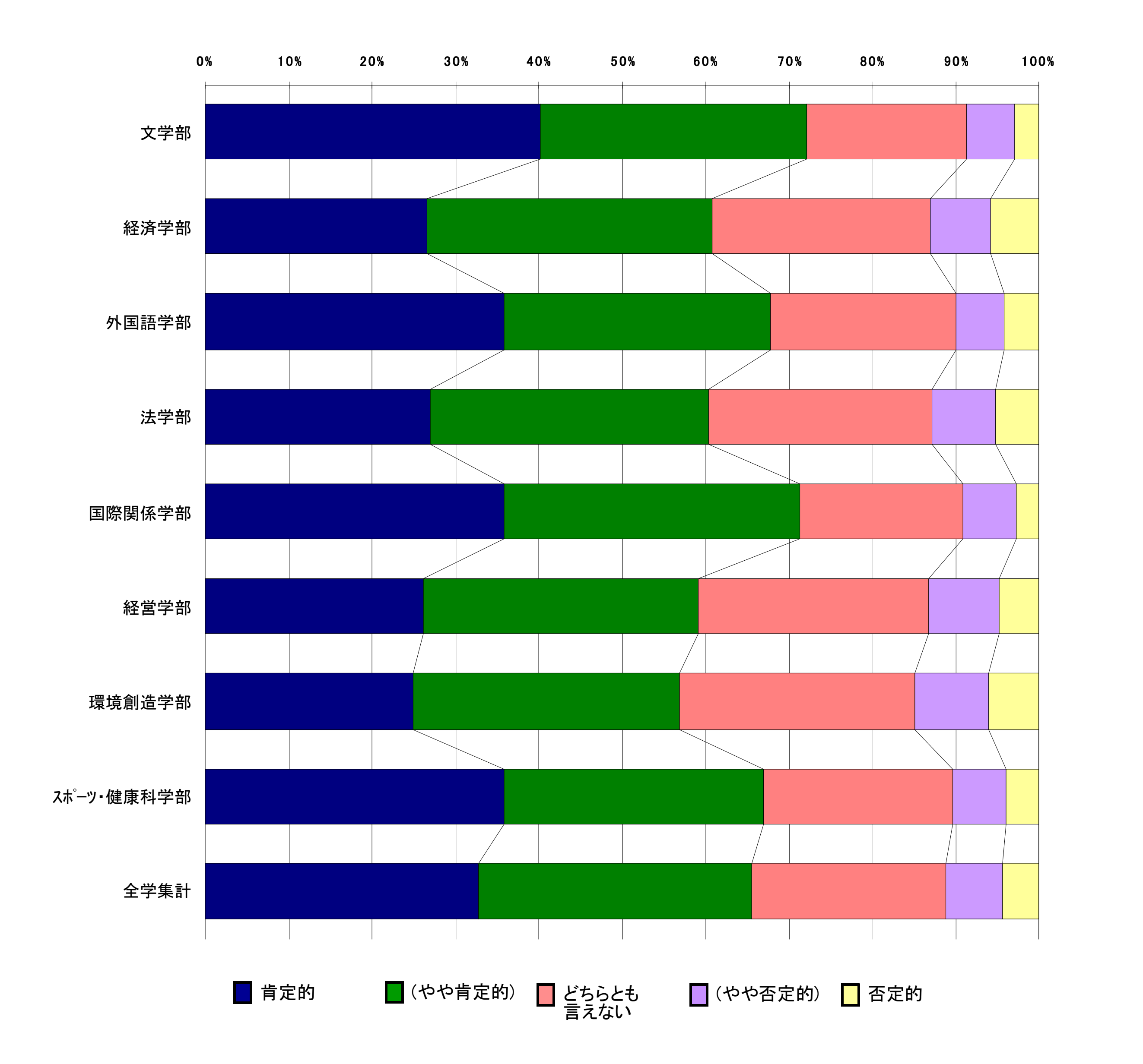
学年： 全学年

ⅡQ9 授業内容は理解しやすかったですか。（人）

実施年度	項目	肯定的	（やや肯定的）	どちらとも言えない	（やや否定的）	否定的	平均
2015年度	文学部	4,760 (40.2%)	3,791 (32.0%)	2,252 (19.0%)	684 (5.8%)	353 (3.0%)	4.0
	経済学部	1,549 (26.6%)	1,994 (34.3%)	1,520 (26.1%)	419 (7.2%)	334 (5.7%)	3.7
	外国語学部	2,631 (35.8%)	2,348 (32.0%)	1,628 (22.2%)	429 (5.8%)	303 (4.1%)	3.9
	法学部	1,970 (26.9%)	2,453 (33.5%)	1,964 (26.8%)	555 (7.6%)	379 (5.2%)	3.7
	国際関係学部	1,213 (35.9%)	1,199 (35.5%)	663 (19.6%)	212 (6.3%)	94 (2.8%)	4.0
	経営学部	1,536 (26.2%)	1,929 (33.0%)	1,613 (27.6%)	494 (8.4%)	281 (4.8%)	3.7
	環境創造学部	680 (24.9%)	879 (32.1%)	769 (28.1%)	247 (9.0%)	161 (5.9%)	3.6
	ｽﾎﾟｰﾂ・健康科学部	1,584 (35.9%)	1,369 (31.0%)	1,005 (22.8%)	282 (6.4%)	171 (3.9%)	3.9
	全学集計	15,923 (32.7%)	15,962 (32.8%)	11,414 (23.4%)	3,322 (6.8%)	2,076 (4.3%)	3.8

＜評価帯グラフ＞

2015年度



学部別【項目別集計】

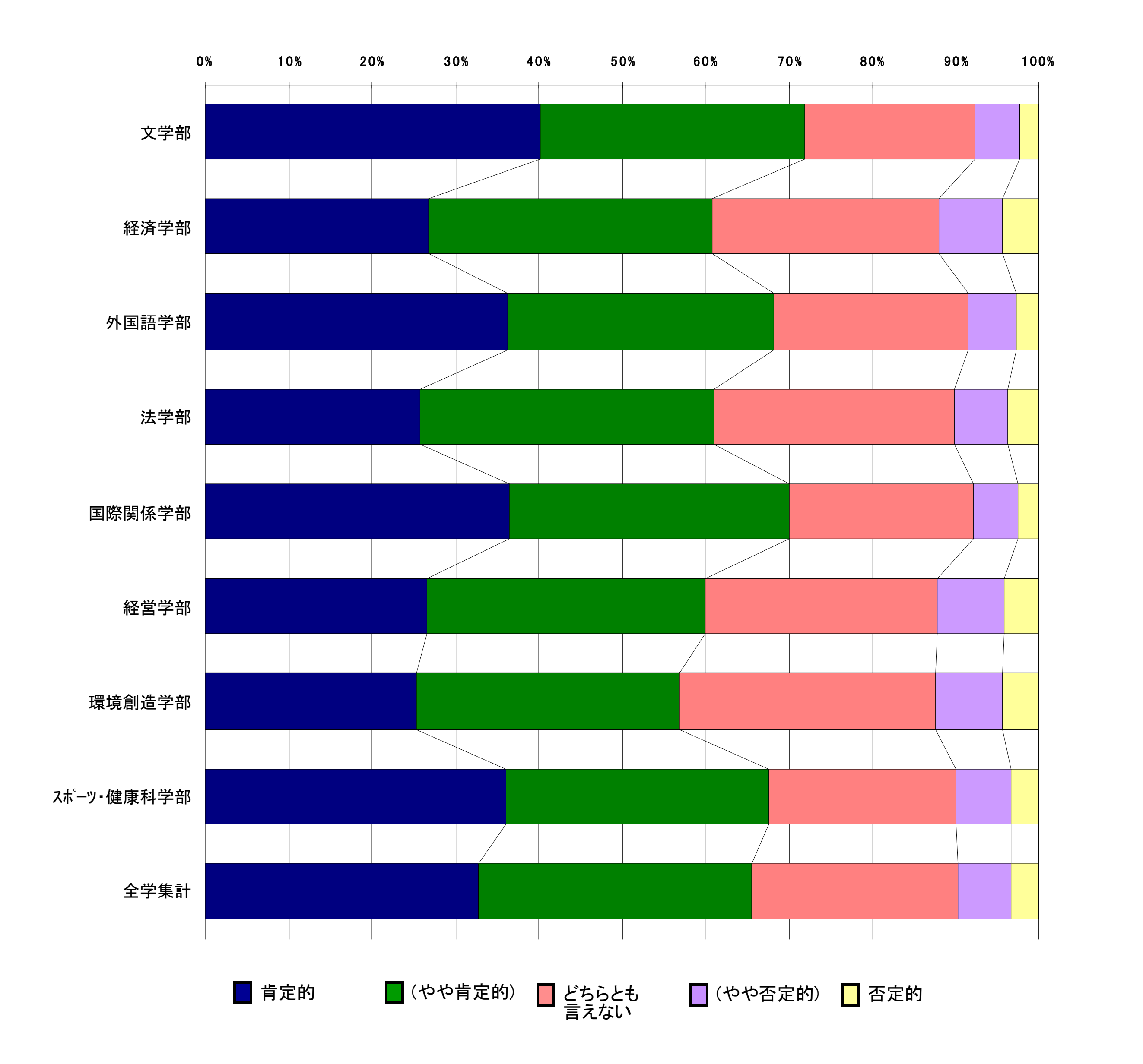
学年：　全学年

ⅡQ10 授業進行の速度は適切でしたか。　　（人）

実施年度	項目	肯定的	（やや肯定的）	どちらとも言えない	（やや否定的）	否定的	平均
2015年度	文学部	4,770 (40.3%)	3,751 (31.7%)	2,424 (20.5%)	623 (5.3%)	272 (2.3%)	4.0
	経済学部	1,558 (26.8%)	1,974 (33.9%)	1,590 (27.3%)	437 (7.5%)	257 (4.4%)	3.7
	外国語学部	2,657 (36.2%)	2,351 (32.0%)	1,706 (23.2%)	427 (5.8%)	201 (2.7%)	3.9
	法学部	1,893 (25.9%)	2,571 (35.1%)	2,110 (28.8%)	471 (6.4%)	273 (3.7%)	3.7
	国際関係学部	1,232 (36.4%)	1,136 (33.6%)	752 (22.2%)	180 (5.3%)	82 (2.4%)	4.0
	経営学部	1,555 (26.6%)	1,960 (33.5%)	1,632 (27.9%)	469 (8.0%)	237 (4.0%)	3.7
	環境創造学部	693 (25.3%)	863 (31.5%)	842 (30.8%)	221 (8.1%)	119 (4.3%)	3.7
	ｽﾎﾟｰﾂ・健康科学部	1,590 (36.1%)	1,391 (31.6%)	991 (22.5%)	290 (6.6%)	143 (3.2%)	3.9
	全学集計	15,948 (32.8%)	15,997 (32.9%)	12,047 (24.7%)	3,118 (6.4%)	1,584 (3.3%)	3.9

＜評価帯グラフ＞

2015年度



学部別【項目別集計】

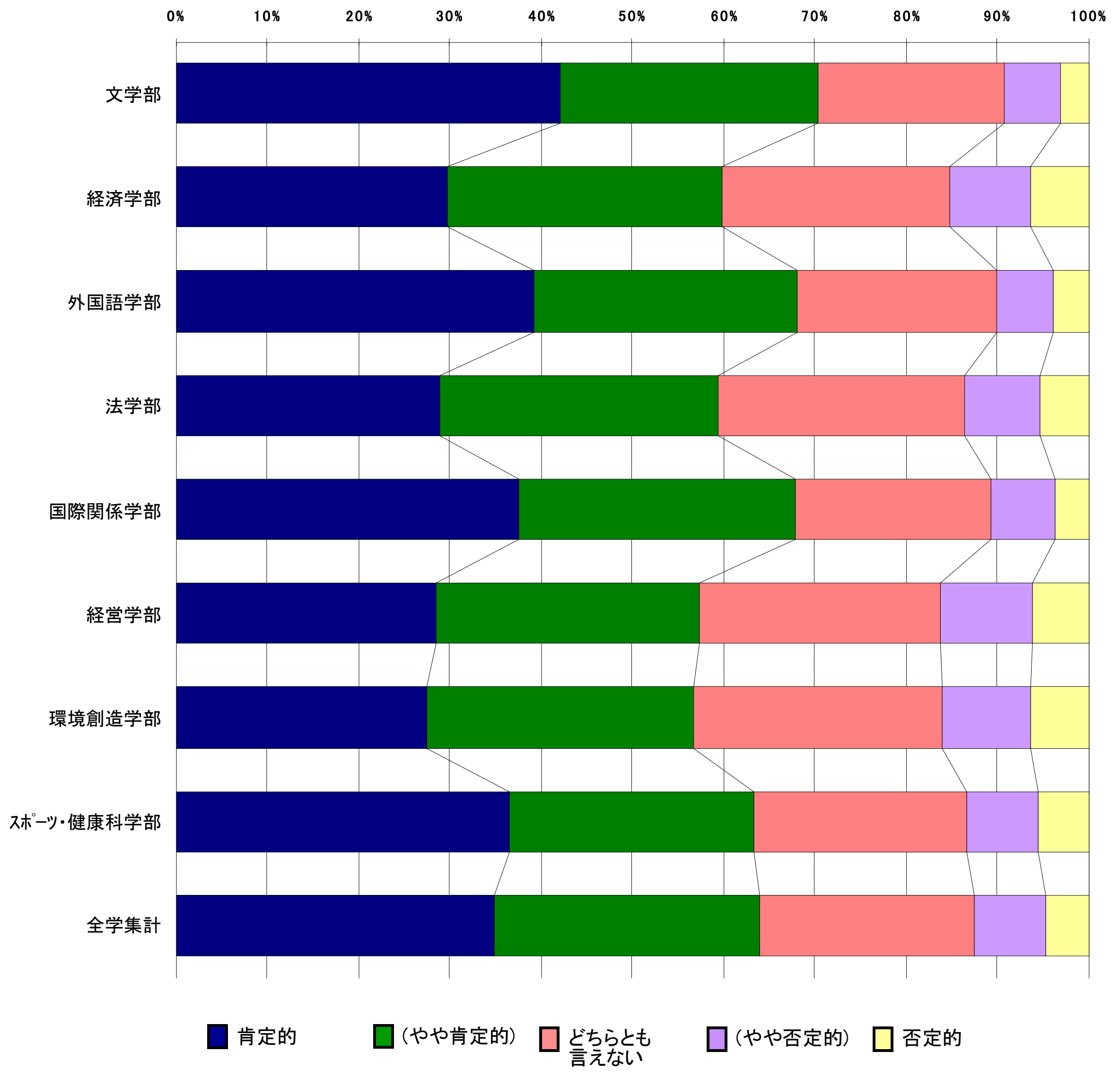
学年：　全学年

ⅡQ11 板書の文字やスクリーンの画面は見やすかったですか。　（人）

実施年度	項目	肯定的	（やや肯定的）	どちらとも言えない	（やや否定的）	否定的	平均
2015年度	文学部	4,978 (42.1%)	3,349 (28.3%)	2,403 (20.3%)	743 (6.3%)	357 (3.0%)	4.0
	経済学部	1,730 (29.8%)	1,752 (30.1%)	1,443 (24.8%)	519 (8.9%)	371 (6.4%)	3.7
	外国語学部	2,881 (39.3%)	2,110 (28.7%)	1,606 (21.9%)	458 (6.2%)	285 (3.9%)	3.9
	法学部	2,119 (29.0%)	2,220 (30.3%)	1,975 (27.0%)	607 (8.3%)	396 (5.4%)	3.7
	国際関係学部	1,272 (37.6%)	1,023 (30.2%)	727 (21.5%)	235 (6.9%)	128 (3.8%)	3.9
	経営学部	1,670 (28.5%)	1,687 (28.8%)	1,542 (26.3%)	585 (10.0%)	368 (6.3%)	3.6
	環境創造学部	753 (27.5%)	801 (29.3%)	743 (27.1%)	268 (9.8%)	173 (6.3%)	3.6
	ｽﾎﾟｰﾂ・健康科学部	1,609 (36.5%)	1,186 (26.9%)	1,023 (23.2%)	348 (7.9%)	244 (5.5%)	3.8
	全学集計	17,012 (34.9%)	14,128 (29.0%)	11,462 (23.5%)	3,763 (7.7%)	2,322 (4.8%)	3.8

＜評価帯グラフ＞

2015年度



学部別【項目別集計】

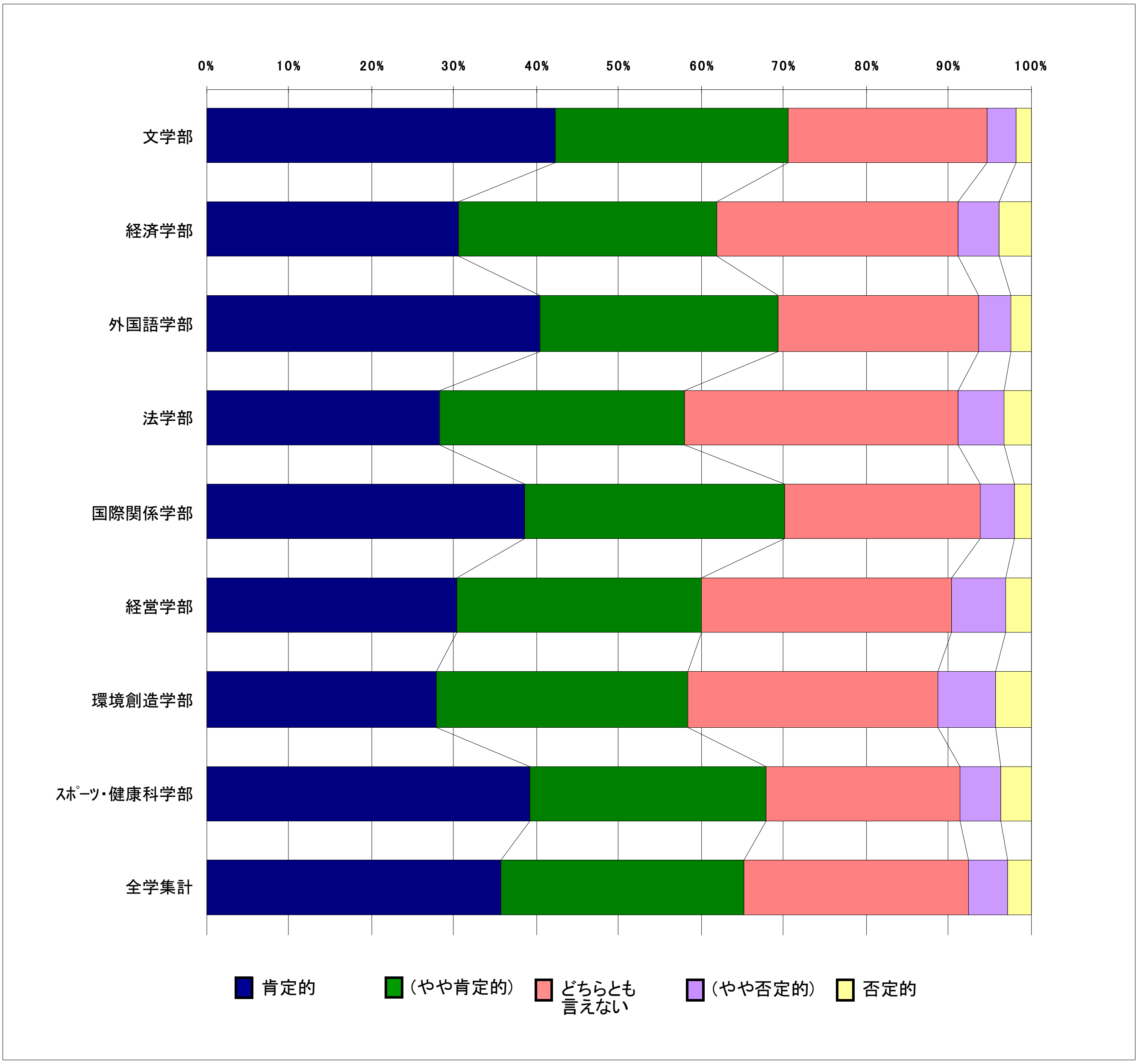
学年：　全学年

ⅡQ12 教員の教材･機器の使い方は適切でしたか。　（人）

実施年度	項目	肯定的	（やや肯定的）	どちらとも言えない	（やや否定的）	否定的	平均
2015年度	文学部	4,985 (42.2%)	3,359 (28.4%)	2,835 (24.0%)	423 (3.6%)	219 (1.9%)	4.1
	経済学部	1,770 (30.4%)	1,826 (31.4%)	1,704 (29.3%)	286 (4.9%)	229 (3.9%)	3.8
	外国語学部	2,960 (40.3%)	2,131 (29.0%)	1,777 (24.2%)	290 (4.0%)	180 (2.5%)	4.0
	法学部	2,064 (28.2%)	2,179 (29.8%)	2,424 (33.2%)	401 (5.5%)	244 (3.3%)	3.7
	国際関係学部	1,302 (38.5%)	1,070 (31.7%)	799 (23.6%)	141 (4.2%)	68 (2.0%)	4.0
	経営学部	1,778 (30.4%)	1,733 (29.6%)	1,775 (30.4%)	377 (6.4%)	184 (3.1%)	3.8
	環境創造学部	762 (27.9%)	833 (30.4%)	831 (30.4%)	189 (6.9%)	121 (4.4%)	3.7
	ｽﾎﾟｰﾂ・健康科学部	1,725 (39.1%)	1,269 (28.8%)	1,033 (23.4%)	221 (5.0%)	162 (3.7%)	3.9
	全学集計	17,346 (35.6%)	14,400 (29.6%)	13,178 (27.1%)	2,328 (4.8%)	1,407 (2.9%)	3.9

＜評価帯グラフ＞

2015年度



学部別【項目別集計】

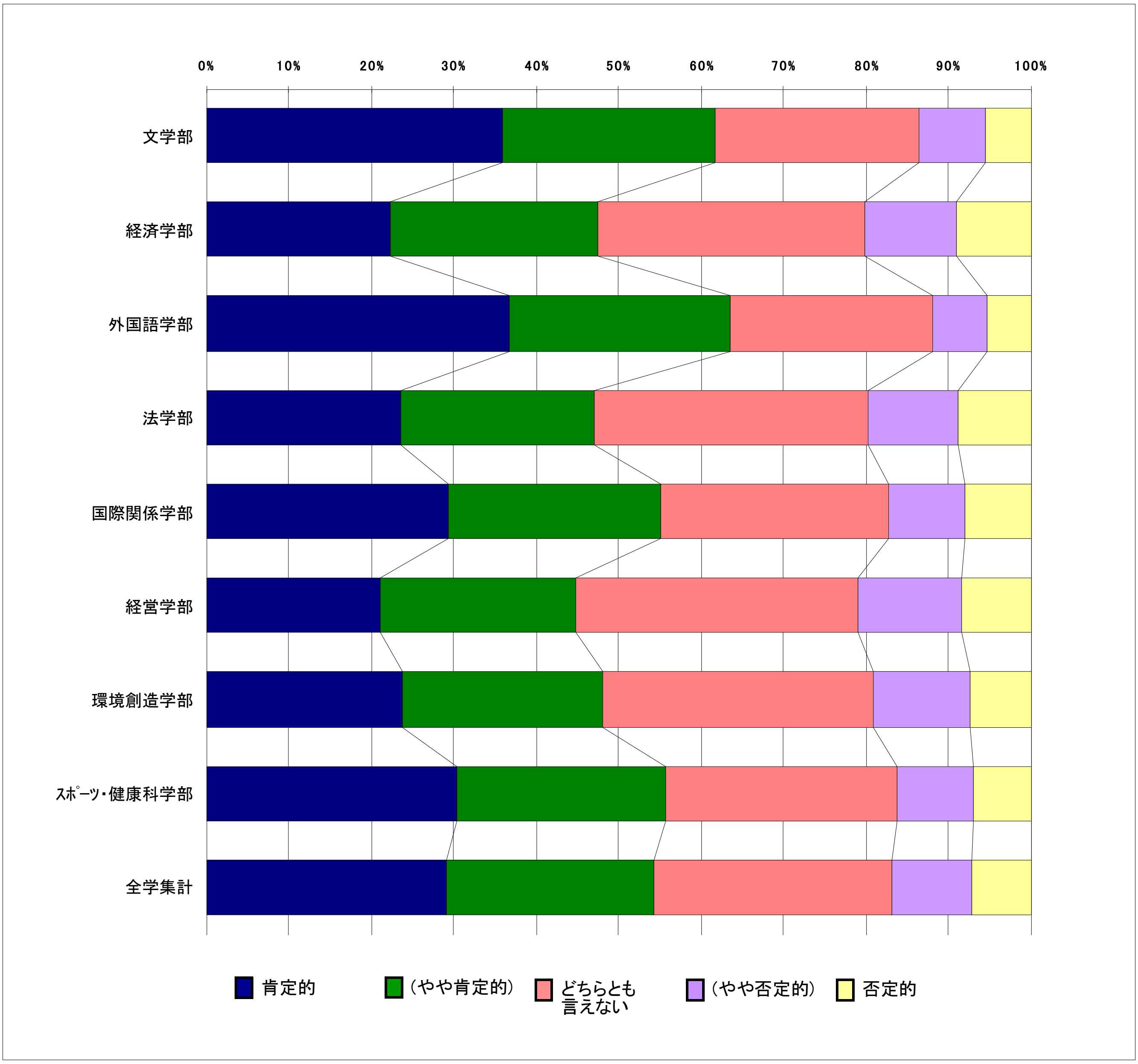
学年： 全学年

ⅡQ13 質問、発言など、学生の積極的な参加の機会がありましたか。 （人）

実施年度	項目	肯定的	（やや肯定的）	どちらとも言えない	（やや否定的）	否定的	平均
2015年度	文学部	4,253 (35.9%)	3,042 (25.7%)	2,921 (24.7%)	961 (8.1%)	660 (5.6%)	3.8
	経済学部	1,289 (22.2%)	1,466 (25.2%)	1,885 (32.4%)	640 (11.0%)	531 (9.1%)	3.4
	外国語学部	2,687 (36.6%)	1,971 (26.9%)	1,797 (24.5%)	495 (6.7%)	388 (5.3%)	3.8
	法学部	1,713 (23.4%)	1,721 (23.5%)	2,435 (33.3%)	803 (11.0%)	647 (8.8%)	3.4
	国際関係学部	993 (29.4%)	867 (25.6%)	935 (27.6%)	318 (9.4%)	270 (8.0%)	3.6
	経営学部	1,225 (21.0%)	1,386 (23.7%)	2,009 (34.4%)	727 (12.4%)	499 (8.5%)	3.4
	環境創造学部	650 (23.8%)	662 (24.2%)	897 (32.8%)	325 (11.9%)	202 (7.4%)	3.5
	ｽﾎﾟｰﾂ・健康科学部	1,336 (30.3%)	1,119 (25.4%)	1,239 (28.1%)	407 (9.2%)	307 (7.0%)	3.6
	全学集計	14,146 (29.1%)	12,234 (25.1%)	14,118 (29.0%)	4,676 (9.6%)	3,504 (7.2%)	3.6

＜評価帯グラフ＞

2015年度



学部別【項目別集計】

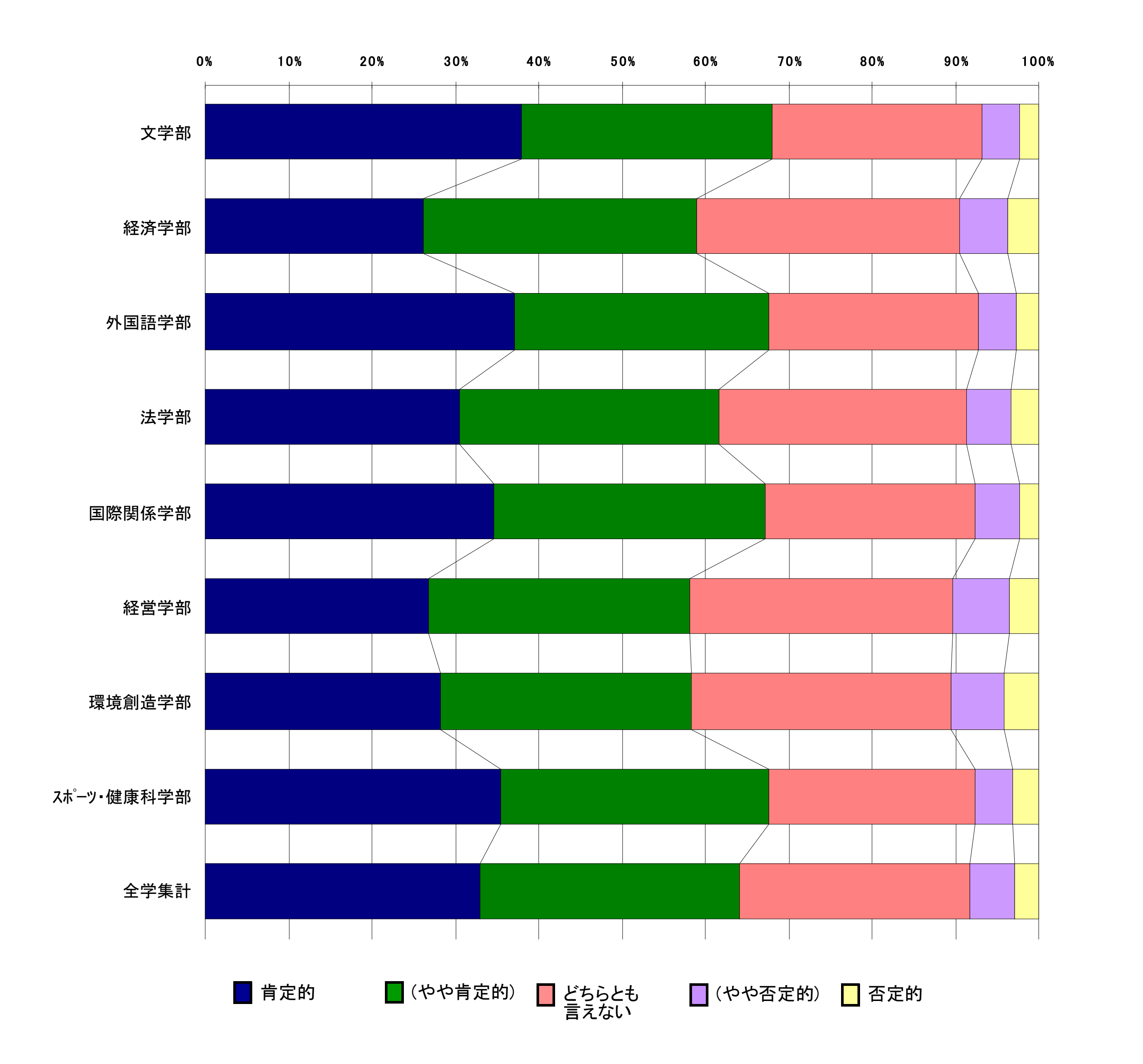
学年：　全学年

ⅡQ14 学生の私語など不適切な授業態度に対して、教員の対応は適切でしたか。　（人）

実施年度	項目	肯定的	（やや肯定的）	どちらとも言えない	（やや否定的）	否定的	平均
2015年度	文学部	4,498 (38.0%)	3,565 (30.1%)	2,973 (25.1%)	538 (4.5%)	264 (2.2%)	4.0
	経済学部	1,521 (26.2%)	1,901 (32.7%)	1,837 (31.6%)	337 (5.8%)	217 (3.7%)	3.7
	外国語学部	2,716 (37.0%)	2,252 (30.7%)	1,840 (25.1%)	339 (4.6%)	191 (2.6%)	3.9
	法学部	2,225 (30.4%)	2,281 (31.2%)	2,170 (29.7%)	395 (5.4%)	242 (3.3%)	3.8
	国際関係学部	1,174 (34.7%)	1,101 (32.6%)	849 (25.1%)	178 (5.3%)	80 (2.4%)	3.9
	経営学部	1,571 (26.9%)	1,827 (31.2%)	1,847 (31.6%)	404 (6.9%)	202 (3.5%)	3.7
	環境創造学部	771 (28.2%)	826 (30.2%)	850 (31.1%)	177 (6.5%)	112 (4.1%)	3.7
	ｽﾎﾟｰﾂ・健康科学部	1,560 (35.4%)	1,423 (32.3%)	1,085 (24.6%)	207 (4.7%)	132 (3.0%)	3.9
	全学集計	16,036 (32.9%)	15,176 (31.2%)	13,451 (27.6%)	2,575 (5.3%)	1,440 (3.0%)	3.9

＜評価帯グラフ＞

2015年度



学部別【項目別集計】

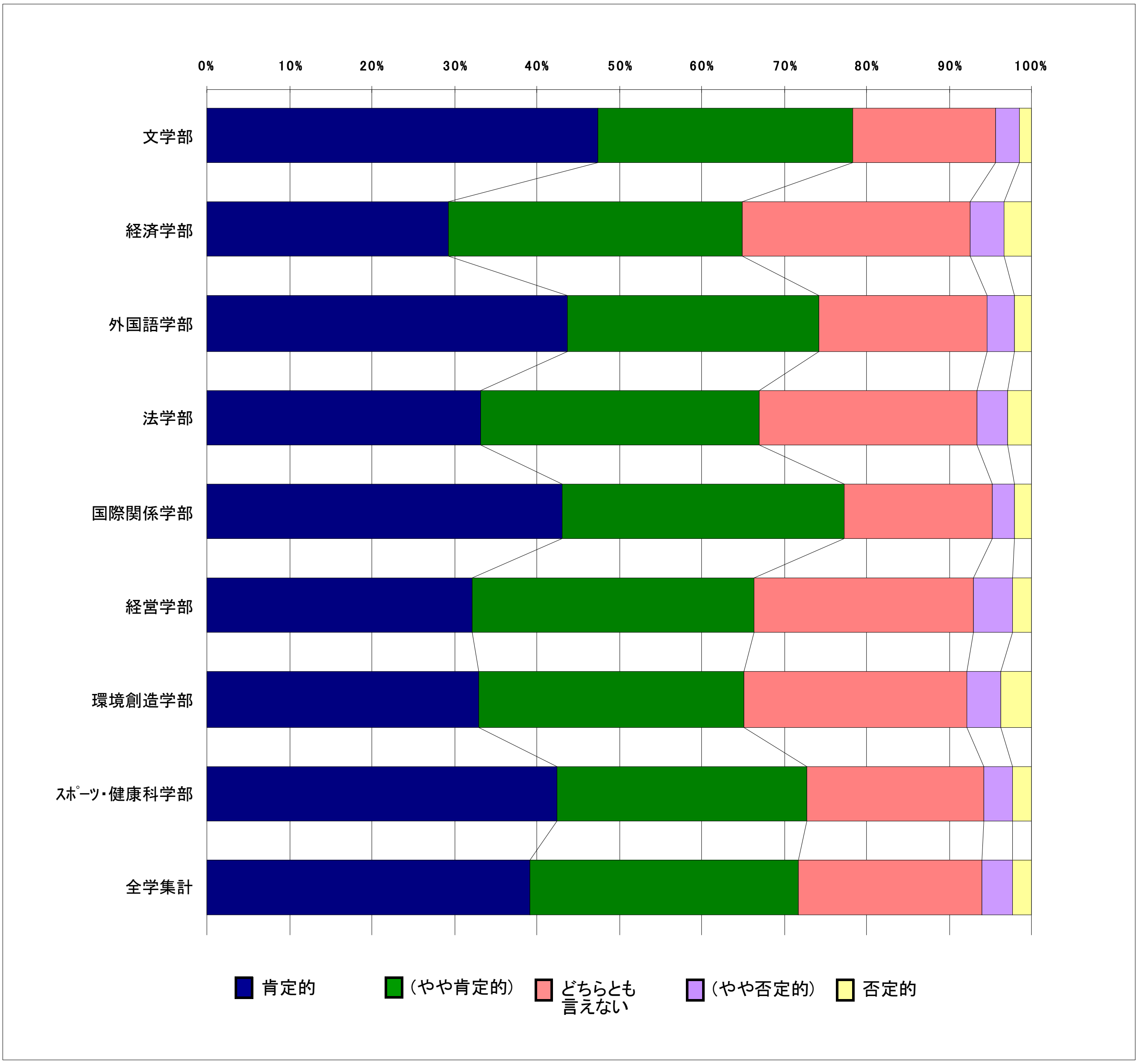
学年：　全学年

ⅡQ15 教員の授業に対する熱意を感じましたか。　（人）

実施年度	項目	肯定的	（やや肯定的）	どちらとも言えない	（やや否定的）	否定的	平均
2015年度	文学部	5,609 (47.4%)	3,656 (30.9%)	2,058 (17.4%)	341 (2.9%)	174 (1.5%)	4.2
	経済学部	1,703 (29.3%)	2,071 (35.7%)	1,604 (27.6%)	244 (4.2%)	187 (3.2%)	3.8
	外国語学部	3,204 (43.7%)	2,246 (30.6%)	1,499 (20.4%)	236 (3.2%)	154 (2.1%)	4.1
	法学部	2,430 (33.2%)	2,473 (33.8%)	1,933 (26.4%)	270 (3.7%)	210 (2.9%)	3.9
	国際関係学部	1,459 (43.1%)	1,159 (34.3%)	604 (17.9%)	94 (2.8%)	67 (2.0%)	4.1
	経営学部	1,886 (32.3%)	2,000 (34.2%)	1,545 (26.4%)	282 (4.8%)	132 (2.3%)	3.9
	環境創造学部	902 (33.0%)	880 (32.2%)	740 (27.1%)	111 (4.1%)	102 (3.7%)	3.9
	ｽﾎﾟｰﾂ・健康科学部	1,873 (42.5%)	1,331 (30.2%)	943 (21.4%)	157 (3.6%)	101 (2.3%)	4.1
	全学集計	19,066 (39.2%)	15,816 (32.5%)	10,926 (22.4%)	1,735 (3.6%)	1,127 (2.3%)	4.0

＜評価帯グラフ＞

2015年度



学部別【項目別集計】

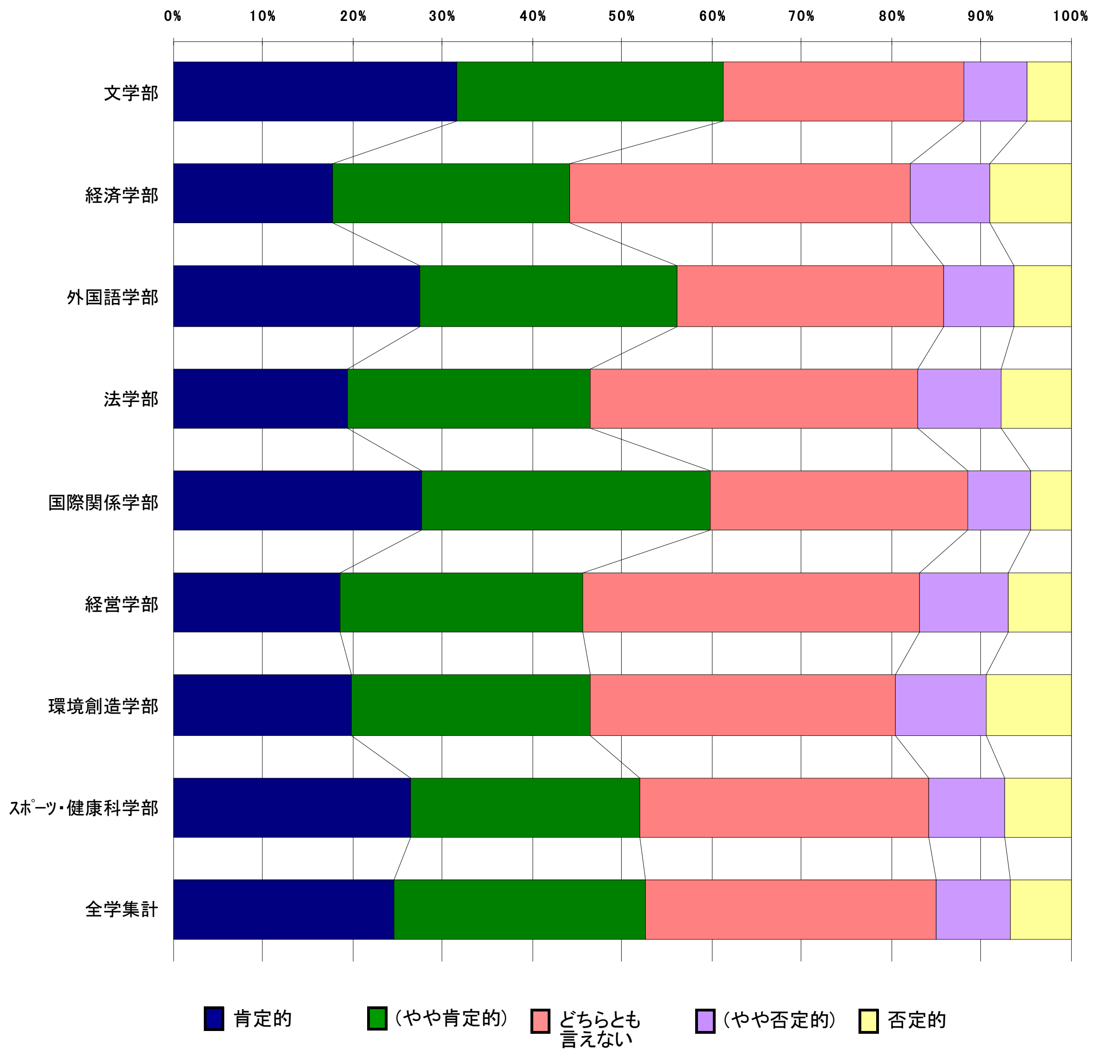
学年：　全学年

ⅡQ16 この授業を毎回楽しみにしていましたか。　（人）

実施年度	項目	肯定的	（やや肯定的）	どちらとも言えない	（やや否定的）	否定的	平均
2015年度	文学部	3,730 (31.6%)	3,486 (29.5%)	3,165 (26.8%)	834 (7.1%)	587 (5.0%)	3.8
	経済学部	1,028 (17.8%)	1,527 (26.4%)	2,196 (37.9%)	517 (8.9%)	521 (9.0%)	3.3
	外国語学部	1,998 (27.4%)	2,092 (28.6%)	2,181 (29.9%)	563 (7.7%)	471 (6.4%)	3.6
	法学部	1,416 (19.4%)	1,965 (27.0%)	2,658 (36.5%)	679 (9.3%)	569 (7.8%)	3.4
	国際関係学部	936 (27.7%)	1,083 (32.1%)	966 (28.6%)	242 (7.2%)	150 (4.4%)	3.7
	経営学部	1,082 (18.6%)	1,576 (27.0%)	2,189 (37.5%)	576 (9.9%)	407 (7.0%)	3.4
	環境創造学部	539 (19.8%)	727 (26.6%)	928 (34.0%)	274 (10.0%)	261 (9.6%)	3.4
	ｽﾎﾟｰﾂ・健康科学部	1,161 (26.4%)	1,124 (25.6%)	1,408 (32.1%)	374 (8.5%)	323 (7.4%)	3.6
	全学集計	11,890 (24.5%)	13,580 (28.0%)	15,691 (32.3%)	4,059 (8.4%)	3,289 (6.8%)	3.6

＜評価帯グラフ＞

2015年度



学部別【項目別集計】

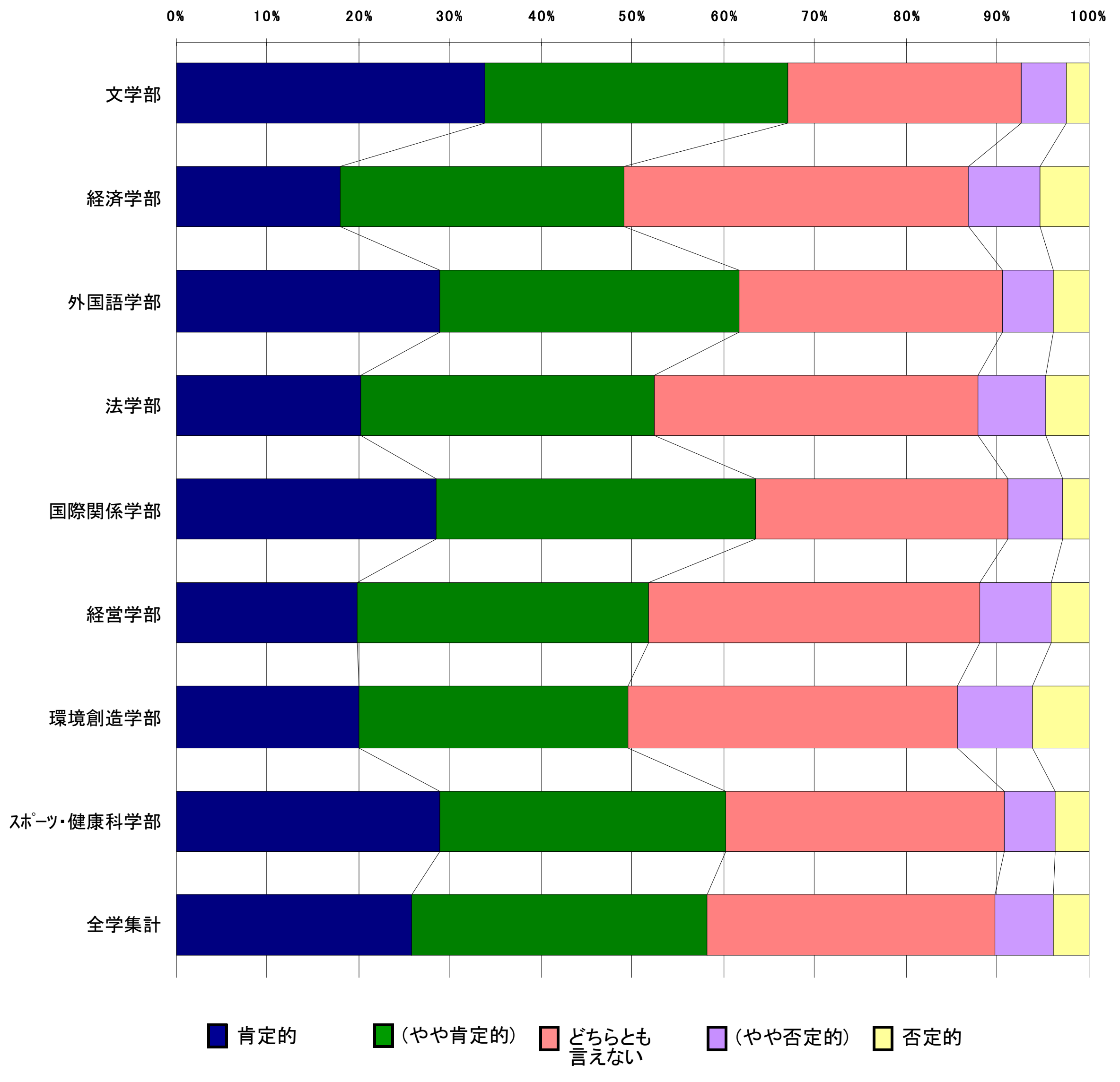
学年： 全学年

ⅢQ17 この授業をとおして、自分にとって新しい考え方や発想が身につきましたか。 （人）

実施年度	項目	肯定的	（やや肯定的）	どちらとも言えない	（やや否定的）	否定的	平均
2015年度	文学部	3,981 (33.8%)	3,924 (33.3%)	2,993 (25.4%)	592 (5.0%)	293 (2.5%)	3.9
	経済学部	1,039 (17.9%)	1,801 (31.1%)	2,196 (37.9%)	445 (7.7%)	316 (5.5%)	3.5
	外国語学部	2,105 (28.8%)	2,410 (33.0%)	2,102 (28.7%)	415 (5.7%)	281 (3.8%)	3.8
	法学部	1,472 (20.2%)	2,343 (32.2%)	2,586 (35.5%)	539 (7.4%)	344 (4.7%)	3.6
	国際関係学部	961 (28.5%)	1,179 (35.0%)	931 (27.7%)	198 (5.9%)	98 (2.9%)	3.8
	経営学部	1,149 (19.7%)	1,860 (31.9%)	2,120 (36.4%)	451 (7.7%)	245 (4.2%)	3.6
	環境創造学部	544 (20.0%)	806 (29.6%)	981 (36.0%)	227 (8.3%)	166 (6.1%)	3.5
	ｽﾎﾟｰﾂ・健康科学部	1,273 (28.9%)	1,376 (31.3%)	1,340 (30.4%)	248 (5.6%)	164 (3.7%)	3.8
	全学集計	12,524 (25.8%)	15,699 (32.4%)	15,249 (31.4%)	3,115 (6.4%)	1,907 (3.9%)	3.7

＜評価帯グラフ＞

2015年度



学部別【項目別集計】

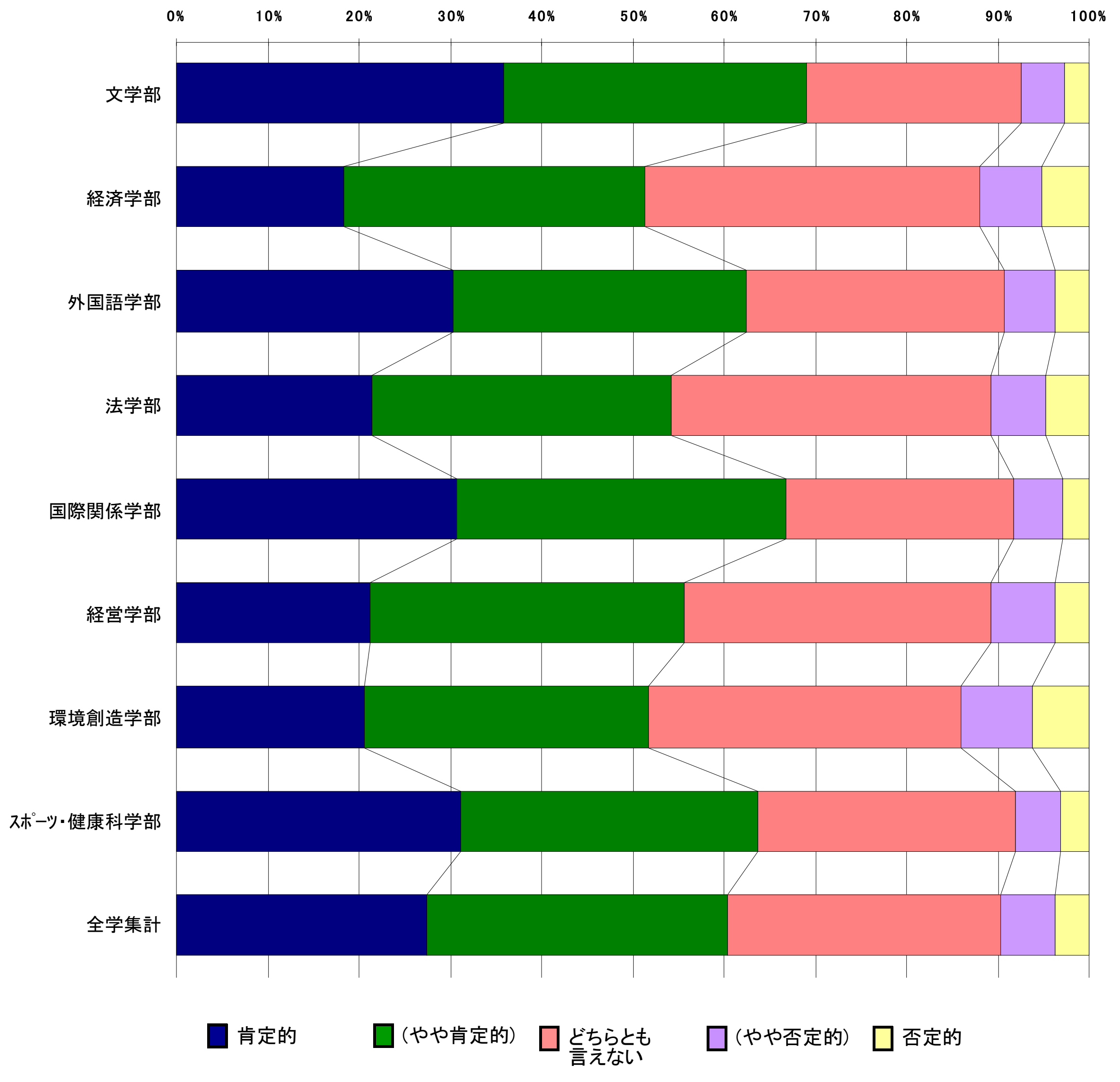
学年：　全学年

ⅢQ18 この授業で扱われた分野への関心が高まりましたか。　（人）

実施年度	項目	肯定的	（やや肯定的）	どちらとも言えない	（やや否定的）	否定的	平均
2015年度	文学部	4,226 (35.9%)	3,916 (33.2%)	2,775 (23.5%)	554 (4.7%)	313 (2.7%)	3.9
	経済学部	1,062 (18.3%)	1,910 (32.9%)	2,130 (36.7%)	401 (6.9%)	297 (5.1%)	3.5
	外国語学部	2,219 (30.3%)	2,356 (32.2%)	2,065 (28.2%)	409 (5.6%)	265 (3.6%)	3.8
	法学部	1,562 (21.4%)	2,385 (32.7%)	2,550 (35.0%)	441 (6.1%)	346 (4.8%)	3.6
	国際関係学部	1,032 (30.7%)	1,217 (36.1%)	840 (24.9%)	181 (5.4%)	97 (2.9%)	3.9
	経営学部	1,235 (21.2%)	2,007 (34.5%)	1,953 (33.5%)	413 (7.1%)	215 (3.7%)	3.6
	環境創造学部	562 (20.6%)	846 (31.0%)	938 (34.4%)	213 (7.8%)	167 (6.1%)	3.5
	ｽﾎﾟｰﾂ・健康科学部	1,367 (31.1%)	1,438 (32.7%)	1,243 (28.2%)	218 (5.0%)	136 (3.1%)	3.8
	全学集計	13,265 (27.4%)	16,075 (33.1%)	14,494 (29.9%)	2,830 (5.8%)	1,836 (3.8%)	3.7

＜評価帯グラフ＞

2015年度



学部別【項目別集計】

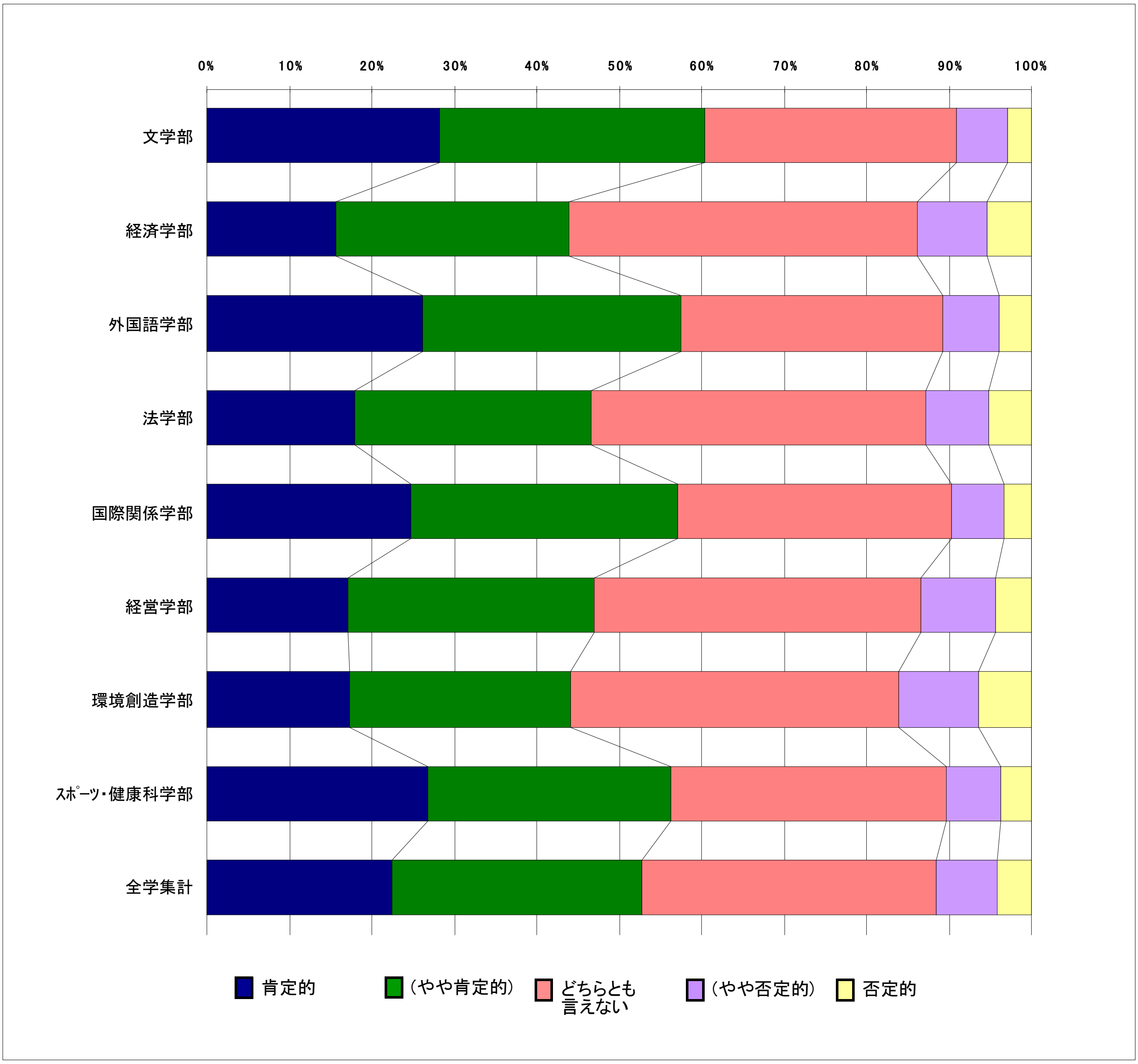
学年：　全学年

ⅢQ19 この授業をとおして、自分で調べ、考える姿勢が身につきましたか。　（人）

実施年度	項目	肯定的	（やや肯定的）	どちらとも言えない	（やや否定的）	否定的	平均
2015年度	文学部	3,324 (28.2%)	3,781 (32.1%)	3,607 (30.6%)	724 (6.1%)	343 (2.9%)	3.8
	経済学部	910 (15.7%)	1,633 (28.2%)	2,449 (42.2%)	496 (8.6%)	310 (5.3%)	3.4
	外国語学部	1,920 (26.3%)	2,287 (31.3%)	2,329 (31.8%)	498 (6.8%)	279 (3.8%)	3.7
	法学部	1,306 (17.9%)	2,081 (28.6%)	2,956 (40.6%)	559 (7.7%)	377 (5.2%)	3.5
	国際関係学部	834 (24.8%)	1,089 (32.4%)	1,115 (33.1%)	217 (6.4%)	111 (3.3%)	3.7
	経営学部	993 (17.1%)	1,749 (30.0%)	2,297 (39.5%)	530 (9.1%)	253 (4.3%)	3.5
	環境創造学部	474 (17.4%)	729 (26.7%)	1,086 (39.8%)	261 (9.6%)	176 (6.5%)	3.4
	ｽﾎﾟｰﾂ・健康科学部	1,181 (26.9%)	1,296 (29.5%)	1,471 (33.5%)	285 (6.5%)	164 (3.7%)	3.7
	全学集計	10,942 (22.6%)	14,645 (30.2%)	17,310 (35.7%)	3,570 (7.4%)	2,013 (4.2%)	3.6

＜評価帯グラフ＞

2015年度



学部別【項目別集計】

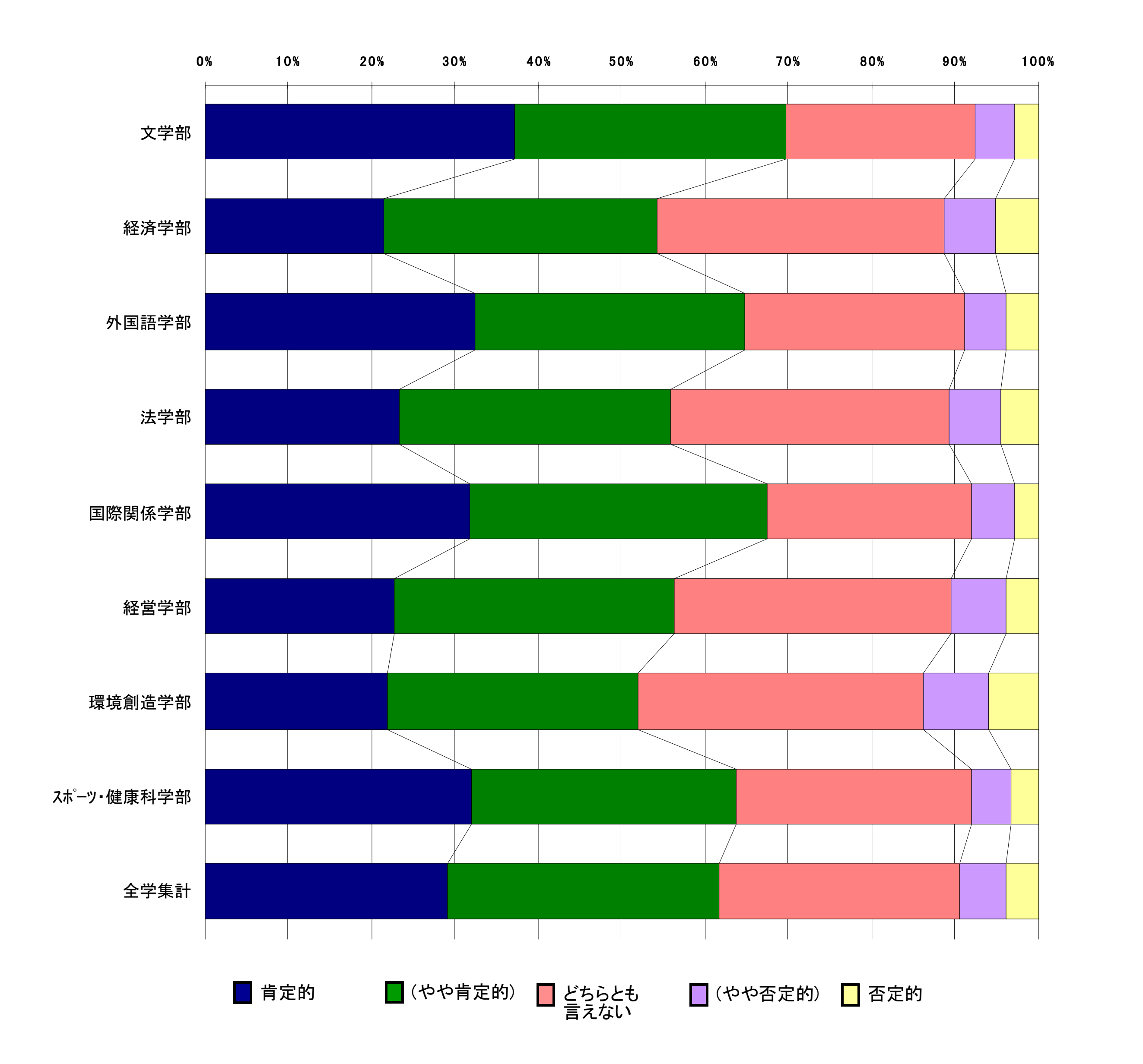
学年： 全学年

ⅢQ20 この授業を総合的にみて、満足できましたか。 （人）

実施年度	項目	肯定的	（やや肯定的）	どちらとも言えない	（やや否定的）	否定的	平均
2015年度	文学部	4,359 (37.1%)	3,825 (32.6%)	2,671 (22.7%)	545 (4.6%)	341 (2.9%)	4.0
	経済学部	1,236 (21.4%)	1,900 (32.9%)	1,994 (34.5%)	359 (6.2%)	294 (5.1%)	3.6
	外国語学部	2,352 (32.3%)	2,370 (32.5%)	1,914 (26.3%)	371 (5.1%)	278 (3.8%)	3.8
	法学部	1,686 (23.2%)	2,372 (32.7%)	2,429 (33.5%)	445 (6.1%)	328 (4.5%)	3.6
	国際関係学部	1,068 (31.8%)	1,198 (35.7%)	821 (24.5%)	174 (5.2%)	95 (2.8%)	3.9
	経営学部	1,311 (22.6%)	1,959 (33.8%)	1,922 (33.1%)	385 (6.6%)	225 (3.9%)	3.6
	環境創造学部	594 (21.9%)	817 (30.1%)	932 (34.3%)	213 (7.8%)	160 (5.9%)	3.5
	ｽﾎﾟｰﾂ・健康科学部	1,402 (32.0%)	1,395 (31.8%)	1,237 (28.2%)	210 (4.8%)	143 (3.3%)	3.8
	全学集計	14,008 (29.0%)	15,836 (32.8%)	13,920 (28.8%)	2,702 (5.6%)	1,864 (3.9%)	3.8

＜評価帯グラフ＞

2015年度



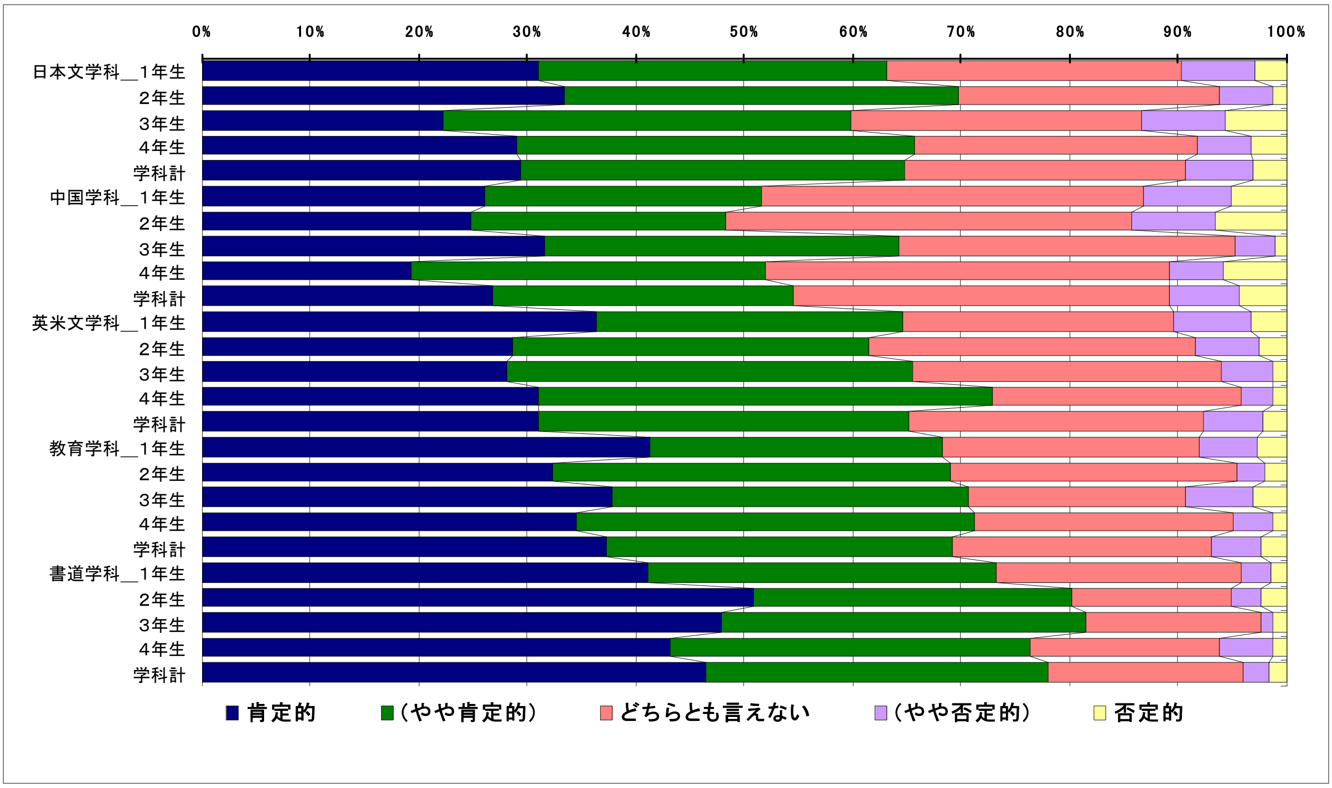
D.学年別集計
(学部・学科別集計)

学部学科別【学年別集計】
学部　　文学部

総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）
[Q17：新しい自己発想、Q18：分野への関心、Q19：自分で考える姿勢、Q20：満足度]

実施年度	学生の所属		肯定的	（やや肯定的）	どちらとも言えない	（やや否定的）	否定的	平均
2015年度	日本文学科	１年生	1,306（30.9%）	1,361（32.2%）	1,144（27.1%）	287 （6.8%）	124 （2.9%）	3.8
		２年生	1,578（33.3%）	1,725（36.4%）	1,138（24.0%）	230 （4.9%）	62 （1.3%）	4.0
		３年生	818（22.3%）	1,382（37.6%）	982（26.7%）	285 （7.8%）	209 （5.7%）	3.6
		４年生	278（29.0%）	352（36.7%）	251（26.1%）	47 （4.9%）	32 （3.3%）	3.8
		学科計	3,980（29.3%）	4,820（35.5%）	3,515（25.9%）	849 （6.2%）	427 （3.1%）	3.8
	中国学科	１年生	462（26.0%）	454（25.6%）	624（35.2%）	144 （8.1%）	91 （5.1%）	3.6
		２年生	479（24.7%）	454（23.4%）	726（37.5%）	151 （7.8%）	127 （6.6%）	3.5
		３年生	593（31.6%）	614（32.7%）	582（31.0%）	68 （3.6%）	22 （1.2%）	3.9
		４年生	105（19.3%）	177（32.6%）	202（37.2%）	27 （5.0%）	32 （5.9%）	3.5
		学科計	1,639（26.7%）	1,699（27.7%）	2,134（34.8%）	390 （6.4%）	272 （4.4%）	3.7
	英米文学科	１年生	1,091（36.3%）	850（28.3%）	749（24.9%）	214 （7.1%）	99 （3.3%）	3.9
		２年生	917（28.6%）	1,056（32.9%）	962（30.0%）	189 （5.9%）	82 （2.6%）	3.8
		３年生	747（28.0%）	1,002（37.5%）	756（28.3%）	132 （4.9%）	32 （1.2%）	3.9
		４年生	511（31.0%）	690（41.9%）	378（23.0%）	48 （2.9%）	20 （1.2%）	4.0
		学科計	3,266（31.0%）	3,598（34.2%）	2,845（27.0%）	583 （5.5%）	233 （2.2%）	3.9
	教育学科	１年生	1,541（41.3%）	1,004（26.9%）	886（23.8%）	197 （5.3%）	102 （2.7%）	4.0
		２年生	889（32.4%）	1,008（36.7%）	725（26.4%）	69 （2.5%）	56 （2.0%）	3.9
		３年生	711（37.9%）	614（32.7%）	378（20.1%）	114 （6.1%）	60 （3.2%）	4.0
		４年生	311（34.6%）	329（36.6%）	216（24.0%）	33 （3.7%）	11 （1.2%）	4.0
		学科計	3,452（37.3%）	2,955（31.9%）	2,205（23.8%）	413 （4.5%）	229 （2.5%）	4.0
	書道学科	１年生	1,027（41.1%）	803（32.2%）	562（22.5%）	69 （2.8%）	36 （1.4%）	4.1
		２年生	1,357（50.8%）	784（29.4%）	394（14.8%）	72 （2.7%）	64 （2.4%）	4.2
		３年生	961（47.9%）	674（33.6%）	323（16.1%）	24 （1.2%）	25 （1.2%）	4.3
		４年生	126（43.2%）	97（33.2%）	51（17.5%）	14 （4.8%）	4 （1.4%）	4.1
		学科計	3,471（46.5%）	2,358（31.6%）	1,330（17.8%）	179 （2.4%）	129 （1.7%）	4.2
	全学科	１年生	5,427（35.6%）	4,472（29.4%）	3,965（26.0%）	911 （6.0%）	452 （3.0%）	3.9
		２年生	5,220（34.1%）	5,027（32.9%）	3,945（25.8%）	711 （4.6%）	391 （2.6%）	3.9
		３年生	3,830（31.6%）	4,286（35.4%）	3,021（25.0%）	623 （5.1%）	348 （2.9%）	3.9
		４年生	1,331（30.7%）	1,645（37.9%）	1,098（25.3%）	169 （3.9%）	99 （2.3%）	3.9
		学部計	15,808（33.7%）	15,430（32.9%）	12,029（25.6%）	2,414 （5.1%）	1,290 （2.7%）	3.9

＜評価帯グラフ＞
総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）
2015年度

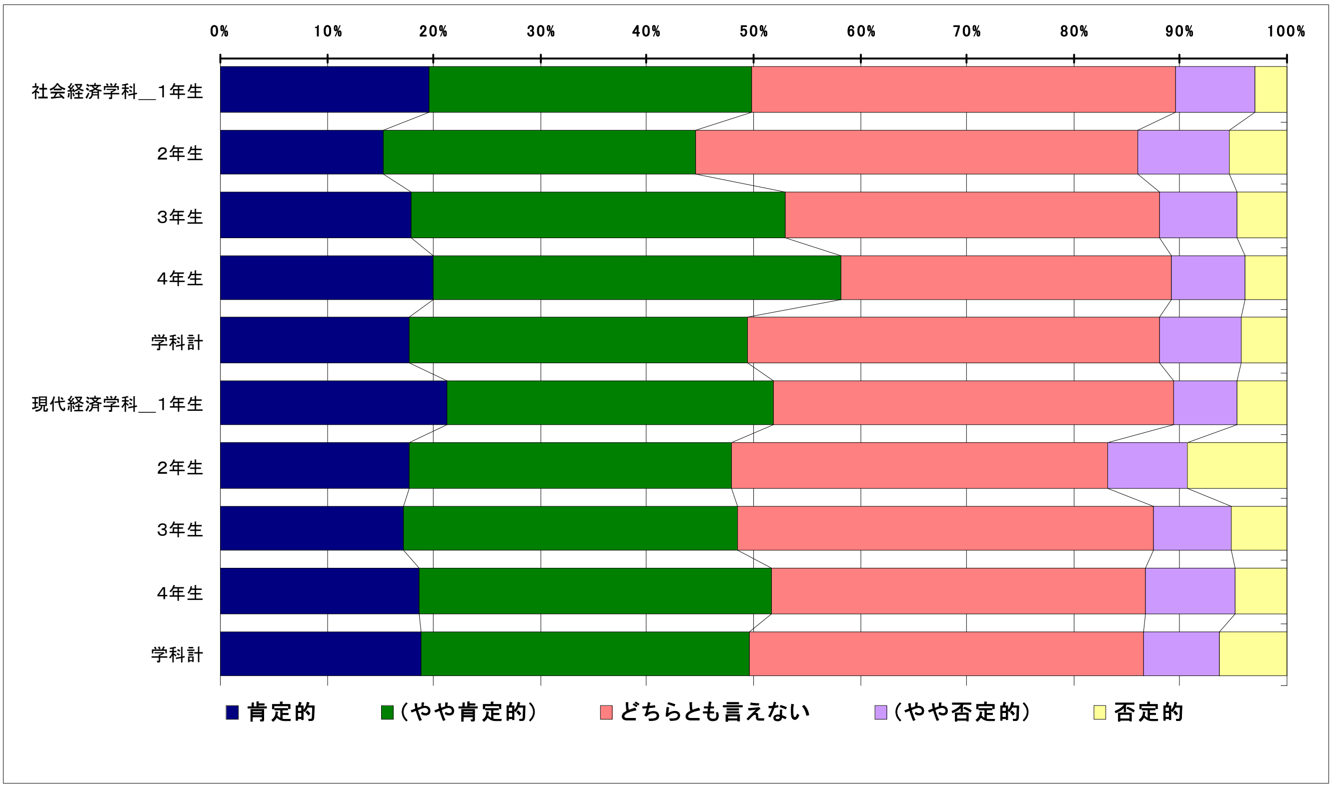


学部学科別【学年別集計】
学部　　経済学部

総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）
[Q17：新しい自己発想、Q18：分野への関心、Q19：自分で考える姿勢、Q20：満足度]

実施年度	学生の所属		肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2015年度	社会経済学科	1年生	907 (19.6%)	1,404 (30.3%)	1,844 (39.8%)	339 (7.3%)	142 (3.1%)	3.6
		2年生	606 (15.2%)	1,169 (29.4%)	1,644 (41.4%)	337 (8.5%)	218 (5.5%)	3.4
		3年生	524 (17.9%)	1,022 (35.0%)	1,029 (35.2%)	213 (7.3%)	134 (4.6%)	3.5
		4年生	155 (19.9%)	298 (38.3%)	242 (31.1%)	54 (6.9%)	30 (3.9%)	3.6
		学科計	2,192 (17.8%)	3,893 (31.6%)	4,759 (38.7%)	943 (7.7%)	524 (4.3%)	3.5
	現代経済学科	1年生	793 (21.2%)	1,141 (30.6%)	1,399 (37.5%)	224 (6.0%)	176 (4.7%)	3.6
		2年生	630 (17.8%)	1,069 (30.1%)	1,254 (35.3%)	263 (7.4%)	332 (9.4%)	3.4
		3年生	461 (17.1%)	844 (31.4%)	1,048 (38.9%)	196 (7.3%)	143 (5.3%)	3.5
		4年生	165 (18.7%)	291 (33.0%)	309 (35.0%)	75 (8.5%)	42 (4.8%)	3.5
		学科計	2,049 (18.9%)	3,345 (30.8%)	4,010 (36.9%)	758 (7.0%)	693 (6.4%)	3.5
	全学科	1年生	1,700 (20.3%)	2,545 (30.4%)	3,243 (38.8%)	563 (6.7%)	318 (3.8%)	3.6
		2年生	1,236 (16.4%)	2,238 (29.8%)	2,898 (38.5%)	600 (8.0%)	550 (7.3%)	3.4
		3年生	985 (17.5%)	1,866 (33.2%)	2,077 (37.0%)	409 (7.3%)	277 (4.9%)	3.5
		4年生	320 (19.3%)	589 (35.5%)	551 (33.2%)	129 (7.8%)	72 (4.3%)	3.6
		学部計	4,241 (18.3%)	7,238 (31.2%)	8,769 (37.9%)	1,701 (7.3%)	1,217 (5.3%)	3.5

＜評価帯グラフ＞
総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）
2015年度

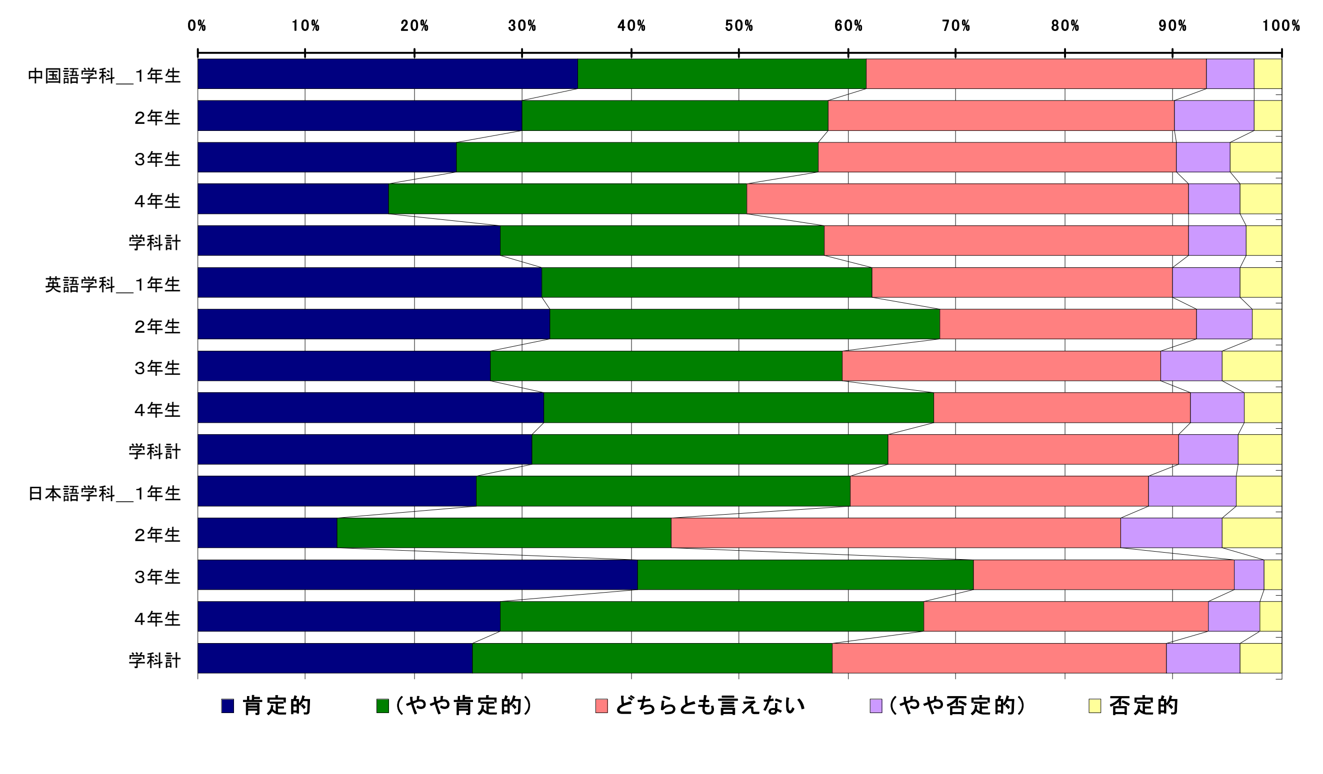


学部学科別【学年別集計】
学部　　外国語学部

総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）
[Q17：新しい自己発想、Q18：分野への関心、Q19：自分で考える姿勢、Q20：満足度]

実施年度	学生の所属		肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2015年度	中国語学科	1年生	705 (35.1%)	533 (26.5%)	629 (31.3%)	91 (4.5%)	50 (2.5%)	3.9
		2年生	386 (30.0%)	363 (28.2%)	411 (31.9%)	94 (7.3%)	33 (2.6%)	3.8
		3年生	403 (23.9%)	563 (33.4%)	557 (33.0%)	84 (5.0%)	81 (4.8%)	3.7
		4年生	169 (17.5%)	319 (33.1%)	393 (40.8%)	46 (4.8%)	37 (3.8%)	3.6
		学科計	1,663 (28.0%)	1,778 (29.9%)	1,990 (33.5%)	315 (5.3%)	201 (3.4%)	3.7
	英語学科	1年生	2,438 (31.7%)	2,337 (30.4%)	2,141 (27.9%)	470 (6.1%)	299 (3.9%)	3.8
		2年生	1,503 (32.5%)	1,661 (36.0%)	1,089 (23.6%)	238 (5.2%)	128 (2.8%)	3.9
		3年生	1,090 (26.9%)	1,321 (32.6%)	1,190 (29.4%)	229 (5.6%)	224 (5.5%)	3.7
		4年生	398 (31.9%)	448 (35.9%)	296 (23.7%)	61 (4.9%)	44 (3.5%)	3.9
		学科計	5,429 (30.8%)	5,767 (32.8%)	4,716 (26.8%)	998 (5.7%)	695 (3.9%)	3.8
	日本語学科	1年生	496 (25.7%)	665 (34.5%)	531 (27.5%)	154 (8.0%)	82 (4.3%)	3.7
		2年生	214 (12.9%)	513 (30.9%)	687 (41.3%)	155 (9.3%)	93 (5.6%)	3.4
		3年生	494 (40.6%)	377 (31.0%)	292 (24.0%)	35 (2.9%)	19 (1.6%)	4.1
		4年生	188 (27.9%)	264 (39.2%)	176 (26.1%)	33 (4.9%)	13 (1.9%)	3.9
		学科計	1,392 (25.4%)	1,819 (33.2%)	1,686 (30.8%)	377 (6.9%)	207 (3.8%)	3.7
	全学科	1年生	3,639 (31.3%)	3,535 (30.4%)	3,301 (28.4%)	715 (6.2%)	431 (3.7%)	3.8
		2年生	2,103 (27.8%)	2,537 (33.5%)	2,187 (28.9%)	487 (6.4%)	254 (3.4%)	3.8
		3年生	1,987 (28.6%)	2,261 (32.5%)	2,039 (29.3%)	348 (5.0%)	324 (4.7%)	3.8
		4年生	755 (26.2%)	1,031 (35.7%)	865 (30.0%)	140 (4.9%)	94 (3.3%)	3.8
		学部計	8,484 (29.2%)	9,364 (32.3%)	8,392 (28.9%)	1,690 (5.8%)	1,103 (3.8%)	3.8

＜評価帯グラフ＞
総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）
2015年度

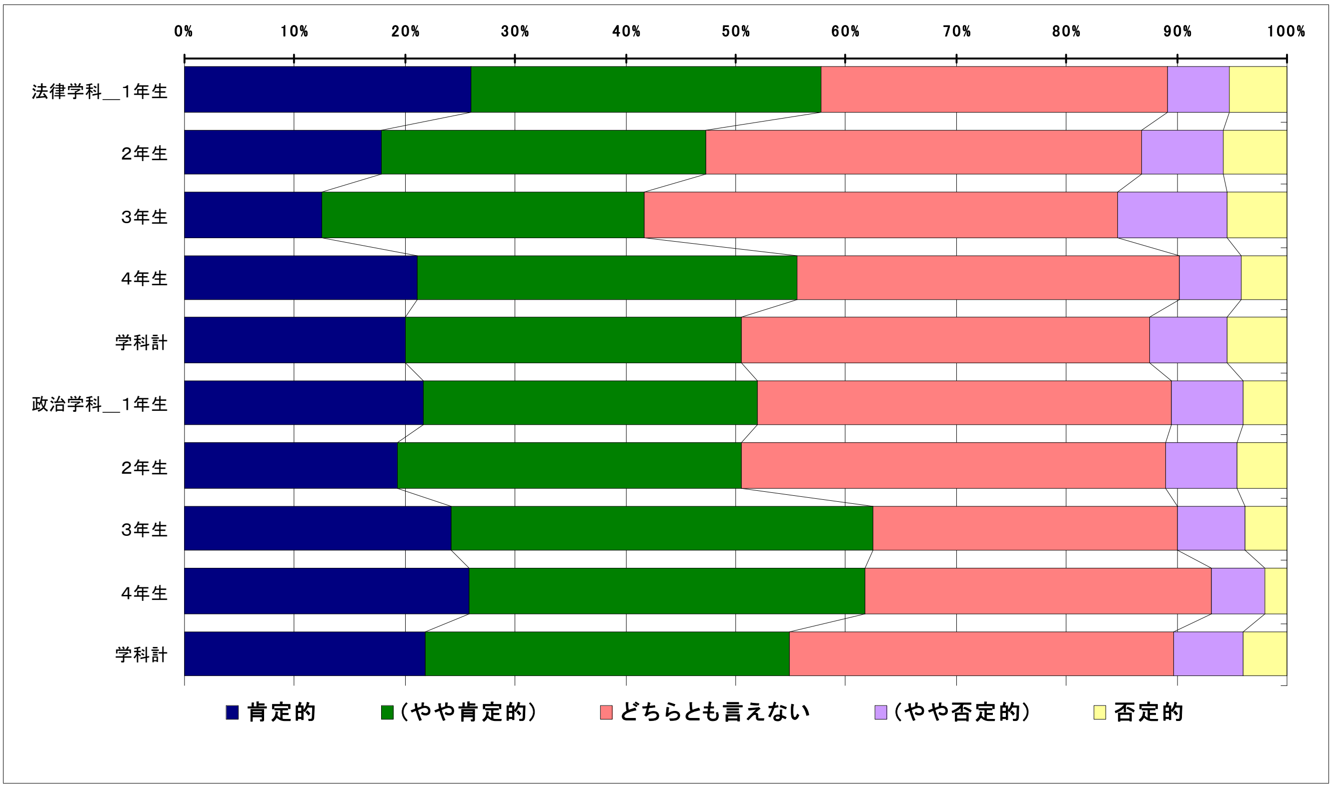


学部学科別【学年別集計】
学部　　法学部

総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）
[Q17：新しい自己発想、Q18：分野への関心、Q19：自分で考える姿勢、Q20：満足度]

実施年度	学生の所属		肯定的	（やや肯定的）	どちらとも言えない	（やや否定的）	否定的	平均
2015年度	法律学科	1年生	1,751（26.1%）	2,123（31.6%）	2,118（31.5%）	374　（5.6%）	348　（5.2%）	3.7
		2年生	1,027（17.8%）	1,698（29.5%）	2,272（39.4%）	432　（7.5%）	331　（5.7%）	3.5
		3年生	495（12.5%）	1,160（29.2%）	1,710（43.0%）	395　（9.9%）	215　（5.4%）	3.3
		4年生	293（21.0%）	480（34.5%）	484（34.8%）	78　（5.6%）	57　（4.1%）	3.6
		学科計	3,566（20.0%）	5,461（30.6%）	6,584（36.9%）	1,279　（7.2%）	951　（5.3%）	3.5
	政治学科	1年生	881（21.6%）	1,245（30.5%）	1,532（37.5%）	264　（6.5%）	162　（4.0%）	3.6
		2年生	696（19.2%）	1,135（31.4%）	1,387（38.3%）	236　（6.5%）	164　（4.5%）	3.5
		3年生	634（24.1%）	1,006（38.3%）	729（27.7%）	161　（6.1%）	99　（3.8%）	3.7
		4年生	238（25.9%）	330（35.9%）	288（31.3%）	44　（4.8%）	19　（2.1%）	3.8
		学科計	2,449（21.8%）	3,716（33.0%）	3,936（35.0%）	705　（6.3%）	444　（3.9%）	3.6
	全学科	1年生	2,632（24.4%）	3,368（31.2%）	3,650（33.8%）	638　（5.9%）	510　（4.7%）	3.6
		2年生	1,723（18.4%）	2,833（30.2%）	3,659（39.0%）	668　（7.1%）	495　（5.3%）	3.5
		3年生	1,129（17.1%）	2,166（32.8%）	2,439（36.9%）	556　（8.4%）	314　（4.8%）	3.5
		4年生	531（23.0%）	810（35.0%）	772（33.4%）	122　（5.3%）	76　（3.3%）	3.7
		学部計	6,015（20.7%）	9,177（31.5%）	10,520（36.2%）	1,984　（6.8%）	1,395　（4.8%）	3.6

＜評価帯グラフ＞
総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）
2015年度

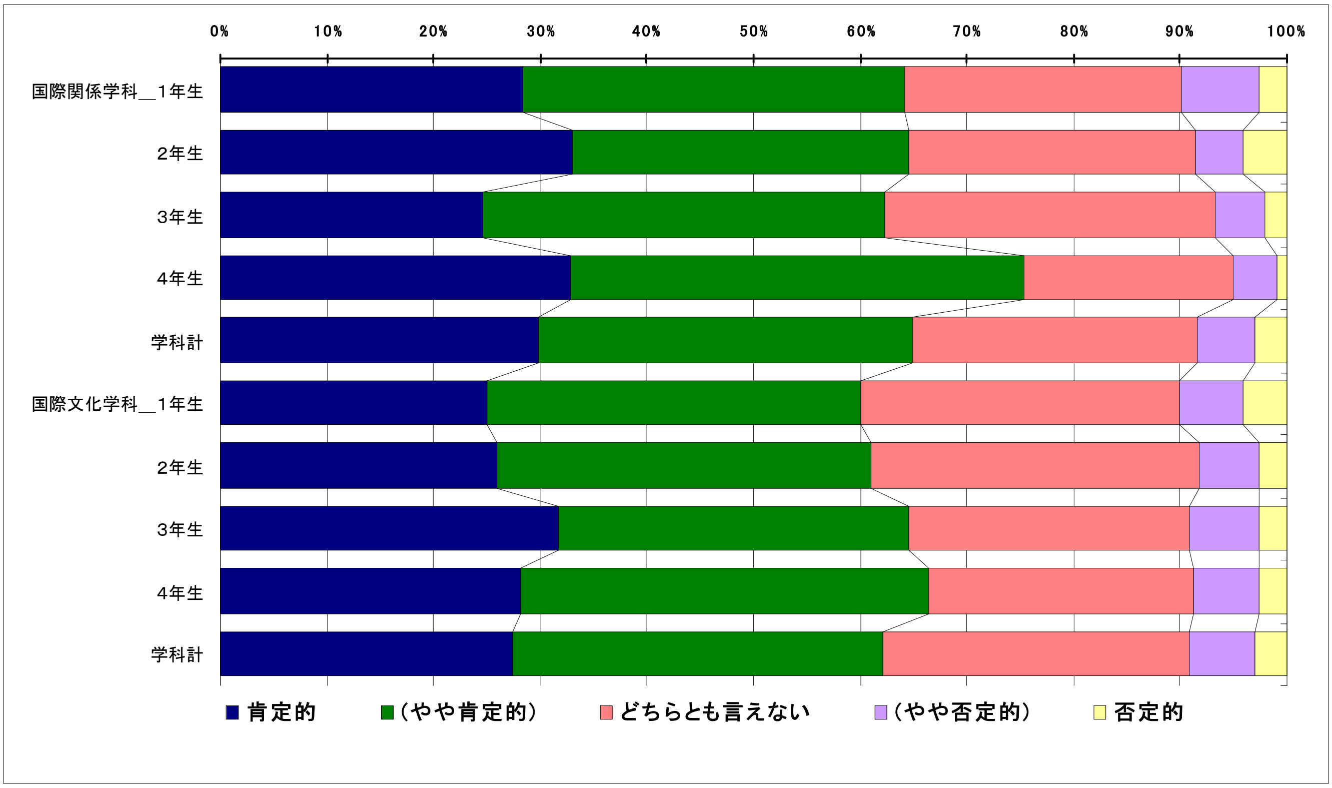


学部学科別【学年別集計】
学部　　国際関係学部

総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）
[Q17：新しい自己発想、Q18：分野への関心、Q19：自分で考える姿勢、Q20：満足度]

実施年度	学生の所属		肯定的	（やや肯定的）	どちらとも言えない	（やや否定的）	否定的	平均
2015年度	国際関係学科	1年生	633（28.4%）	800（35.9%）	576（25.8%）	165 （7.4%）	57 （2.6%）	3.8
		2年生	928（33.1%）	881（31.4%）	753（26.8%）	128 （4.6%）	115 （4.1%）	3.8
		3年生	327（24.7%）	498（37.6%）	410（31.0%）	62 （4.7%）	27 （2.0%）	3.8
		4年生	187（32.8%）	243（42.6%）	111（19.5%）	24 （4.2%）	5 （0.9%）	4.0
		学科計	2,075（29.9%）	2,422（34.9%）	1,850（26.7%）	379 （5.5%）	204 （2.9%）	3.8
	国際文化学科	1年生	468（24.9%）	659（35.1%）	561（29.9%）	114 （6.1%）	76 （4.0%）	3.7
		2年生	583（25.9%）	794（35.2%）	690（30.6%）	128 （5.7%）	59 （2.6%）	3.8
		3年生	577（31.8%）	596（32.8%）	476（26.2%）	117 （6.4%）	49 （2.7%）	3.8
		4年生	145（28.2%）	197（38.3%）	128（24.9%）	32 （6.2%）	13 （2.5%）	3.8
		学科計	1,773（27.4%）	2,246（34.8%）	1,855（28.7%）	391 （6.1%）	197 （3.0%）	3.8
	全学科	1年生	1,101（26.8%）	1,459（35.5%）	1,137（27.7%）	279 （6.8%）	133 （3.2%）	3.8
		2年生	1,511（29.9%）	1,675（33.1%）	1,443（28.5%）	256 （5.1%）	174 （3.4%）	3.8
		3年生	904（28.8%）	1,094（34.9%）	886（28.2%）	179 （5.7%）	76 （2.4%）	3.8
		4年生	332（30.6%）	440（40.6%）	239（22.0%）	56 （5.2%）	18 （1.7%）	3.9
		学部計	3,848（28.7%）	4,668（34.9%）	3,705（27.7%）	770 （5.7%）	401 （3.0%）	3.8

＜評価帯グラフ＞
総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）
2015年度

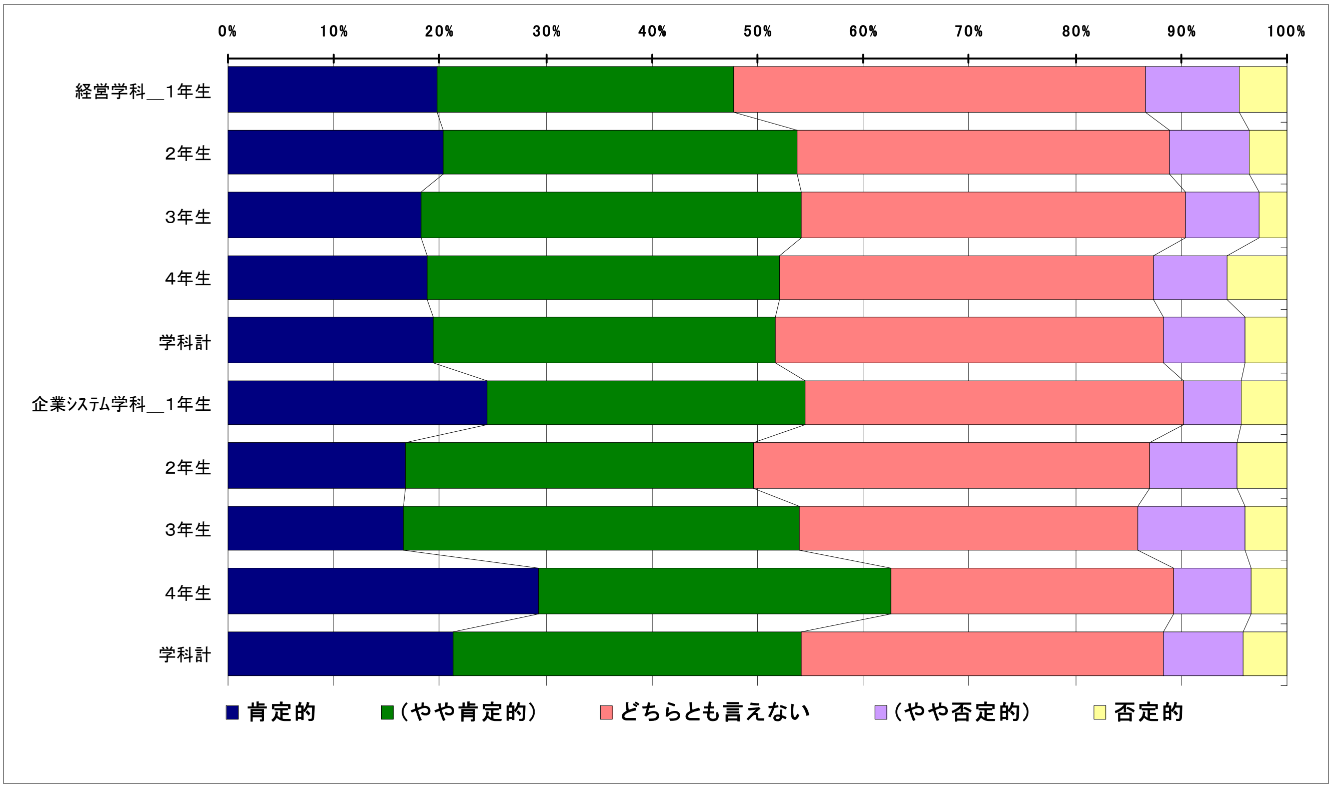


学部学科別【学年別集計】
学部　　経営学部

総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）
[Q17：新しい自己発想、Q18：分野への関心、Q19：自分で考える姿勢、Q20：満足度]

実施年度	学生の所属		肯定的	（やや肯定的）	どちらとも言えない	（やや否定的）	否定的	平均
2015年度	経営学科	1年生	895 (19.8%)	1,268 (28.0%)	1,760 (38.9%)	401 (8.9%)	205 (4.5%)	3.5
		2年生	823 (20.3%)	1,352 (33.4%)	1,422 (35.1%)	306 (7.6%)	145 (3.6%)	3.6
		3年生	649 (18.2%)	1,282 (35.9%)	1,294 (36.3%)	247 (6.9%)	95 (2.7%)	3.6
		4年生	340 (18.7%)	607 (33.4%)	640 (35.2%)	127 (7.0%)	103 (5.7%)	3.5
		学科計	2,707 (19.4%)	4,509 (32.3%)	5,116 (36.6%)	1,081 (7.7%)	548 (3.9%)	3.6
	企業ｼｽﾃﾑ学科	1年生	832 (24.5%)	1,016 (29.9%)	1,217 (35.8%)	186 (5.5%)	144 (4.2%)	3.6
		2年生	427 (16.7%)	840 (32.8%)	958 (37.5%)	211 (8.2%)	122 (4.8%)	3.5
		3年生	337 (16.5%)	767 (37.5%)	656 (32.0%)	206 (10.1%)	81 (4.0%)	3.5
		4年生	379 (29.4%)	429 (33.2%)	345 (26.7%)	95 (7.4%)	43 (3.3%)	3.8
		学科計	1,975 (21.3%)	3,052 (32.8%)	3,176 (34.2%)	698 (7.5%)	390 (4.2%)	3.6
	全学科	1年生	1,727 (21.8%)	2,284 (28.8%)	2,977 (37.6%)	587 (7.4%)	349 (4.4%)	3.6
		2年生	1,250 (18.9%)	2,192 (33.2%)	2,380 (36.0%)	517 (7.8%)	267 (4.0%)	3.6
		3年生	986 (17.6%)	2,049 (36.5%)	1,950 (34.7%)	453 (8.1%)	176 (3.1%)	3.6
		4年生	719 (23.1%)	1,036 (33.3%)	985 (31.7%)	222 (7.1%)	146 (4.7%)	3.6
		学部計	4,682 (20.1%)	7,561 (32.5%)	8,292 (35.7%)	1,779 (7.7%)	938 (4.0%)	3.6

＜評価帯グラフ＞
総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）
2015年度

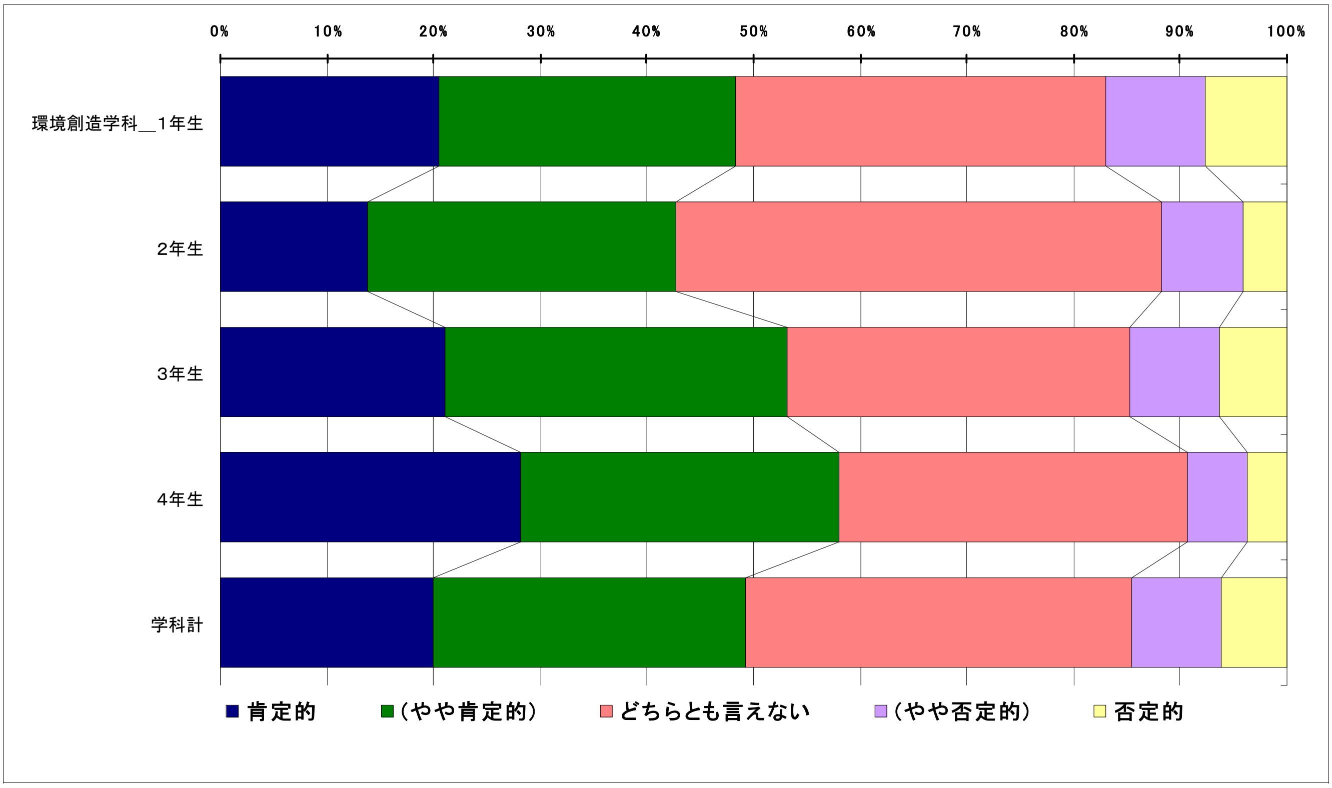


学部学科別【学年別集計】
学部　　環境創造学部

総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）
[Q17：新しい自己発想、Q18：分野への関心、Q19：自分で考える姿勢、Q20：満足度]

実施年度	学生の所属		肯定的	（やや肯定的）	どちらとも言えない	（やや否定的）	否定的	平均
2015年度	環境創造学科	１年生	978 (20.5%)	1,325 (27.8%)	1,652 (34.7%)	445 (9.3%)	360 (7.6%)	3.4
		２年生	323 (13.8%)	682 (29.0%)	1,067 (45.4%)	179 (7.6%)	97 (4.1%)	3.4
		３年生	571 (21.1%)	873 (32.2%)	868 (32.0%)	229 (8.4%)	171 (6.3%)	3.5
		４年生	300 (28.2%)	318 (29.9%)	346 (32.5%)	61 (5.7%)	39 (3.7%)	3.7
		学科計	2,172 (20.0%)	3,198 (29.4%)	3,933 (36.1%)	914 (8.4%)	667 (6.1%)	3.5
	全学科	１年生	978 (20.5%)	1,325 (27.8%)	1,652 (34.7%)	445 (9.3%)	360 (7.6%)	3.4
		２年生	323 (13.8%)	682 (29.0%)	1,067 (45.4%)	179 (7.6%)	97 (4.1%)	3.4
		３年生	571 (21.1%)	873 (32.2%)	868 (32.0%)	229 (8.4%)	171 (6.3%)	3.5
		４年生	300 (28.2%)	318 (29.9%)	346 (32.5%)	61 (5.7%)	39 (3.7%)	3.7
		学部計	2,172 (20.0%)	3,198 (29.4%)	3,933 (36.1%)	914 (8.4%)	667 (6.1%)	3.5

＜評価帯グラフ＞
総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）
2015年度

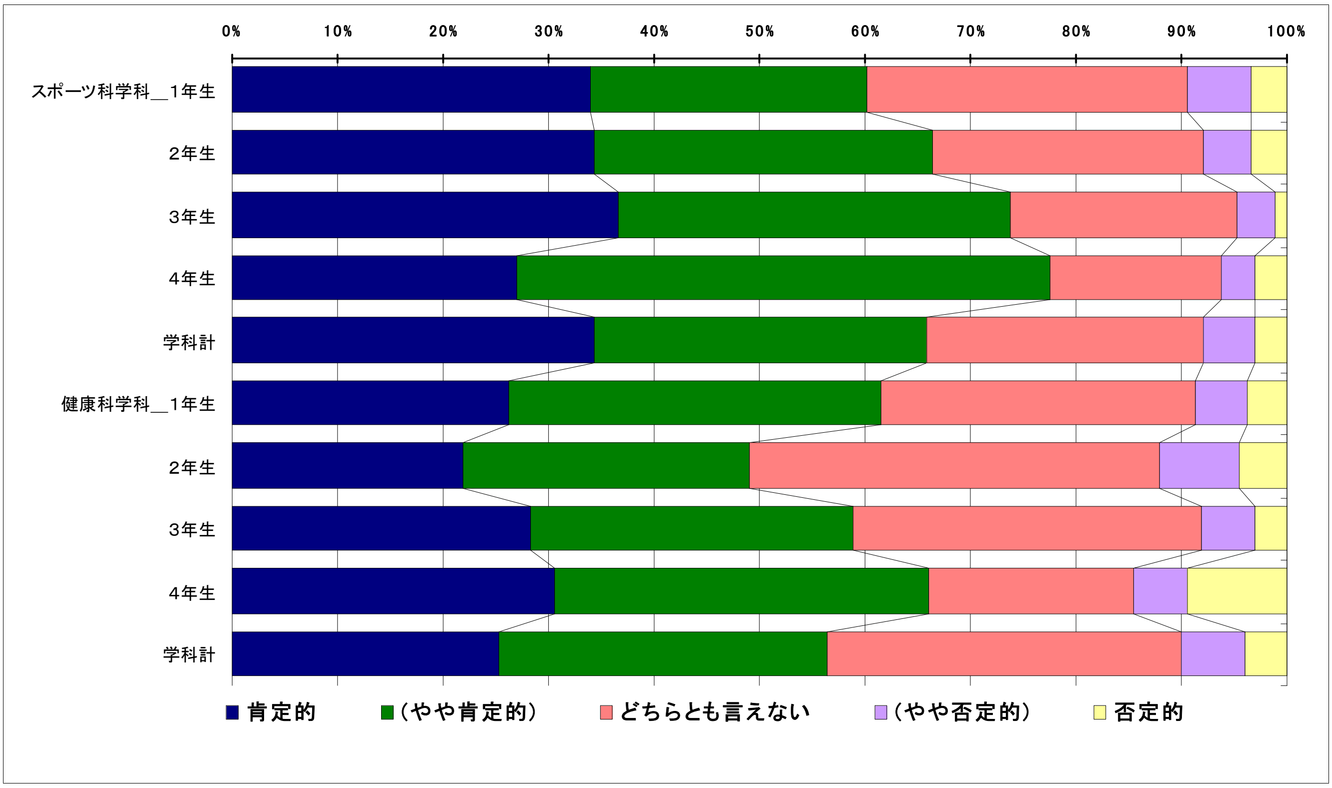


学部学科別【学年別集計】
学部　　ｽﾎﾟｰﾂ・健康科学部

総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）
[Q17：新しい自己発想、Q18：分野への関心、Q19：自分で考える姿勢、Q20：満足度]

実施年度	学生の所属		肯定的	（やや肯定的）	どちらとも言えない	（やや否定的）	否定的	平均
2015年度	スポーツ科学	１年生	1,131（33.9%）	876（26.3%）	1,013（30.4%）	201（6.0%）	113（3.4%）	3.8
		２年生	1,061（34.3%）	992（32.1%）	797（25.8%）	141（4.6%）	103（3.3%）	3.9
		３年生	578（36.5%）	590（37.3%）	338（21.4%）	57（3.6%）	19（1.2%）	4.0
		４年生	96（27.0%）	179（50.4%）	58（16.3%）	11（3.1%）	11（3.1%）	4.0
		学科計	2,866（34.3%）	2,637（31.5%）	2,206（26.4%）	410（4.9%）	246（2.9%）	3.9
	健康科学科	１年生	860（26.2%）	1,161（35.4%）	979（29.8%）	160（4.9%）	124（3.8%）	3.8
		２年生	722（22.0%）	891（27.1%）	1,274（38.8%）	253（7.7%）	146（4.4%）	3.5
		３年生	676（28.3%）	732（30.6%）	788（32.9%）	125（5.2%）	71（3.0%）	3.8
		４年生	61（30.5%）	71（35.5%）	39（19.5%）	10（5.0%）	19（9.5%）	3.7
		学科計	2,319（25.3%）	2,855（31.2%）	3,080（33.6%）	548（6.0%）	360（3.9%）	3.7
	全学科	１年生	1,991（30.1%）	2,037（30.8%）	1,992（30.1%）	361（5.5%）	237（3.6%）	3.8
		２年生	1,783（27.9%）	1,883（29.5%）	2,071（32.5%）	394（6.2%）	249（3.9%）	3.7
		３年生	1,254（31.6%）	1,322（33.3%）	1,126（28.3%）	182（4.6%）	90（2.3%）	3.9
		４年生	157（28.3%）	250（45.0%）	97（17.5%）	21（3.8%）	30（5.4%）	3.9
		学部計	5,185（29.6%）	5,492（31.3%）	5,286（30.2%）	958（5.5%）	606（3.5%）	3.8

＜評価帯グラフ＞
総合評価（ⅢQ17～Q20の合計値）
2015年度

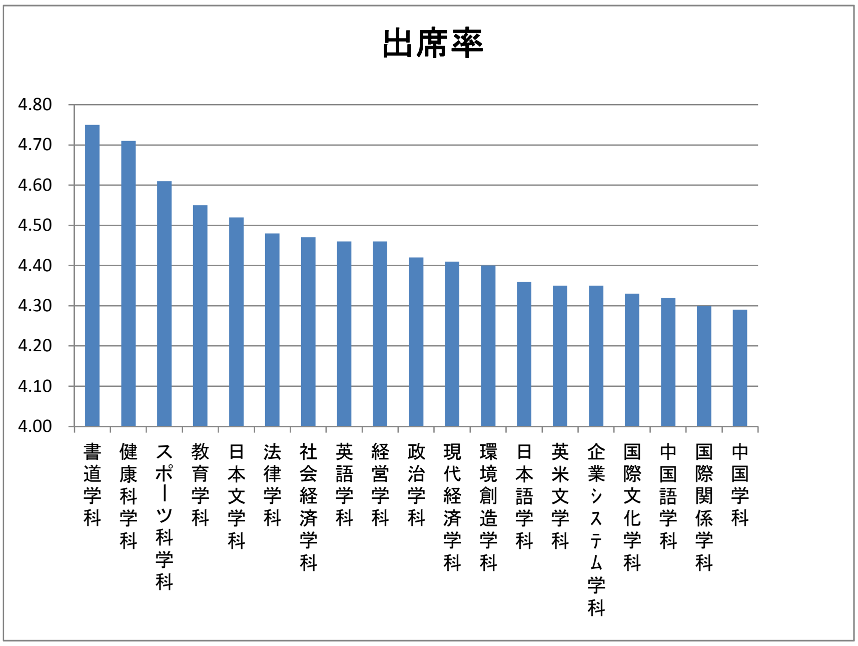


E. 学科別集計

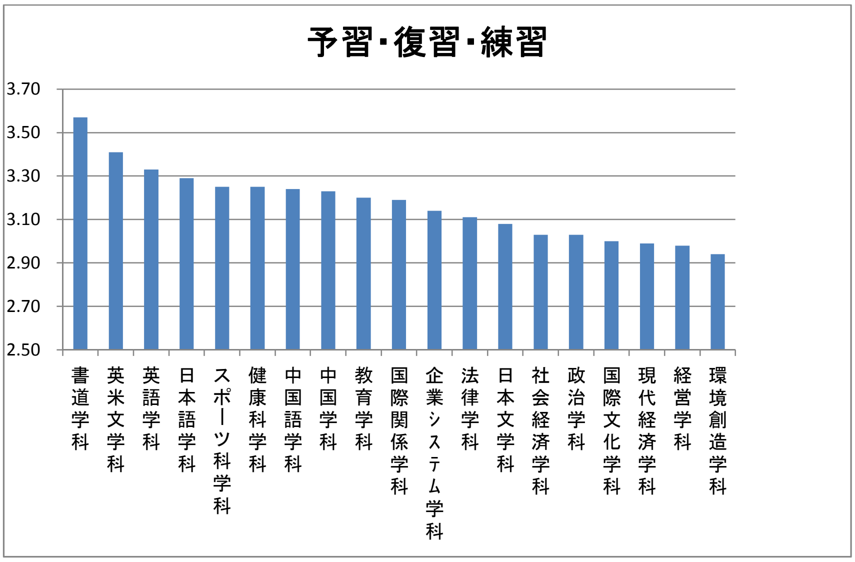
学科の平均値

	出席率 Q1	予習・復習・練習 Q2	授業への集中 Q3	シラバスの熟読 Q4	教材等の持参頻度 Q5	授業姿勢への自己評価 Q6	授業目的の明確さ Q7	シラバスの反映 Q8	理解しやすさ Q9	適切な授業進行速度 Q10	板書などの見やすさ Q11	教材の使い方 Q12	学生参加の機会 Q13	受講態度への対応 Q14	教員の熱意 Q15	毎週の期待 Q16	新しい自己発想 Q17	分野への関心 Q18	自分で考える姿勢 Q19	満足度 Q20
日本文学科	4.52	3.08	3.77	3.71	4.26	3.74	4.11	4.03	3.96	3.97	3.96	3.99	3.58	3.90	4.19	3.69	3.82	3.90	3.63	3.91
中国学科	4.29	3.23	3.76	3.40	4.03	3.77	3.92	3.86	3.83	3.87	3.81	3.88	3.65	3.83	4.00	3.62	3.64	3.67	3.58	3.76
英米文学科	4.35	3.41	3.89	3.52	4.15	3.89	4.03	3.93	3.96	3.98	3.96	4.03	3.83	3.96	4.14	3.74	3.86	3.90	3.79	3.91
教育学科	4.55	3.20	3.87	3.28	4.19	3.94	4.11	3.94	4.03	4.03	3.99	4.10	3.84	3.97	4.23	3.72	4.02	4.05	3.82	4.00
書道学科	4.75	3.57	4.09	3.77	4.44	4.12	4.38	4.31	4.26	4.30	4.29	4.28	4.12	4.23	4.43	4.05	4.22	4.22	4.08	4.25
社会経済学科	4.47	3.03	3.59	3.27	3.92	3.66	3.80	3.73	3.68	3.72	3.67	3.79	3.42	3.72	3.87	3.36	3.49	3.53	3.41	3.59
現代経済学科	4.41	2.99	3.59	3.25	3.88	3.62	3.79	3.72	3.69	3.70	3.69	3.80	3.38	3.71	3.79	3.34	3.47	3.52	3.39	3.59
中国語学科	4.32	3.24	3.75	3.43	4.03	3.75	3.95	3.92	3.86	3.86	3.84	3.89	3.76	3.88	4.02	3.61	3.72	3.76	3.68	3.78
英語学科	4.46	3.33	3.84	3.40	4.18	3.87	4.01	3.96	3.92	3.97	3.98	4.06	3.85	4.00	4.15	3.63	3.81	3.84	3.72	3.88
日本語学科	4.36	3.29	3.78	3.61	4.08	3.79	3.96	3.93	3.85	3.88	3.87	3.97	3.84	3.87	4.06	3.64	3.72	3.73	3.64	3.79
法律学科	4.48	3.11	3.65	3.22	3.93	3.63	3.84	3.70	3.69	3.73	3.71	3.75	3.42	3.79	3.87	3.37	3.51	3.56	3.43	3.61
政治学科	4.42	3.03	3.59	3.44	4.02	3.64	3.85	3.78	3.70	3.73	3.66	3.73	3.42	3.81	3.97	3.48	3.63	3.67	3.52	3.69
国際関係学科	4.30	3.19	3.78	3.51	4.12	3.82	4.05	3.96	3.97	3.96	3.90	4.00	3.62	3.92	4.14	3.73	3.84	3.90	3.73	3.91
国際文化学科	4.33	3.00	3.73	3.46	4.02	3.75	4.02	3.95	3.94	3.97	3.92	4.01	3.56	3.92	4.13	3.69	3.77	3.82	3.65	3.86
経営学科	4.46	2.98	3.53	3.31	3.96	3.61	3.83	3.75	3.67	3.71	3.62	3.77	3.31	3.70	3.90	3.38	3.54	3.62	3.43	3.64
企業ｼｽﾃﾑ学科	4.35	3.14	3.58	3.40	3.89	3.67	3.82	3.78	3.68	3.70	3.66	3.79	3.45	3.72	3.88	3.44	3.58	3.63	3.51	3.66
環境創造学科	4.40	2.94	3.55	3.19	3.83	3.60	3.74	3.63	3.61	3.65	3.62	3.70	3.45	3.72	3.86	3.37	3.48	3.51	3.39	3.54
スポーツ科学科	4.61	3.25	3.99	3.10	4.01	4.07	4.12	3.85	3.98	4.00	3.91	4.01	3.76	4.00	4.19	3.61	3.89	3.97	3.78	3.96
健康科学科	4.71	3.25	3.80	3.21	4.09	3.81	3.98	3.83	3.80	3.82	3.71	3.89	3.51	3.85	3.96	3.50	3.64	3.72	3.62	3.73

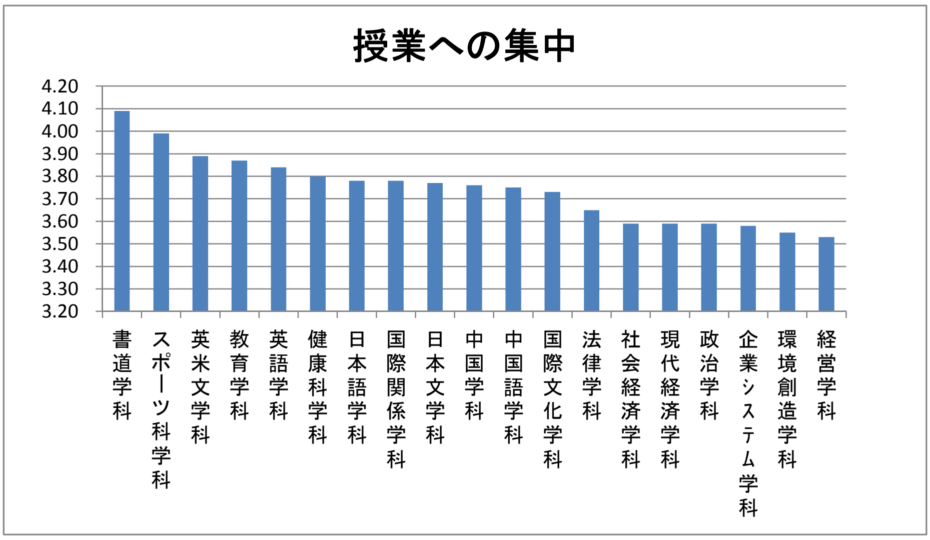
	出席率
書道学科	4.75
健康科学科	4.71
スポーツ科学科	4.61
教育学科	4.55
日本文学科	4.52
法律学科	4.48
社会経済学科	4.47
英語学科	4.46
経営学科	4.46
政治学科	4.42
現代経済学科	4.41
環境創造学科	4.40
日本語学科	4.36
英米文学科	4.35
企業ｼｽﾃﾑ学科	4.35
国際文化学科	4.33
中国語学科	4.32
国際関係学科	4.30
中国学科	4.29



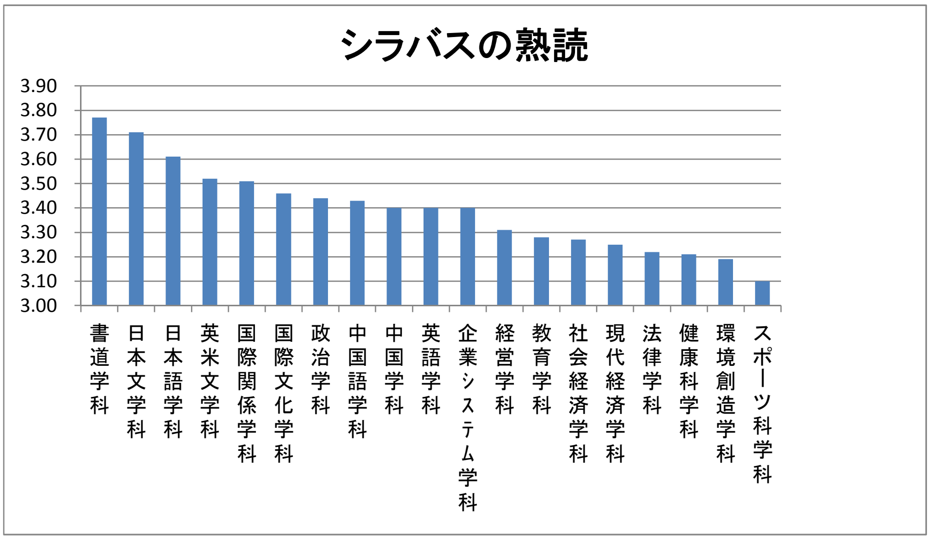
	予習・復習・練習
書道学科	3.57
英米文学科	3.41
英語学科	3.33
日本語学科	3.29
スポーツ科学科	3.25
健康科学科	3.25
中国語学科	3.24
中国学科	3.23
教育学科	3.20
国際関係学科	3.19
企業ｼｽﾃﾑ学科	3.14
法律学科	3.11
日本文学科	3.08
社会経済学科	3.03
政治学科	3.03
国際文化学科	3.00
現代経済学科	2.99
経営学科	2.98
環境創造学科	2.94



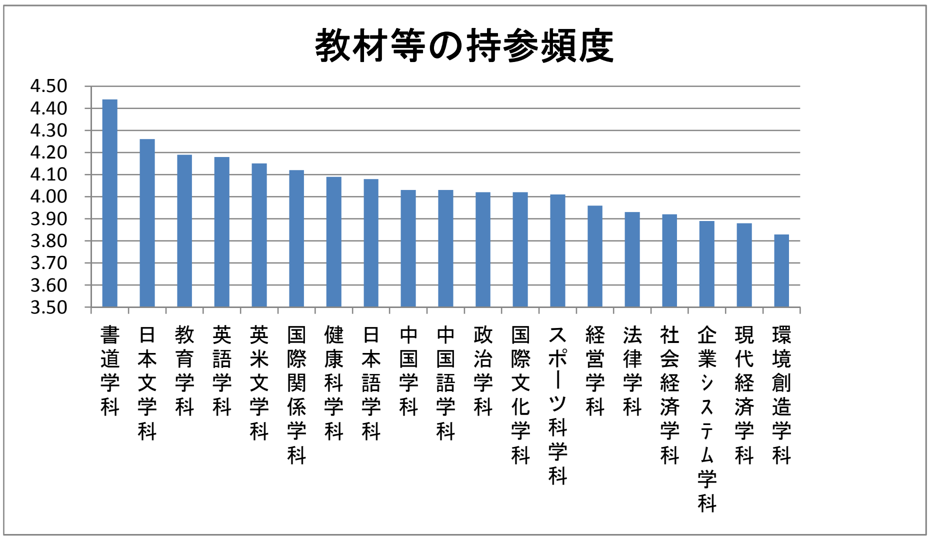
	授業への集中
書道学科	4.09
スポーツ科学科	3.99
英米文学科	3.89
教育学科	3.87
英語学科	3.84
健康科学科	3.80
日本語学科	3.78
国際関係学科	3.78
日本文学科	3.77
中国学科	3.76
中国語学科	3.75
国際文化学科	3.73
法律学科	3.65
社会経済学科	3.59
現代経済学科	3.59
政治学科	3.59
企業ｼｽﾃﾑ学科	3.58
環境創造学科	3.55
経営学科	3.53



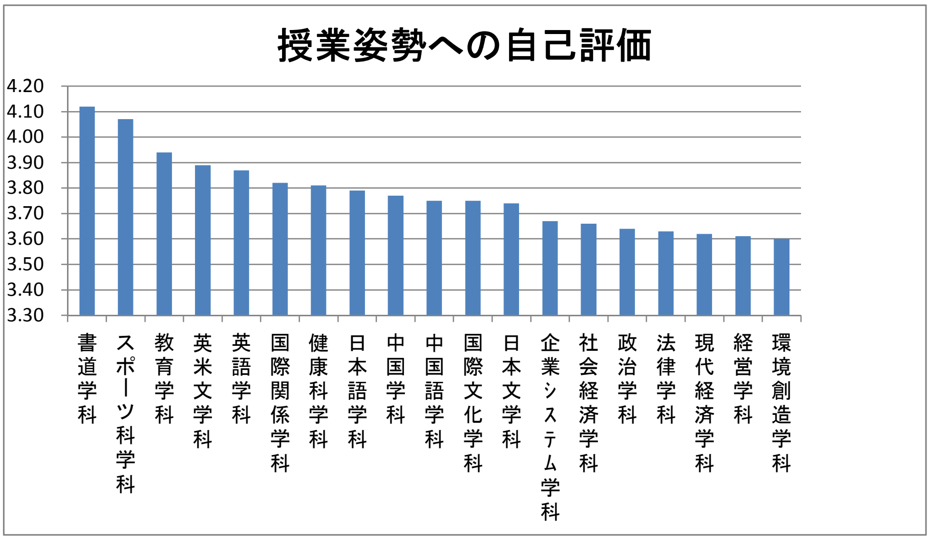
	シラバスの熟読
書道学科	3.77
日本文学科	3.71
日本語学科	3.61
英米文学科	3.52
国際関係学科	3.51
国際文化学科	3.46
政治学科	3.44
中国語学科	3.43
中国学科	3.40
英語学科	3.40
企業ｼｽﾃﾑ学科	3.40
経営学科	3.31
教育学科	3.28
社会経済学科	3.27
現代経済学科	3.25
法律学科	3.22
健康科学科	3.21
環境創造学科	3.19
スポーツ科学科	3.10



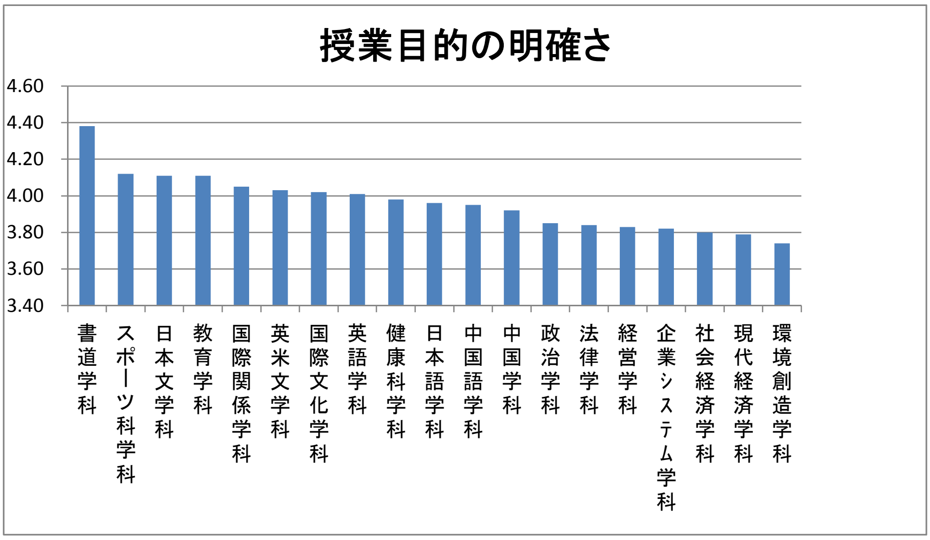
	教材等の持参頻度
書道学科	4.44
日本文学科	4.26
教育学科	4.19
英語学科	4.18
英米文学科	4.15
国際関係学科	4.12
健康科学科	4.09
日本語学科	4.08
中国学科	4.03
中国語学科	4.03
政治学科	4.02
国際文化学科	4.02
スポーツ科学科	4.01
経営学科	3.96
法律学科	3.93
社会経済学科	3.92
企業ｼｽﾃﾑ学科	3.89
現代経済学科	3.88
環境創造学科	3.83



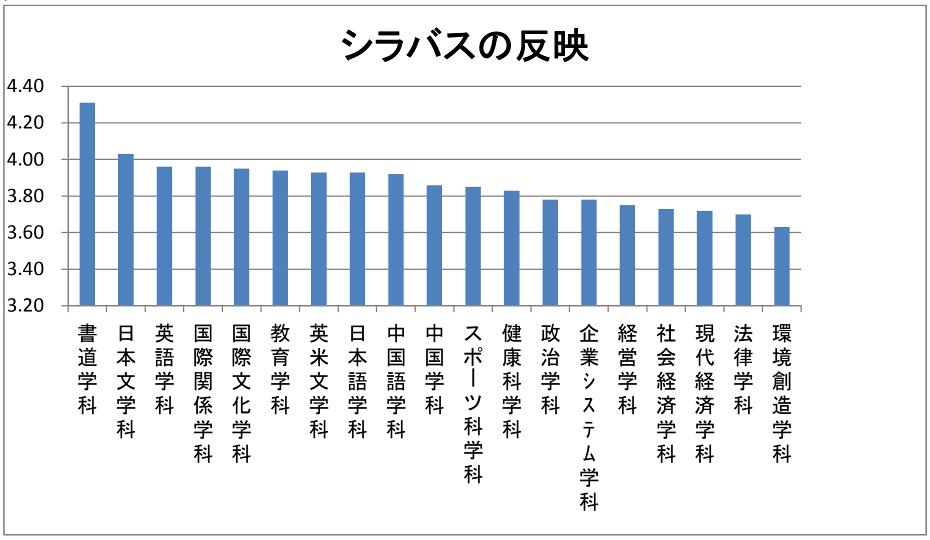
	授業姿勢への自己評価
書道学科	4.12
スポーツ科学科	4.07
教育学科	3.94
英米文学科	3.89
英語学科	3.87
国際関係学科	3.82
健康科学科	3.81
日本語学科	3.79
中国学科	3.77
中国語学科	3.75
国際文化学科	3.75
日本文学科	3.74
企業ｼｽﾃﾑ学科	3.67
社会経済学科	3.66
政治学科	3.64
法律学科	3.63
現代経済学科	3.62
経営学科	3.61
環境創造学科	3.60



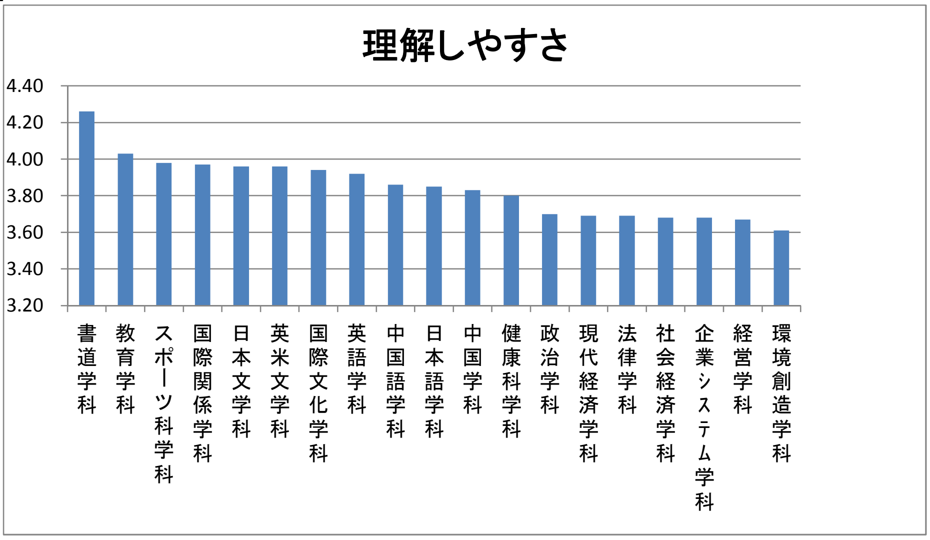
	授業目的の明確さ
書道学科	4.38
スポーツ科学科	4.12
日本文学科	4.11
教育学科	4.11
国際関係学科	4.05
英米文学科	4.03
国際文化学科	4.02
英語学科	4.01
健康科学科	3.98
日本語学科	3.96
中国語学科	3.95
中国学科	3.92
政治学科	3.85
法律学科	3.84
経営学科	3.83
企業ｼｽﾃﾑ学科	3.82
社会経済学科	3.80
現代経済学科	3.79
環境創造学科	3.74



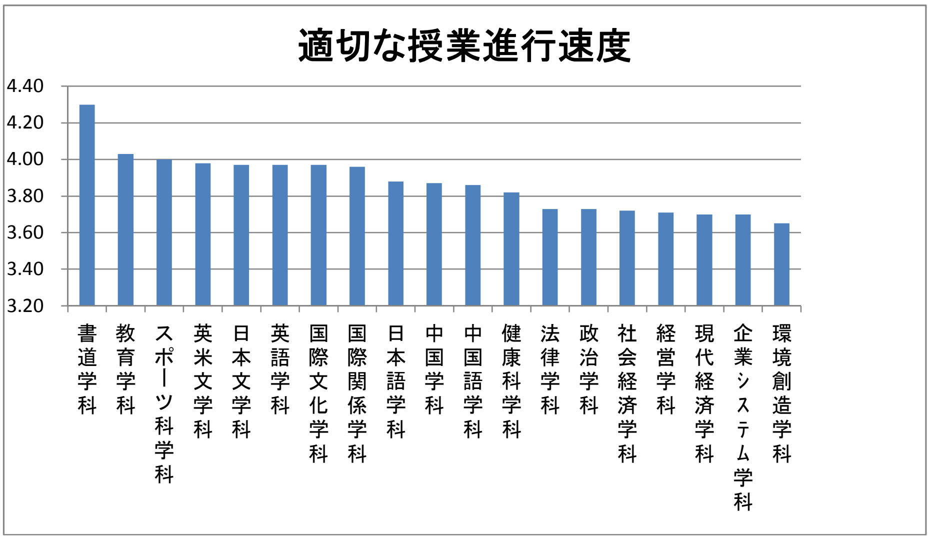
	シラバスの反映
書道学科	4.31
日本文学科	4.03
英語学科	3.96
国際関係学科	3.96
国際文化学科	3.95
教育学科	3.94
英米文学科	3.93
日本語学科	3.93
中国語学科	3.92
中国学科	3.86
スポーツ科学科	3.85
健康科学科	3.83
政治学科	3.78
企業ｼｽﾃﾑ学科	3.78
経営学科	3.75
社会経済学科	3.73
現代経済学科	3.72
法律学科	3.70
環境創造学科	3.63



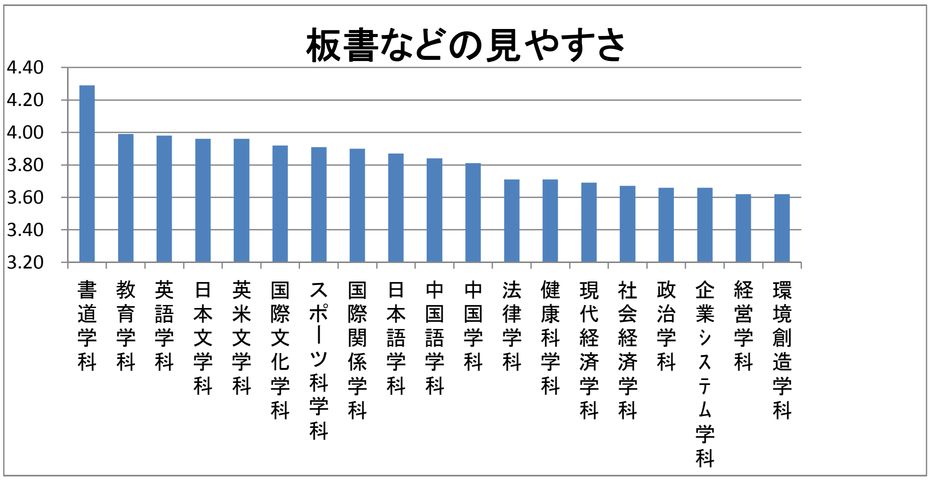
	理解しやすさ
書道学科	4.26
教育学科	4.03
スポーツ科学科	3.98
国際関係学科	3.97
日本文学科	3.96
英米文学科	3.96
国際文化学科	3.94
英語学科	3.92
中国語学科	3.86
日本語学科	3.85
中国学科	3.83
健康科学科	3.80
政治学科	3.70
現代経済学科	3.69
法律学科	3.69
社会経済学科	3.68
企業ｼｽﾃﾑ学科	3.68
経営学科	3.67
環境創造学科	3.61



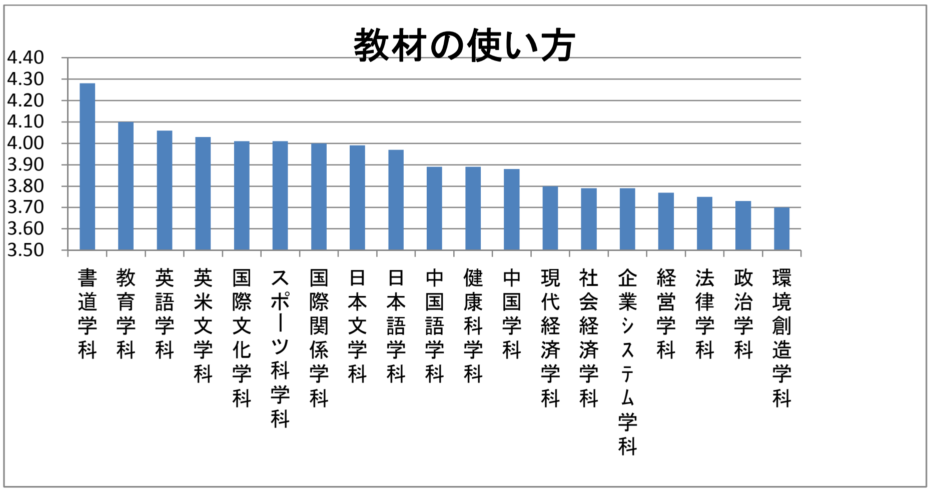
	適切な授業進行速度
書道学科	4.30
教育学科	4.03
スポーツ科学科	4.00
英米文学科	3.98
日本文学科	3.97
英語学科	3.97
国際文化学科	3.97
国際関係学科	3.96
日本語学科	3.88
中国学科	3.87
中国語学科	3.86
健康科学科	3.82
法律学科	3.73
政治学科	3.73
社会経済学科	3.72
経営学科	3.71
現代経済学科	3.70
企業ｼｽﾃﾑ学科	3.70
環境創造学科	3.65



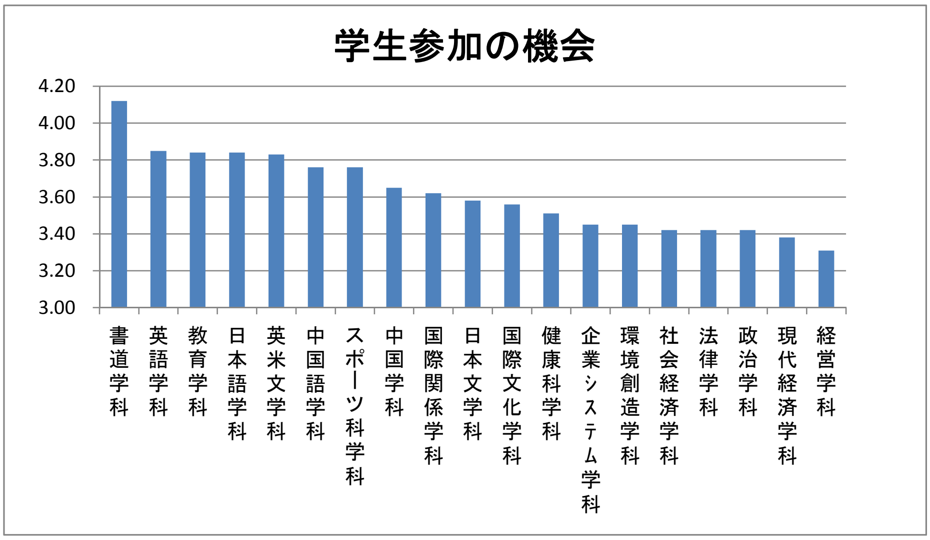
板書などの見やすさ	
書道学科	4.29
教育学科	3.99
英語学科	3.98
日本文学科	3.96
英米文学科	3.96
国際文化学科	3.92
スポーツ科学科	3.91
国際関係学科	3.90
日本語学科	3.87
中国語学科	3.84
中国学科	3.81
法律学科	3.71
健康科学科	3.71
現代経済学科	3.69
社会経済学科	3.67
政治学科	3.66
企業ｼｽﾃﾑ学科	3.66
経営学科	3.62
環境創造学科	3.62



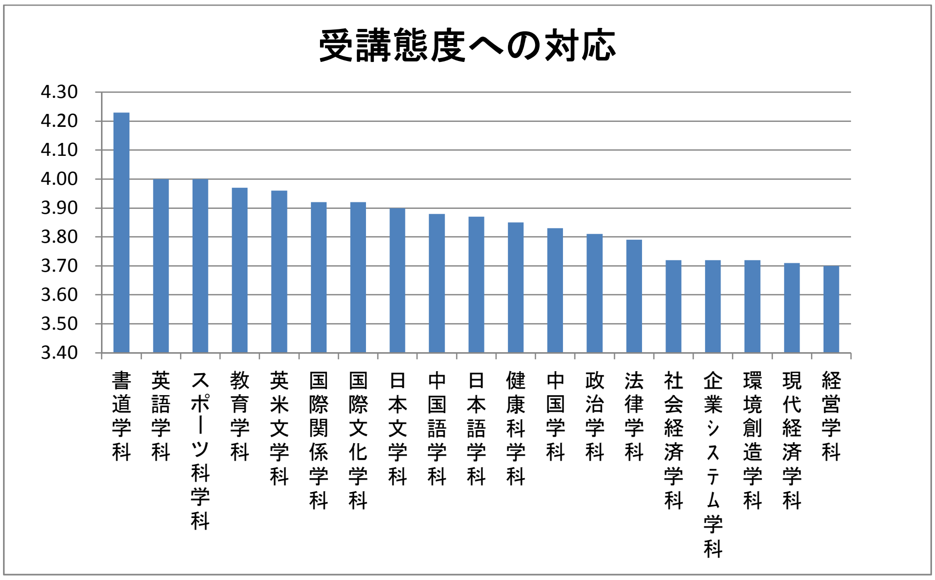
教材の使い方	
書道学科	4.28
教育学科	4.10
英語学科	4.06
英米文学科	4.03
国際文化学科	4.01
スポーツ科学科	4.01
国際関係学科	4.00
日本文学科	3.99
日本語学科	3.97
中国語学科	3.89
健康科学科	3.89
中国学科	3.88
現代経済学科	3.80
社会経済学科	3.79
企業ｼｽﾃﾑ学科	3.79
経営学科	3.77
法律学科	3.75
政治学科	3.73
環境創造学科	3.70



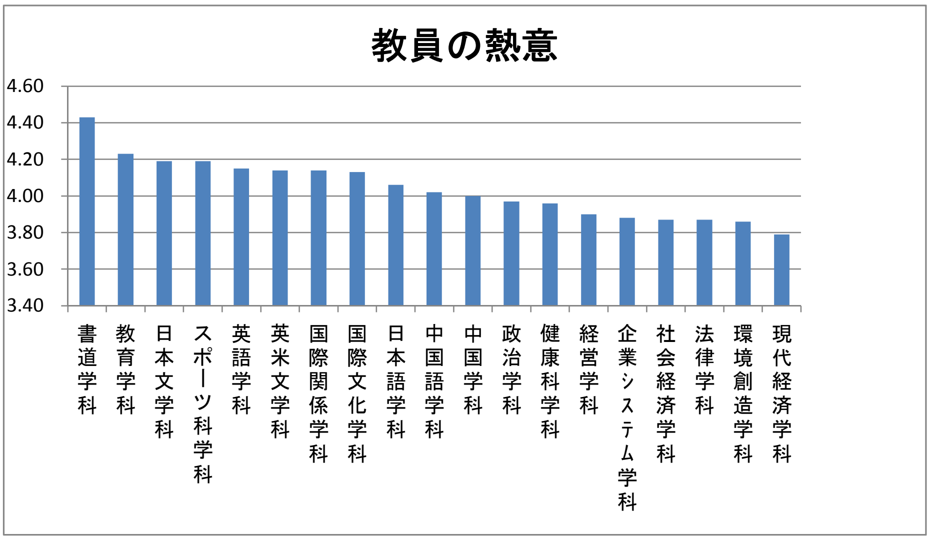
	学生参加の機会
書道学科	4.12
英語学科	3.85
教育学科	3.84
日本語学科	3.84
英米文学科	3.83
中国語学科	3.76
スポーツ科学科	3.76
中国学科	3.65
国際関係学科	3.62
日本文学科	3.58
国際文化学科	3.56
健康科学科	3.51
企業ｼｽﾃﾑ学科	3.45
環境創造学科	3.45
社会経済学科	3.42
法律学科	3.42
政治学科	3.42
現代経済学科	3.38
経営学科	3.31



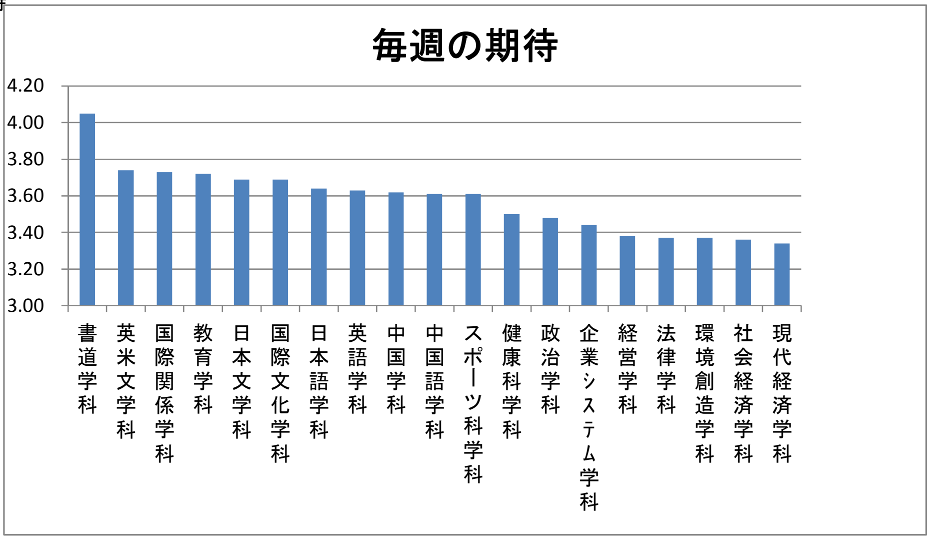
	受講態度への対応
書道学科	4.23
英語学科	4.00
スポーツ科学科	4.00
教育学科	3.97
英米文学科	3.96
国際関係学科	3.92
国際文化学科	3.92
日本文学科	3.90
中国語学科	3.88
日本語学科	3.87
健康科学科	3.85
中国学科	3.83
政治学科	3.81
法律学科	3.79
社会経済学科	3.72
企業ｼｽﾃﾑ学科	3.72
環境創造学科	3.72
現代経済学科	3.71
経営学科	3.70



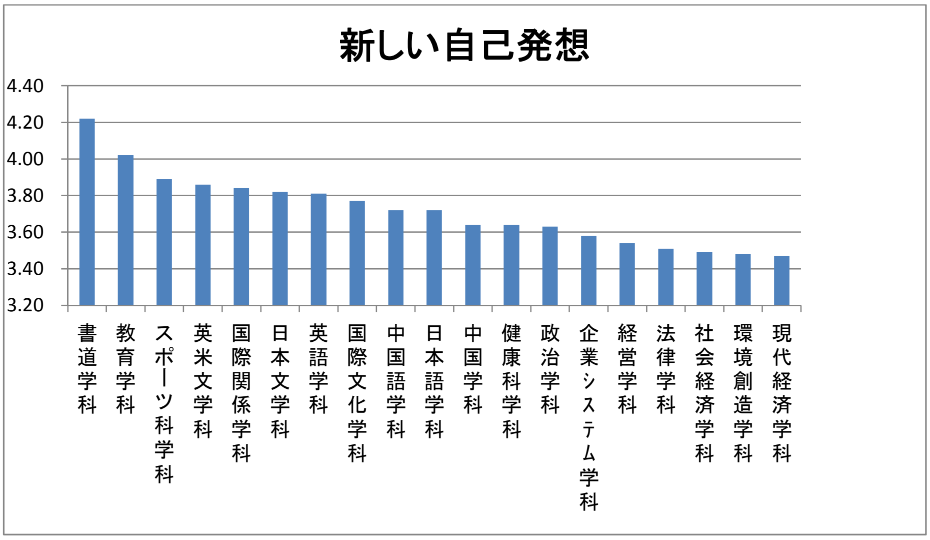
	教員の熱意
書道学科	4.43
教育学科	4.23
日本文学科	4.19
スポーツ科学科	4.19
英語学科	4.15
英米文学科	4.14
国際関係学科	4.14
国際文化学科	4.13
日本語学科	4.06
中国語学科	4.02
中国学科	4.00
政治学科	3.97
健康科学科	3.96
経営学科	3.90
企業ｼｽﾃﾑ学科	3.88
社会経済学科	3.87
法律学科	3.87
環境創造学科	3.86
現代経済学科	3.79



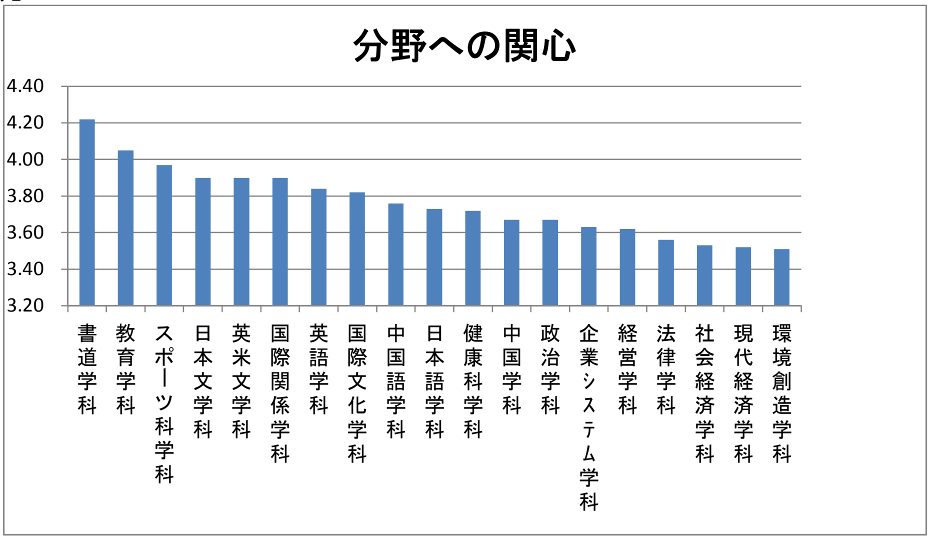
	毎週の期待
書道学科	4.05
英米文学科	3.74
国際関係学科	3.73
教育学科	3.72
日本文学科	3.69
国際文化学科	3.69
日本語学科	3.64
英語学科	3.63
中国学科	3.62
中国語学科	3.61
スポーツ科学科	3.61
健康科学科	3.50
政治学科	3.48
企業ｼｽﾃﾑ学科	3.44
経営学科	3.38
法律学科	3.37
環境創造学科	3.37
社会経済学科	3.36
現代経済学科	3.34



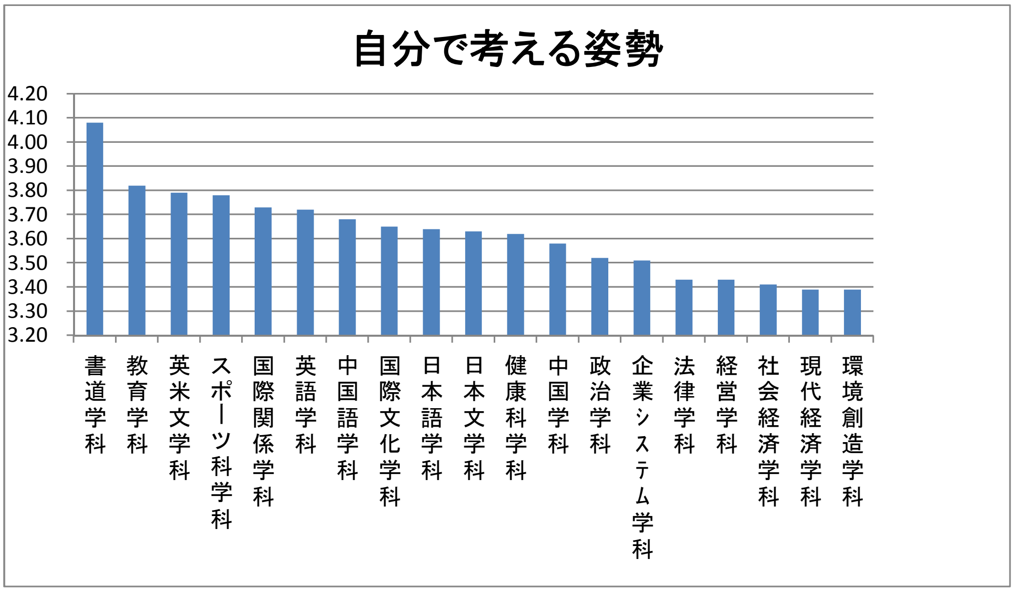
新しい自己発想	
書道学科	4.22
教育学科	4.02
スポーツ科学科	3.89
英米文学科	3.86
国際関係学科	3.84
日本文学科	3.82
英語学科	3.81
国際文化学科	3.77
中国語学科	3.72
日本語学科	3.72
中国学科	3.64
健康科学科	3.64
政治学科	3.63
企業ｼｽﾃﾑ学科	3.58
経営学科	3.54
法律学科	3.51
社会経済学科	3.49
環境創造学科	3.48
現代経済学科	3.47



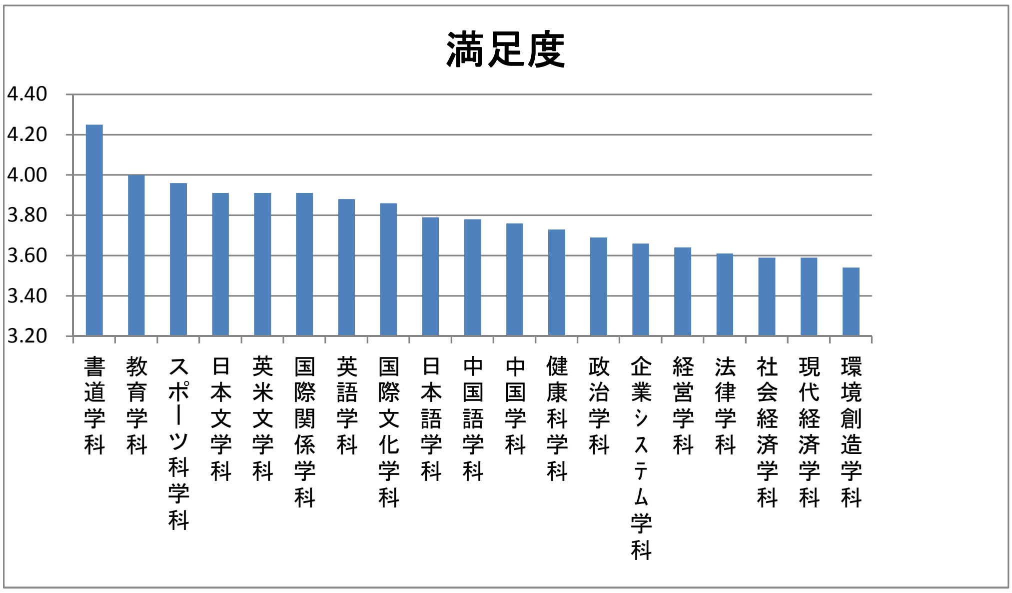
分野への関心	
書道学科	4.22
教育学科	4.05
スポーツ科学科	3.97
日本文学科	3.90
英米文学科	3.90
国際関係学科	3.90
英語学科	3.84
国際文化学科	3.82
中国語学科	3.76
日本語学科	3.73
健康科学科	3.72
中国学科	3.67
政治学科	3.67
企業ｼｽﾃﾑ学科	3.63
経営学科	3.62
法律学科	3.56
社会経済学科	3.53
現代経済学科	3.52
環境創造学科	3.51



	自分で考える姿勢
書道学科	4.08
教育学科	3.82
英米文学科	3.79
スポーツ科学科	3.78
国際関係学科	3.73
英語学科	3.72
中国語学科	3.68
国際文化学科	3.65
日本語学科	3.64
日本文学科	3.63
健康科学科	3.62
中国学科	3.58
政治学科	3.52
企業ｼｽﾃﾑ学科	3.51
法律学科	3.43
経営学科	3.43
社会経済学科	3.41
現代経済学科	3.39
環境創造学科	3.39



	満足度
書道学科	4.25
教育学科	4.00
スポーツ科学科	3.96
日本文学科	3.91
英米文学科	3.91
国際関係学科	3.91
英語学科	3.88
国際文化学科	3.86
日本語学科	3.79
中国語学科	3.78
中国学科	3.76
健康科学科	3.73
政治学科	3.69
企業ｼｽﾃﾑ学科	3.66
経営学科	3.64
法律学科	3.61
社会経済学科	3.59
現代経済学科	3.59
環境創造学科	3.54



［ファカルティ・ディベロップメント委員会］

委員長	小松　義明（副学長）
副委員長	水谷　正大（経営学部）
副委員長	沼口　博　（文学研究科）
委　員	栗栖美知子（文学部）
	内野　泰助（経済学部／経済学研究科）
	丁　鋒　　（外国語学部／外国語学研究科）
	加藤　普章（法学部／法学研究科）
	松本　弘　（国際関係学部／アジア地域研究科）
	北澤　恒人（環境創造学部）
	佐藤真太郎（スポーツ・健康科学部）
	崔　　冬梅（経営学研究科）
	藤田　和博（スポーツ・健康科学研究科）
	山口みどり（学長指名）

学生による授業評価と大学教育

大東文化大学授業評価報告書Ⅰ（全学データ）

発行　2015年12月18日発行
大東文化大学
〈板橋校舎〉　〒175-8571　東京都板橋区高島平1-9-1
TEL　03-5399-7333　FAX　03-5399-7334
〈東松山校舎〉　〒355-8501　埼玉県東松山市岩殿560
http://www.daito.ac.jp/

編集　大東文化大学ファカルティ・ディベロップメント委員会

印刷　株式会社日立システムズ